



(3) 合衆國のバナマ運河の占有と西印度諸島附近一帯への經濟的軍事的進出
 近代の資本主義的國家の基礎に立脚して領土的支配・侵入的支配は完全に投資經營によつて奏功すると云つても過

が作られた。かくてスペイン人が完全に驅逐されて以來、北米合衆國は斷然
 同地中海の闖入を目論み遂にその覇權を握つたのである。

(2) 各國の領土

A 英領 バハマ諸島・小アンチル・トリニダ島・ジャマイカ・英領ホン
 ジュラス。

B 米領勢力下領土 キューエスト・グアンタナモ・ポートルコ・グレブ
 ラ・セントトーマス・サントクルーズ・コロン・イラン等に艦隊支據點を置
 く。バナマを完全に領有す。キューバー・バナマに軍事干渉權、ハイチ・モン
 ドミンゴ・ニカラグアに財政的軍事的又は政治的監督權を有す。グアテマ
 ラ・サルヴァドル・ホンジュラス・コスタリカに財政上の後見をなし、メキ
 シコ・コロンビヤに財政的援助をなす。

C 佛領 マルチニツク島・グアドルツプ島を領有す。

以上の勢力圏より見てアメリカ地中海は文字通りの地中海にて米國唯一の
 敵と見做すものは英國あるのみである。



合衆國の南米への投資政策

言ではない。資本が國家の爲めに流用せらるゝや、それは經濟的侵略の他の形式より遙に強い執拗な極端となつて、
 領土政策的侵略に代つて行く。故に財政的侵入は永久的依存關係をつくり得るものである。バナマ運河の支配も附近
 の諸島の支配も、合衆國の財政的侵入によつて其の完全性を得たるものである。バナマ運河の支配こそ政治的軍事的
 且つ經濟的に其意義の一層大なるものである。合衆國が太平洋にグアム・哇布・比島の支據點を領有し、太平洋を西よ
 り東へ衝かんとする之れ等の政治的意義より云へば、運河の開通は二倍の軍事能力を増し、航路の短縮によつて大西洋
 太平洋兩面の艦隊の合體は容易な事となつた。又同地中海に於ける勢力圏は左の經濟的侵入によりても明かである。

グアテマラ・サルヴァドル・ホンジュラス↓財政上後見、ニカラグア↓財政及政治上の監督。

バナマ↓軍事的干渉權、バナマ運河地帯↓主權、キューバ↓軍事的干渉權、ジャマイカ・バハマ↓經濟的制約、ハ
 イチ・ドミニカ自由國↓財政的軍事的監督、ポートルコ・ヴァージン諸島↓主權、英領佛領、經濟的制約。

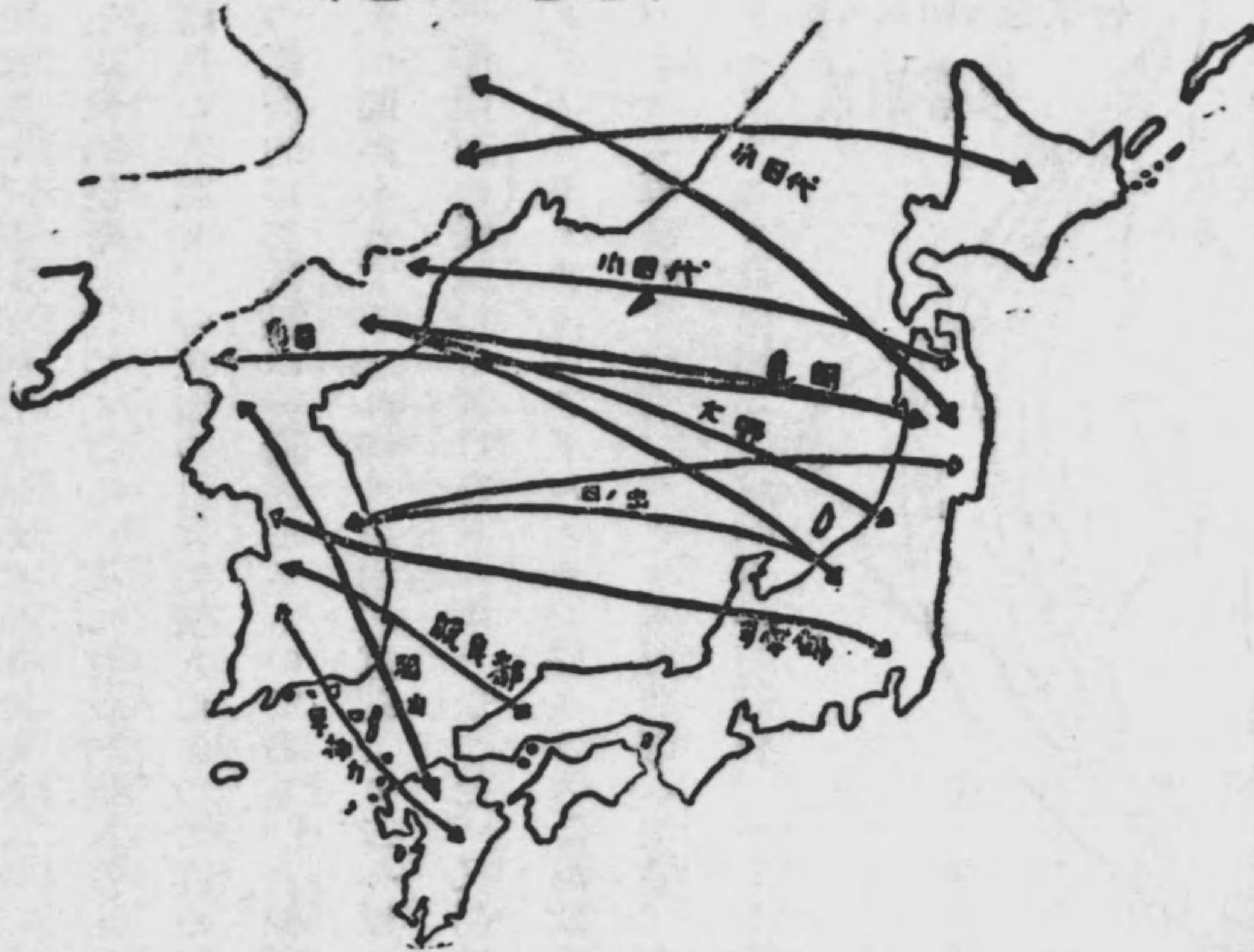
更に合衆國の經濟的侵入は南米諸國にも及び、南米コロ
 ンビヤ・メキシコ・亞爾然丁に投資し、經濟的後見をなし、
 モンロー合衆國の前提的役割を演ぜんとする。英國は合
 衆國の經濟的制約を受け、同地中海に於ては餘り有力でな
 ず。植民國より獨立したる合衆國は、今日事實上完全に世
 界に於ける強國となつた。有利なる地理的位置と豊富なる
 地理的豐源に基き、未曾有の速度をもつて一躍世界の強國

に列し、大戦中急速に膨脹した経済力は世界の凡ゆる市場に侵入し、戦前の歐洲諸國の経済力に置換した。而して其の経済的富強は同國の軍事能力を著しく上昇せしめた。パナマ運河の壽命を知り、更にニカラガ運河の開鑿をなし、これに代償せしめて西半球の牙城に據つて、アメリカ地中海を完全に包圍し、更に二運河によつて太平洋を越え、極東にまで政治的に進出せんとする意思を有してゐる。

四 北部朝鮮と滿洲との耕作景を對比して論述せよ

1 米作 米は朝鮮には北限なし、會寧に至るまで産する點は東北日本の樺太・北海道と著しき相違である。朝鮮は高緯度に拘はらず日照時間長く、雨期が六月より八月の間で、且つ收穫期に乾燥し、その上颱風がないため耕作に好都合である。しかし北朝鮮の品種は我が内地に於ける偏北種の小田代或北に適し、咸南には龜尾(秋田)・早生大野(山形)を栽培する。これ等は中鮮・南鮮と南するに従ひ、内地の中稻晚稻の品種の栽培地と一致するものである。滿洲は朝鮮の會寧より松花江の通谷に沿ひ、鮮人が水田耕作開拓に従事してゐる。品種は北鮮のものと同じく、小田代・龜尾である。元來漢人は水田に入ること

我國稲作品種



小麦燕麥



厭ふもので、滿洲に於ける水田耕作は鮮人の獨占的職業にて松花江の通谷より漸次北上してゐる。

2 麥作 燕麥が京畿江原兩道以北の山間の新開地並に火田に多く栽培される點は、冷涼氣候と腐植質土壤の結果である。是等は内地の北海道・樺太の冷涼氣候地帯の燕麥栽培と一致する。小麦は北鮮に於ては燕麥少き地域に栽培され、即ち西北鮮・中鮮の交界地域に生産される。滿洲に於てはハルビンを中心として北滿に多量に生産される。北鮮・滿洲共に秋蒔きは冬越に困難と云ふ點より春蒔きを行ふ。然し南鮮・中鮮は秋蒔地帯で、この點カナダ北部に春蒔小麦を生産し、

漸次南するに隨ひ秋蒔に移換するのと同様である。内地の裏日本に於ける麥は積雪のため冬越困難であるが、春蒔で其の缺を補ひ得ないのは、米作が田植の季節のため麥の晩熟を待ち得ないからである。朝鮮は一般に内地と異なり、收穫期に降雨少く乾燥勝ちにて製粉に好適である。特に西北鮮のものは粘性に富み、品質極めて良好にして、米國種に對して遜色がない。大麦・裸麥は南鮮が主で、北鮮には若干之れを生産する。これ等の麥作栽培地域が燕麥が最北で、小麦・大麦と南下し、裸麥が最南地方を占有する状態は、東北日本に於て樺太・北海道の燕麥地域から奥羽以南の小麦・大麦と漸移し、中央日本・西南日本の裸麥地域と變移せる型式と同様である。滿洲にも南滿及び朝鮮國境附

大豆主要産地



近に少量の大麥・裸麥を産するが、多産せざる點は自然的社會的要因の結果であらう。

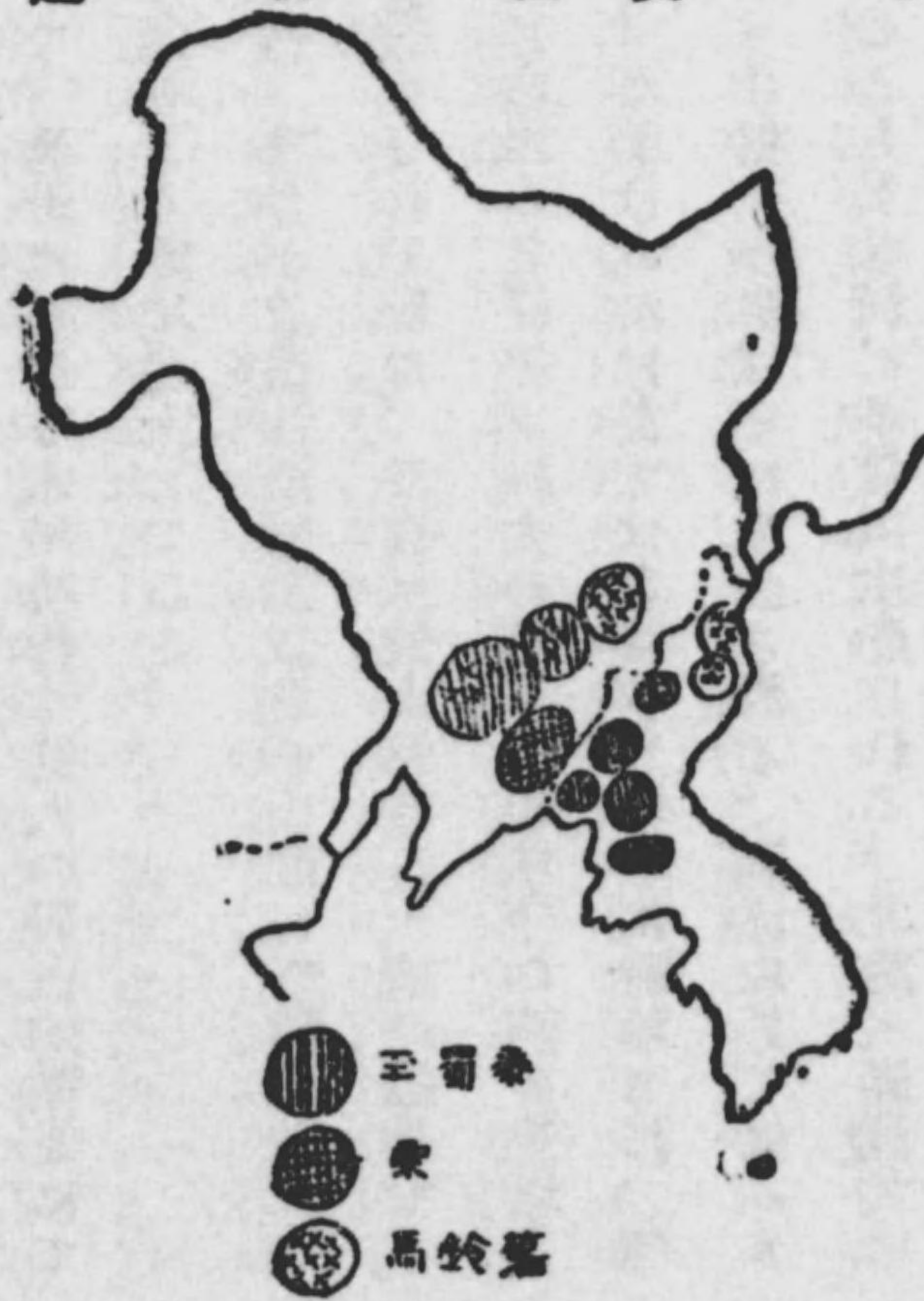
3 豆作 滿洲大豆が世界生産の六割を占むる大生産地域であることは、氣候上の適應性と風土との關係及び漢人の歴史的傳統的の栽培にもよるものである。遼河を中心として南滿平野より北滿平野に亘り生産が盛に行はれる。北鮮も亦大豆卓越地域で、端川大豆、安邊・平壤・長端大豆等の優良種を生産し、清津・元山より内地へ輸送する。北鮮にては麥・玉蜀黍等

の間作として栽培される。

4 粟作 北部朝鮮に卓越し、滿洲山東地域に多量に生産し、漢人並に西北鮮人の常食用に供せられる。西北鮮に粟作の盛なのは滿洲に對する對抗作物とし、又一方經濟政策上に依ものである。

5 玉蜀黍 滿洲は玉蜀黍の大生産地域で、耐旱性に富み、製粉し滿洲民族の常食用に供する。北部朝鮮も若干これを栽培する。

6 馬鈴薯 馬鈴薯は偏北性を有し、内地の東北日本が卓越



地であると同様に、北鮮にも良質のものを生産する。滿洲に於ても鮮人の手によつて栽培されつゝあるも、其の成績顯著ではない。氣候上より見れば栽培可能地である。

7 苹果 全鮮にこれを生産する。平安南道・黃海道が最も多く、内地の東北殊に青森縣や長野縣に卓越すると同様で耐寒性偏北性の果樹である。滿洲にはこれが生産著しからず。

8 野菜 朝鮮に於ける野菜栽培は、殆んど支那人の手によつて行はれて居る。これは支那人が勞働に耐久性を有し、安價に販賣するので鮮人・内地人では到底競争にうち勝てないからである。白菜・甘藍・トマト等を栽培する。

9 棉 滿洲奉天附近は大陸性氣候の特徴たる夏季の高温と、降雨量の可能性とによつて棉の栽培が盛である。而して人工灌溉を施せば、優良棉の生産が廣範圍に行はれるが、今日では未だ在來棉の栽培が多い。北鮮は棉の栽培可能條件より云へば、城津附近までは、可能地域であるが、優良棉を栽培する生産條件より云へば、南鮮に限られる。在來棉は北鮮まで生産す。

10 大麻 大麻の栽培は全鮮に普遍せるも、苧麻は南鮮に局限さる。滿洲にも南滿に少量の生産を見る。

11 甜菜 南鮮に甘蔗の偏南性を有すると同様、甜菜は冷涼氣候のもつ偏北性にて、滿洲新京を中心とする附



近に生産する。これは北海道・北歐の冷涼氣候地帯と一致するものである。北鮮に於ても之れが、生産を見るが製糖會社と農民とが一定の契約を締結して栽培すると云ふ。

12 人蔘 中鮮・北鮮に生産する。滿洲にては山東地域に多く、耕作については人的制約が強く、有産者に栽培せしめらる。

13 養蠶業 全鮮養蠶業可能地域なるも、西北鮮・東北鮮方面は内地の奥羽地方及中部地方の山地帯と同様、飼育動搖地域である。一般農民は温突を利用し、之れにて危険性を除去する。併し飼育法にて内地の如く蠶室を設くることなく、又桑園も内地の如く田畑に作るものではない。垣根や家屋の周圍に桑を植ゑ桑種も在來種の耐寒性のものを選ぶ。近時は集約的栽培を奨励し桑園化の傾向を有する。春蠶も掃立が五月下旬より六月上旬となる。滿洲に於ても又ハルビン附近までは飼育可能地域である。

14 火田民 蓋馬臺高地の處女林を焼き拂ひ、馬鈴薯・燕麥・大豆等を播種し、交互輪作を行ふ。住民は移動的居住をなし、自給自足の原始的な生活様式をとる。併し今日では土地制度上の開墾の制限や生活程度の上によつて、定着集約的農業經營方法へと進化の過程をとりつゝある。之れ等は臺灣の蕃界に於ける雑畑・休閑地の制と同様にて、原始的農業の形式が地形氣候と文化に恵まれない地域に残在する形見である。

15 越境耕作 北鮮の國境住民が豆滿江を越えてなす日返り耕作景にして、二里以内は日返り耕作をなし、收穫物を朝鮮へ無税で搬入することを税關が公許してゐる。又日返り耕作の程度を越えて永久移住が行はる。間島人の人口四十餘萬の七割餘は咸境北道から移住した鮮人である。女眞時代の南進政策に對し北進政策の事實を示し、水田耕作

に従事してゐる。

結 論

一、滿洲・北鮮とも米作可能地域で、内地の偏北種小田代最も適す。北鮮は南するに隨ひ龜岡大野日出等と漸次變移の品種を選ぶ。

二、滿洲は小麦多産地域であるが、北鮮は燕麥・小麦の混作地域である。

三、滿洲・北鮮共に優良なる大豆卓越地域であることは氣候風土の關係である。

四、粟・玉蜀黍の生産が兩地域に見られるのは對抗耕作景として注意すべきことである。

五、高粱は滿洲に獨占的生産を見、北鮮には點在的に生産するのみである。

六、甜菜は兩地域共に冷涼氣候のもつ特權として、生産可能地域である。

七、苹果・馬鈴薯・大麻は北鮮に多産す。

八、野菜栽培は支那人の獨占業であるに反し、水田耕作が鮮人の獨占たる點は好一對である。

九、養蠶業は北滿・北鮮地域まで飼育可能地であるが、著しき發達を見ないのは飼育動搖地域であるからである。

五 左の諸項について知る所を記せ

(1) シエール海岸

氷河作用が地塊海岸を削削して其のために山地の内部構造と殆んど無關係の地貌となつた海岸をシエール海岸と云ふ。この海岸はフィンランド及び東南スエーデンに好例を見る。即ち洪積世の氷河作用によつて、羊狀岩やドラムリ

ン及びオザールによつて形成された半島・岬角・小島の錯雑による極端なる入江・海峡・半島・島に富み、此れが爲め海上交通は好都合で、前述の自然提防によつて風波を防ぐことが出来て、船舶の投錨に好都合である。大抵は良好な港を多数作ることが多い。

(2) 南米における單一耕作

國家の經濟組織は完全なる自給自足の行はれる國が經濟上の安固を期するものである。併しそんな國家は世界に見出されないが、漸々自給可能な國家は北米合衆國・支那・ロシア等である。これに反して單一栽培をなす國家に於ては經濟的恐怖が多分である。南米ブラジルの珈琲栽培、我國の生絲業はよく相似せるものである。南米ブラジルの全輸出額の約七割以上は珈琲である。單一栽培は好景氣になると經濟上の最高潮に到達するも、一度不景氣に陥ると價格が低落して經濟的不安を生來することが屢々ある。故に政府は價格調節を行ふべく人爲的に珈琲の低落を防止してゐる。然し如何程價格の調節に腐心しても、その結果完全な價格の存続は望まれない。故に國家がその生産の基礎を單一耕作に置かず、多角的生産を要求して、自給自足の可能性の近い經濟構成を念願する所以である。南米ブラジルに於ても近時この禍より脱出しやうと各種農産種子を購入し、之が試作を試みつゝあると云ふ現狀で、主として我國人並に歐人の移住者によつて行はれてゐる。

(3) 西部アジアに於ける歐亞連絡路

(イ) ベルシャ灣頭のチグリリス、ユーフラテス兩河川より小アジア半島の通谷を経て、ハイダルバシヤに至る谷は歐亞連絡の最も自然の通谷であつて、往時は最もよく利用されたが、スエズ運河の開通によつて全く衰へた。然るに

ドイツがバグダット鐵道の敷設權を得て以來再び交通路としての價値を表した。即ち一度繁榮を極めて古代文化を作つた交通路がある衝動のため一時衰へたが、更にあるものゝ刺激によつて回春した通路である。

(ロ) 蒸氣汽罐の發明は世界交通路に交通機關に一大變動を與へた。地中海より紅海に通ずる通谷に運河を開鑿することは當時何人も豫想しなかつたであらう。レツプスが運河開鑿に成功し、船舶は自由に兩海をこの運河で連結し得て、スエズは全くの近代的交通路となつた。これが爲め印度の小麥栽培其他の生産に一大衝動を與へ、英本國は印度・濠洲・其他の植民地生産物をこの通路によつて輸送しつゝあり、且つこれが經濟上に政治上に重要な交通路となつたことは衆知の事實である。



(ハ) 更にスエズの通路よりも時間的に大節約の出来るものに、黒海よりコーカシヤを経て裏海より中央アジアに達する路がある。併し本通路は地形上の支配、氣候上の制約、其他生産品の豊庫でないことと云ふ幾多の理由で、最スピード的交通機關の發見を見ず。往時交通路として利用された所である。

(4) 港としての長崎の特徴

鎖國時代二百餘年我國唯一の和蘭及び支那との貿易港で、新日本文化の輸入港である。地形は港口狭く殆んど山に圍まれて、風波の懼なく、港は全く安全な碇泊所である。明治以

後我國の文化が關東、近畿地方に求心されたかの感がして、西瀛的位置に存在する長崎は充分な色彩を發揮し得なかつたが、佐世保の軍港に刺戟されて大造船が開かれて以來、急に發達を遂げた。南洋・支那其他の大陸に近いと言ふ地理的位置を有するも後背地との連絡を缺き、貿易品の集中に困難であることは同港の位置的缺陥である。唯港外に石炭を産出するので、石炭補充の汽船の寄港が主なるものである。他は支那へ乾魚・陶器等を輸送する程度のものである。天然の良港であるも、發展に對する諸條件を缺除するため、將來の發展も大して望まれない。

2 本 試 驗

一 石灰岩洞とカルスト地形の變化との關係を説明せよ

(1) 石灰岩洞の進化

石灰岩地方に存在する洞窟の内部には鐘乳石及び石筍等の點滴石が成長して居て、洞内の空所は次第に狭くなる傾向を示す。それ故に石灰岩洞の進化には二つの時期を區別しなければならない。第一期には石灰岩洞が溶蝕或は地下水の侵蝕で擴大し、第二期には洞窟の成長が休止して點滴石によつて漸次に閉塞されるのである。

單輪廻の石灰岩洞では地下水が漸次に垂直な空洞によつて下方の畫廊狀洞穴に導かれ、地下水の水流の侵蝕によつて洞穴は漸次擴大する。地下水流は一般の河流と同じく樹枝狀の水系を作る傾向があるから、石灰岩洞の形狀も同じ型式に近づく筈である。其の上に洞穴の底では地下河流の曲流によつて、側壁下部が侵蝕された形跡を留めることもある。

(2) カルスト地形の進化と石灰岩洞との關係

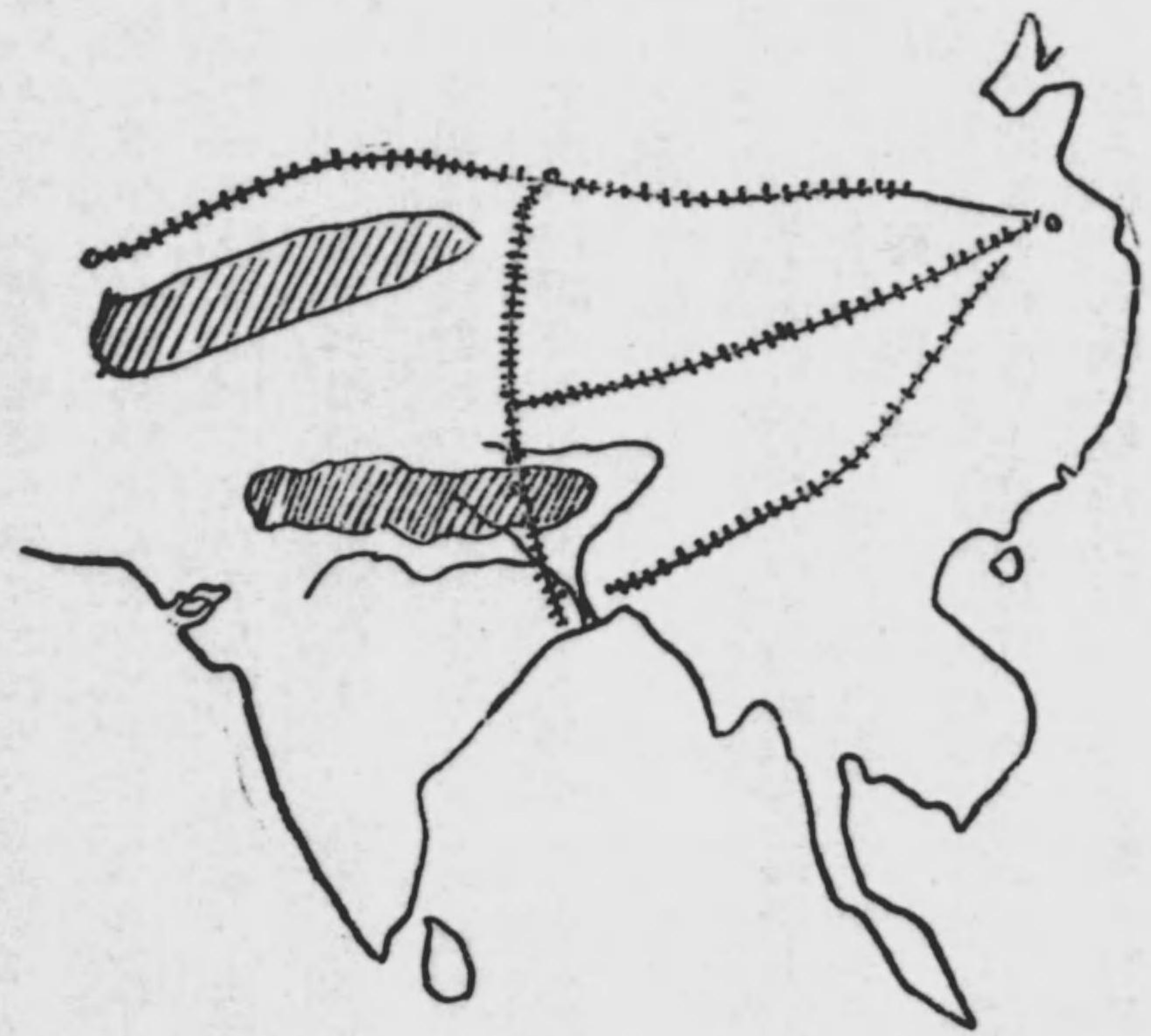
石灰岩洞の成長を中心にカルスト地形の進化を考へると、次のやうな變化が推測される。地下に石灰岩洞の系統が發育し、其等の空所が増加するに従つて地上にはドリネの群が生じ、其の數と面積とを増すと同時にドリネの底が低下する。このやうな順序を経て石灰岩洞の上部とドリネ底とが接近すると、地表には陥落が起つて、地下河流の一部は地表に現れるやうになる。石灰岩地方に多い自然橋はこの原因で形成されると云ふ。この過程が進むと、下水面に近いカルスト準平原面が形成されるのである。フロリダ半島のカルスト地形にはこの例が存在してゐる。

更に準平原面が地盤隆起によつて上昇し、之れと同時に地下水面が低下することによつて第二輪廻に入る。多くの大規模な石灰岩洞は樹枝狀の平面形を有せず、網目狀の系統を作つてゐるのが普通である。洞穴の内壁は平滑で侵蝕の結果として崩落が起つた痕跡はなく、洞内を満した地下水によつて溶蝕されてゐる。この關係から見て、此れ等の大石灰岩洞は二輪廻性のものが多いとデビスは論じて居る。洞穴が溶蝕によつて擴張されたのは、地表に準平原化の行はれた長い期間である。土地の上昇によつて地下水面が低下し、石灰岩洞の中に空氣が侵入してから點滴石の形成が始まつたのである。

二 印度と支那本部との主要陸上交通路を説述せよ

(1) 障 碍 條 件

支那印度を結ぶ陸上交通路は、兩地間に大山脈・大高原・大溪谷等の自然的障物物の介在すると共に、大陸性氣候に支配され、氣溫の較差が著しい。是等の自然的障物條件に對し、一方兩國の文化程度劣り、人口分布も稀疎で、今日まで世界に於ける最も交通に恵まれない地域の一である。即ち自然的障物條件と、文化的障物條件と相



一致するがためである。加ふるに、何等經濟活動にその反映少きためである。

しかし山地に居住する住民は兩國間の物資交換のため、溪谷或は峠を攀ち登り、通商交易に従事してゐる。

(2) 西藏高原を通る交通路

世界の秘密國として、交通路に恵まれない世界最大の非文化國たる西藏を通過する交通路を擧ぐれば、印度からは鐵道の便によつてダージリンに到る。ヒマラヤ山脈の溪谷を越えて西藏に入るこの道程は犂牛の力を借らねばならぬ。かくて亞東を経てサンポーの谷に出で、拉薩を経て印度支那山系と幾多の溪谷を越えて西康省の巴塘に出で、更に四川省に近い打箭爐に出で成都に達する。打箭爐よりヤクを利用すれば約三ヶ月で拉薩に達することを得。此の道路は川

藏間最重要なる道路で、支那の官道で宿驛稍々備つて居る。支那よりの物資輸送路である。

西寧より青海に出で、黄河水源地方を越え、バヤンカラ山脈をこえて拉薩に通じ、更にヒマラヤを攀ちて印度に通ずる谷がある。これは唐代よりの官道で、西寧・ラツサ間五、六十日を費し、沿道荒漠たる溪谷にて無人の境を行く如く、兇賊の出沒すること稀ならずと言ふ。故に蒙古人の拉薩巡禮には隊伍を組み利用したと云ふ。

西藏を經る鐵道豫定線が二線ある。一線は成都より打箭爐・巴塘を經由拉薩に至り、更に亞東を経てダージリンにて印度の鐵道に連絡するものである。他は蘭州より拉薩に至るものである。清朝末期に於て西藏統治の必要上より起工に決定して居たが、中華民國興るに及び内治財政上の事情のため未だ其の端緒さえ見ない有様である。

(3) 雲南省よりビルマを経て印度に入る路

雲南より大理・騰越・猛印を経て、イラワヂー河の上流のバモに達し、鐵道によつてマンダレー方面に至るものもある。これは英國の南支方面への勢力擴張進路として重要である。

又新疆を経て、ヤーカンドよりカラコルム山脈を越えて、印度のカシミール地方との交通路も古より行はれてゐるが、支那本部との交通路としては極めて迂回路である。

結 論

要するに印度と支那本部との交通路としては、幾多の自然的障碍條件が存在し、道路も險惡で峠あり、峡谷の河川には架橋設備もなく、索橋又は皮船にて渡河するに過ぎない。ヒマラヤの連嶺を越えんとすれば虚弱者をして高山病に悩ましめる等幾多の困難を感じる。しかし將來兩地間の鐵道敷設の必要性が起るとすれば、それは英國の西藏經營に對する係争問題の激發する時ではないかと思ふ。兩國間の鐵道敷設がそれ程急速に開通しないとしても、兩國間の係争が鐵道開通の意義を加ふることは明かな事實である。

三 飛彈高地の地誌を説述せよ

(1) 地形氣候の景觀

高地飛彈地



平均高度三千米を有する飛彈山脈は、その背面を西に向け、一千五百米の高度で高山盆地に緩傾斜する。高原の西の縁は白山火山群及び加賀山地に限られてゐて、中央の高山でさへ海拔五百八十米ある。高山の南の宮峠を境にして南に益田川が流れ、濃尾平野に下つて木曾川に合流し、北には宮川及び高原川が合流して神通川と稱して富山平野に下つてゐる。

高原上の氣候は冷涼性で、冬季の四ヶ月は零點下の酷寒となるも、春の氣温上昇に従ひ急に新春の訪れるや、百花一時に開花する奇觀を呈する。降水量は北陸型で、信州及び甲州の如く表日本型でなく、冬季の雪雨が多く冬籠りの期間が長い。

(2) 産業と隔絶地

山國で耕地が少ないが、山林を開墾して畑・雑畑をつくる。これ等は出作法をとり、毎年四月下旬乃至五月上旬より耕作を始め、十月中には殆んど耕作を終へて原住部落へ歸るといふ。畑には稗・麻・桑・蕎麥・玉蜀黍・粟等を栽培し交通不便の隔絶地たるがため人造肥料を用ひない。

雑畑は殊に出作り者の生命である。無肥料で相當の收穫を擧げてゐる。輪作農法である。米は極く少量生産するも稻の品種は皆早稻であることは氣候上の關係である。家の周囲では野菜を栽培し、牛馬を飼養してゐる。山林中にては木炭焼をなし、冬期は薬仕事、女子の白山紬等を織り、夏季は養蠶をなす等一般に本業の外に副業を盛に行ふを以

つて、經濟は潤澤であり、全くの自給自足の生活をなしてゐる（男子は炭焼で女子は養蠶である。養蠶上簇期近づくと男子が手傳ふ状態である）。同高地の神岡鑛山には少量の鑛石を産出する。

白川の谷は他地方との交通が遮断されて、文化地域より隔絶され、一般の社會に對して交渉無關係の生活様式をとり、日常生活の如きも簡單素朴で所謂今日の文化生活者より見れば實に堪へがたいものである。古い隔絶地固有の言語・風俗・習慣・奇習の残存してゐるのも當然である。五ヶ山谷及び有峰村等も前者と同様である。

(3) 出稼の現象

一般的現象である裏日本一帯の出稼の原因が大部分冬雪にあるとするならば、最も深雪地帯であるこの地域に於ける出稼は又最も盛でなくてはならぬ。事實上この地方の青年男女は殆んど残らず出稼するのである。出稼には二種類ある。一は長期出稼で、他は短期出稼である。其の出稼地は主として大阪・京都・東京・名古屋・金澤・福井等である。一時的出稼は冬籠りの期間中行はれ、各地に於て勞役に従事する。長期出稼者は短期出稼者に比して其の數が減少する。

(4) 其の他

家屋の建築は飽迄養蠶に適するやうに作り、他に納屋・倉庫・便所等を分離して造る。冬季の積雪に耐へ得るために太く強い木材と厚い壁を附ける。屋根は全部茅葺である。出作り地には特設兒童教育所を設く。

結論

之を要するに飛彈高地は地形的關係によつて他の文化地域より隔絶された景觀を有して居る。出作り地帯の著しき

特色は撒布聚落・周期的移住聚落・固定移住聚落・垂直的膨脹聚落・水平的出稼・雑畑式開拓・出作教育等の特異性である。これ等の地理的特性は、自然の環境を人的要素にて開拓せんとする隔絶地域に於ける生活進化への過程を物語る一特相である。

四 アルバニアの一般文化景域を説述し、其の政治地理的諸問題に論及せよ

(1) 一般文化景域

ディナルアルプ褶曲山脈の南方山地は、アドリヤ海へ流出する諸河谷によつて、深く開析された山地國である。住民は此等の溪谷及び港の附近に居住してゐる。狭長な海岸平野及び三角洲は肥沃であるが、不健康地である。従つて住民の密度は比較的小である。同國の大部分に亘つて牧羊者が居り、彼等は傳説と古い習慣を保持して一般に定住しない。またアルバニアは僅かの道路を有し、且つ殆んど鐵道を有しない。住民はその起伏が不連続的な特性のために、孤立的群團をなしてゐる。而して組織化された生活單位は民族でこれが地方的獨立の精神である。而して我が臺灣山地中の族團の如き古い習慣を犯してゐる程で、法律の程度が低い。かくアルバニアは現今の歐洲諸國中最も古い社會狀態を残し、嘗てはトルコの支配下に屬してゐた。アルバニア人は相當肥沃な平野を有して居て、往昔は多くの生産物を伊太利に輸出したものである。しかしトルコが之を支配するに及ぶや、この發達は中斷せられた。即ち



今日と雖も彼等の經濟組織は甚だ原始的であつて、各家族がその必要品を各自支給する状態であつて、未開墾地が多い。又アルバニア人は民族意識が強く、封建制度を維持することを好んだ。而して住氏約百萬は眞の民族的意識を缺いてゐる。民族的な制度は北部及び上部アルバニアに於て殊に盛である。中部南部のアルバニア人は奴隸的な小作人が、彼等と同じ種類の地主及び領主によつて支配され壓迫されてゐる。住民の六十六％は回教徒で、十二％はローマカトリック教を奉じ、二十一％はギリシヤ正教で、南部に勢力が大である。

交通は地形錯雜の影響と非文化民族の關係とで甚だ幼稚である。鐵道は殆んどなく、交通の發達せざる點に於てヨーロッパ隨一である。しかし同國の存する地理的位置は、スクタリをしてバルカン半島の南半に入る重要な門戸として期待せしめてゐる。

(2) 政治的摩擦帯

所謂アルバニア問題として、バルカン半島、否世界の政局に重要な役割を演じてゐる。

A 緩衝國 アルバニアは一九二二年一月のヴァロナに於て獨立の原則が承認された。一九二〇年國際聯盟に加入し、一九二四年共和國を宣言し、一九二八年王國となつた。而してユーゴスラヴィヤ・ギリシヤ・イタリヤの同國に於ける指導的競争を見る時、同國の分割が先づ問題となつて来る。關係三ヶ國によつて果して將來健全なる社會的經濟的狀態が誘致されるや否や、よしそれが可能にしても、アルバニア民族自身の性格上不可能な事ではないかと思ふ。實際問題としてはアルバニアに三ヶ國の勢力範圍を確定するのが穩當のやうである。

B ユーゴスラビアの野心 ダルマチヤ閉鎖海岸によつてアドリア海と遮断されてゐるユゴスラビアは、フューメ問題に失敗しサロニカにも進出出来ず、結局アルバニアの海岸を求めて海への出口を求むるより他に途なしとし、この目的達成のためには佛國と協商條約を結び、アルバニアの北部に策動してゐるが、伊國の強い衝反のためにその目的を達成し得ない。

C 伊太利の野心 アドリア海の制海権を領有せんとする伊國にとつて、ユ國がアルバニアの北半を求めんとすることは非常な脅威である。故に伊國はオトランタ海峡よりヴアドナ灣の前にあるサセノ島を以つてアルバニアの港灣の鍵を握つてゐる以上、ユ國の慾望の實現は伊國の許可を俟つて初めて可能である。伊國としてはイストリアの東方ギリシヤの南端マタパンまで、敵を見ることは到底堪えられない所である。されば伊國はアルバニアと親交條約を結び、同國への勢力の扶植をなす第一歩として、軍人技師等の派遣を行つてゐる。

D ギリシヤの野心

南方はギリシヤ民族と宗教上の關係によつてギリシヤの熱望地域であるが、前述の如く伊の制約を受けて容易に其の實現は困難と見てよからう。

結 論

要するにアルバニア問題の核心は、同國を繞る三ヶ國の交通政策に基く海洋への進出衝動、海港の支配、アドリア海の制海権確保に基因するものである。同國は之等の國家の緩衝政策のもとに、獨立の運命を存續してゐるが、中にも伊國の強勢なる政治的緩衝が重大な使命を有してゐる。

五 南アメリカの牧畜業並にその生産品の取引状況について述べよ



(1) 南米牧畜地域

南米南半部地方は氣候の自然的條件が牧畜業に適し、且つアンデス東麓地域、ラブラタ草原地域、ブラジル高臺地帯等廣大なる草原地帯が横はり、地球上に於ける最も大なる好牧場地をなして居る。殊に人口稀薄にして、農業經營も粗放な大農法、大牧畜地域である。農産物の生産より、牧畜の收入がより有利である點等からして、人為的耕地を草原化し大牧畜地域の特色を發揮しつつある。

A ラブラタ諸國 アルゼンチンは羊・牛・馬の飼養頭數南米第一位にして、牛は北方及中部のパンバス地域、特に農耕地帯に多く生産し、頭數は印度・ロシア・米國に次ぎ世界第四位であるが、人口に對する頭數はウルグアイに次ぎ第二位である。羊は農耕地を除き自然的條件の好適地たる南部乾燥地域、パタゴニヤ、中部の山麓に飼育する。草原開拓の影響を受けて近時牧羊の頭數減少の傾向を示してゐるも、南阿に次ぎ重要な牧羊地域である。馬は農耕地帯と一致する感を有し、露米に次ぎ世界第三位の生産飼育地である。ウルグアイは國全體が大牧場と云つても過言でなく、羊・牛の飼養盛に行はれ、人口に對する頭數は世界一である。故にこの地域の工業は農産畜産による原始農業的工業にして、製粉業と並んで牛肉・氷結肉・肉罐詰・肉エキス・酪製品と皮革工業が盛である。之等の工業がラブラタ地域の主要生産品として同國の經濟的基礎をなし、世界貿易に於て重要な位置を占めてゐる。

B ブラジル高臺

ブラジルは高原の東側斜面に羊を飼育し、西側斜面は牛の飼養が盛である。概して同國の畜産地域が南方に局限されてゐるのは、自然的の支配たる熱帯原始林氣候の影響によるものである。牛の頭数はアルゼンチンと伯仲し、パラグアイ地方まで及ぶ。従つて酪製品工業も行はれてゐる。殊に豚の飼養の盛なることは南米中第一位である。

C 其の他の地方

コロンビアはリャノスの好牧場を有し、牛・羊の飼畜も盛んである。又南米にはペルーの牛牧地、チリーの南方の牧羊地域、中部の牛生産地域等を見る。概言すれば南米の牧畜業は温暖なる南部地方、草原卓越せる南方地方に最も盛である。南米北部地方の牧畜は二、三千米の高原狀の草原に於てなされてゐる。

(2) 畜産品の取引状況

牧畜業隆盛なるも、人口密度稀薄にて、生産過剰なるを以つて大部分はヨーロッパ諸國に輸出する。ウルグアイは年貿易額の九〇%は畜産品が占めると云ふ盛況で、アルゼンチン・ブラジル共に農産品に次ぎ重要な輸出品である。中にも羊毛は生産品輸出に對し重要な位置を占む。アルゼンチン・ウルグアイ兩國の羊毛輸出は世界貿易額の六分一を占め、世界市場の價格に影響を及す程度の輸出地方である。羊毛に次ぎ牛肉・氷結肉・肉エキス・酪製品等の製品並に皮革も亦、歐洲の市場に進出して活氣を興へてゐる。之等の畜産品輸出相手國は英・獨・佛・スイス・日で、主として歐洲の各國へ輸送され、盛況を呈してゐる。

昭和八年度(第五九回)

1 豫備試験

一 トロイデ・三角洲を本邦に例をとりて其の特質を比較論述せよ

(1) トロイデ火山(塊狀火山)

(ア) 信濃燒岳の活火山 複雑なトロイデ 頂上に火口が開き不規則な形を示し、内側には均質な岩石面を分布する。

(イ) 由布・鶴見岳 酸性安山岩類より構成され、熔岩圓塔形を形成す。

(ウ) 大山 數回の噴出により熔岩の集合體で厚い熔岩層を作る。

岩漿は概ね酸性の岩石で、基性な熔岩でも温度が低いために、著しく粘稠性を有し、遠隔まで流れずして小區域内に厚く累積し、鐘形(乳房山)の山體を作る。

1 單なるトロイデは唯一回の熔岩噴出によつて形成された所謂單成的火山で、熔岩の量が少い時は基底面に比較して高さの大きい鐘狀丘を作る。周圍の傾斜が急で、全表面は岩塊に蔽はれ、草木が生じた後にも所々に岩石が露出して磊砢たる形を示す。熔岩の量が少くて噴出後急に冷却して凝固しなければ、熔岩は四方に流動して頂上部は扁平となり、基底の面積は高さに比して増加し、饅頭形に化す。かやうな單純なトロイデの高さは百米—三百米で、時には五百米もある。

備中彌高山・飯野山・青野山・箱根・二子山等はこれに屬す。

2 何回も熔岩が漏出した結果出来た複雑なトロイデは、其の平面形は前者の簡単な圓形又は楕圓形であるに反し、水平曲線は多少出入を示して、その集合體であることを示す。然し全體としては略圓に近い平面形を現し、山腹の急傾斜と岩石の露出とが著しい。故に遠望して、急峻で圓錐形を呈しては居るが、其の山腹の岩石が突兀として凸面を造る。燒岳頂上に火口が開き不規則な形を示してゐるが如き其の例である。

由布・鶴見岳の頂上には不完全な火口が存在する。

雨乞岳の開析鐘狀火山。近江高山の開析鐘狀火山。



端の海原野平野の本

3 次に大形なトロイデ火山が、數回の噴出によつて熔岩の集合體となる場合は厚い熔岩層は不規則に相重り、急傾斜面を以つて境される。爆發的噴火による抛出物は急な山腹から轉落して、周圍に堆積して裾野を造る。かくて裾野と火山錐とは分離した關係にて物質に差異を與ふものである。例へば大山のやうなものである。

(2) 三 角 洲

1 開析三角洲 地盤運動が起つて三角洲面が隆起し、三角洲平野が原位置より高くなれば一般に河流の堆積は休止し、侵蝕が開始される。これを開析三角洲と云ふ。大井川下流地方以西の丘陵地に開析されたデルタを見る。

この地は隆起後に侵蝕を受けたもので、最初の平坦面は牧ノ原である。谷と谷の間が丘陵頂となつて残り、其の上に道路が通じ茶畑が作られてゐる。

- 2 侵蝕復活の結果河流が側侵蝕をなし、その後暫時の堆積期があつて、上流部に扇狀地の發育が起つた後、侵蝕期が來ると河岸段丘を形成する。天龍川上流地方に之を見る。(隆起三角洲の面)
- 3 地盤の隆起によつて海底が海面上に現れ、堆積の表面が緩傾斜の土地を形成し、海岸平野を作る。(關東平野)
- 4 河水の運搬によつて扇狀地を形成する。
松本扇狀地・甲府扇狀地。
- 5 人爲的に海底を埋立して三角洲を作る。
兒島灣沿岸・東京灣沿岸。
- 6 斷層運動によつて地壘山地の風化侵蝕と、河川の堆積物質によつて斷層盆地を作る。
琵琶湖岸三角洲平野。

二 世界に於ける主要可航運河の政治、經濟地理的意義を説述せよ

(1) 可航運河の政治經濟的意義

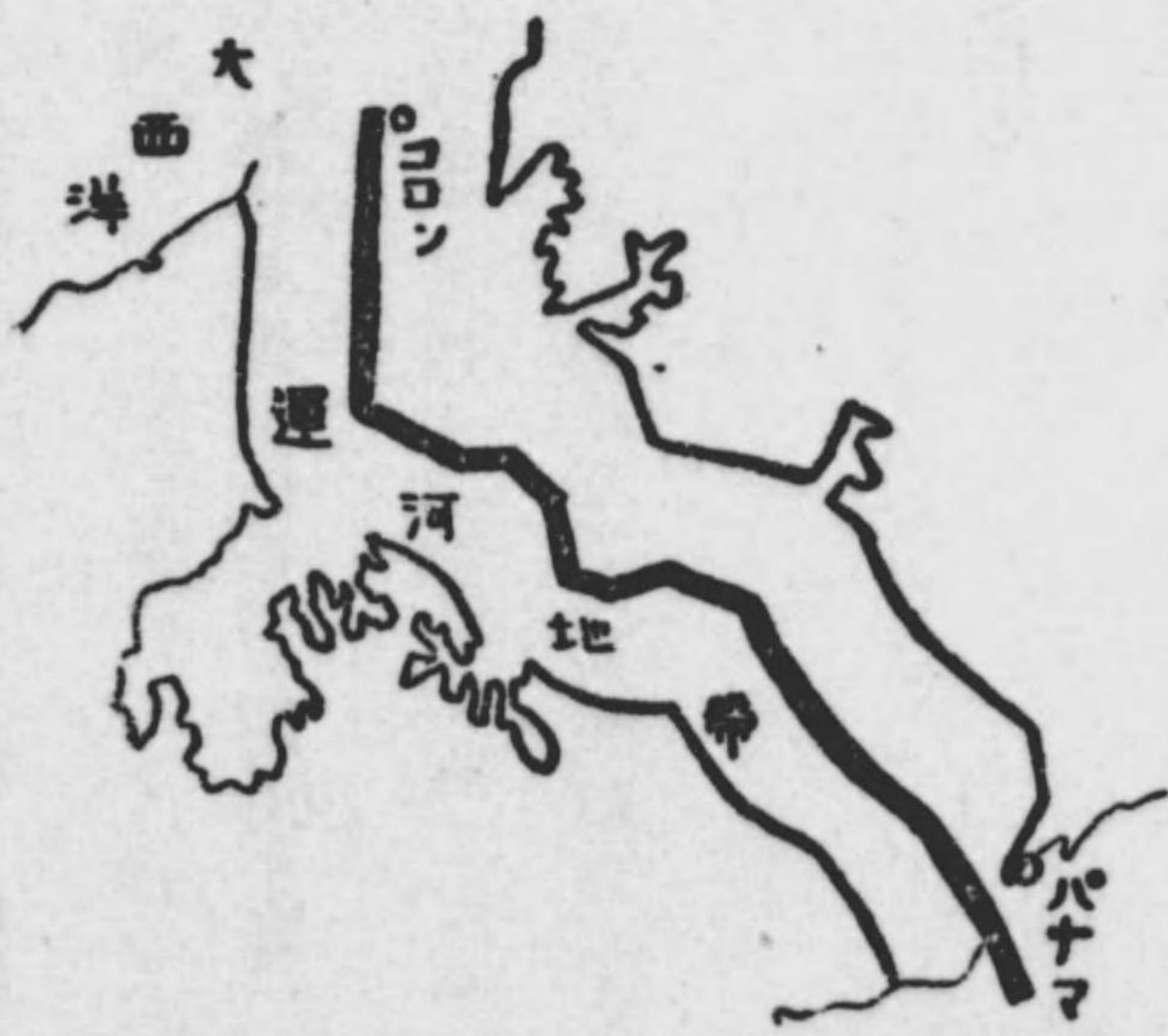
内海・地中海・縁海の周縁の陸地の支配は、大洋支配の場合と趣きを異にし、大洋の空間的支配は到抵不可能で支障點支配による大洋横斷的追求である。しかし現今の可航運河の支配はまたその前提として、大洋横斷的支配に歸結する。今日の人類技術の進歩より見れば、環狀的航路が時間的に經濟的に不利不便なる點よりして、地峽部を開鑿し交通的意義を高め海上交通の關門とする。又一方これは政治的に戰時に於ける防禦に役立ち、敵の通過を遮斷するこ

とが出来るのである。また經濟的には生産物輸送に、或は生産品價格、販賣品の擴大性等世界經濟機構に重大な影響

を與へるものである。かくの如く運河は政治的に又軍事的政治的能力に決定権を與へ、攻撃防禦・經濟機構に重大なる意義を與へ得るものである。

(2) パナマ運河の政治經濟的意義

北米合衆國がパナマ運河領有權を獲得したのは一千九百三年である。同國がかくの如く北米地中海陸環の政治的軍事權をも掌握したことは、更に太平洋へ進出せんとする政治的衝動の顯現として、其の意義を有するものである。又太平洋上には同國の太平洋横斷的支配・支撐點として、比島・グアム・ハワイ等を領有した。是が完全なる保護統治を期するための政治的方面より眺めても、同運河の開通の意義は深淵なものである。特に近年に至つて我が帝國の急速なる勃興は、同國の政治的軍事的感情を高め、軍事的に大西、太平洋の艦隊を機に應じ合體せしむることが出来、その戰鬥力をして二



重に強めることを得たと稱すべきである。又、二次的意義はアメリカが大西洋と太平洋との距離を短縮したことにある。即ちアメリカの東海岸諸國と東アジア諸港との短縮は、時間的に經濟的に重大なる價値を認めることが出来る。アメリカ合衆國が東歐の諸地方との交通に於て歐羅巴諸國の追従を許さないのは、全くパナマ運河の通航がヨーロッパとアジアの間にあつて、大きな距離短縮を與へてゐるに基因するのである。横濱より紐育までの航路に於て、ポーン岬迂迴航路より見れば實に三十八%の距離短縮となる。また同運河地帯に軍事的監守築城權を有し、米國の重要な要塞地としての役割を果してゐる。又經濟的にも、米國の絶對的優越商品たる棉・小麦・鐵材・石油等の輸出に多大の貢獻をなしてゐる。

同運河の特徴

- 1 米國の艦籍を有せざる船舶は運河通航に手数料を支拂ふこと。
- 2 何等國際的に中立の保障がないこと。
- 3 同國の艦隊支撐點築城權を有すること。
- 4 附近一帯要塞と共にアメリカ地中海の名の如く領有支配權を有すること。

(3) スエズ運河の政治經濟的意義

植民帝國として英國本來の姿が印度洋を圍繞せる陸環にしてジブラルタル・マルタ・スエズ・アデンを経て印度帝國、更にシンガポール・香港と幾多の海洋支撐點を有し、地中海・



印度洋の制海權を確保し、更に太平洋上にその脚を伸し、政治的に幾多の領土を支配してゐる。今日英本國がかくの如く幾多の支障點を有し、更に部分海・海峡・地中海の制海權を確保せんとする意志的動機は、同國の産業機構、就中食料問題と密接なる關係を有してゐる。英本國の交通組織上最も重要なのは、スエズ運河地帯である。

ビスマルクが嘗て、エジプトは本國の腦髓と植民地の脊髓との中間にある英世界帝國の頸脊部である。英國はエジプトをパンの如く必要であると云つた點より見ても、同運河地帯の政治的經濟的意義の如何に大なるかを知るであらう。又スエズ運河の開通は印度に於ける産業開發に大なる影響を與へ、棉・黄麻・茶・小麥等の原料品・食料品の輸送に迅速性を加ふるに至つた。又濠洲の羊毛・小麥の輸送も同様で、同運河の支配こそ英帝國の生存に重大なる使命を附與するものである。又一方政治的には前述の幾多の支障點並に植民地を有し、印度・大洋洲・アフリカ等に對して、エジプトは同領有地の中央に在り、この地を根據地として航空機或は艦船によつて植民地の反亂を迅速に鎮定するべく絶好の地である。こゝに於てスエズ運河の政治經濟的意義の大なることが認められ、運河地帯の支配慾も説明出来るものと信ずる。

同運河の特徴

- 1 運河會社の株券は殆んど英本國の資本で、投資政策によつて管理權の實權を掌握す。
- 2 國籍の別なく平時戰時を問はず自由に通航の出来る點。
- 3 同運河及び附近の諸港灣を三哩以内に於て封鎖せざること。

結論

以上パナマ・スエズの二運河を擧げ、その政治經濟上の地理的意義の概略を説述したが、運河の價値性、重要性は該國家の政治的衝動と文化的經濟機構と一致して、其の機能を發揮するものであらう。

三 濠洲西南部の地誌を述べよ

(1) 自然景觀 西部高原は古く削磨された卓狀山地で、丘陵性を有し、内陸部は氣候的制約を受けて大陸沙漠を作つてゐる。その邊縁が海に迫つて西南三角耕地が形成されてゐる。

(2) 氣候 大陸の中央を南回歸線が通過して一月は南半球の夏で、大陸中央部が最高溫地帯となつてゐる。東北部は北東貿易風が吹き、西北部は北西季節風が卓越し、東北部及び北部に降水量が極めて多い。冬は南東貿易風が卓越し、東部を除き乾季となる。しかし温帶特有の西風が北に移動し、大陸西南部と東南部は地中海性氣候區をなす。特に西部高地は地形的變化少き爲、北部は熱帶地、中央は乾燥地、南部は温暖地に三區別される。

(3) 産業

西部は地中海性氣候の齋す結果として、海岸地域は農耕・果樹の栽培が盛に行はる。三角地域沿岸は野菜・大麥・レモン・葡萄・オレンジ等の栽培が盛で、その内部が小麥生産地帯で、更に内部の草原が牧羊地域と變移することは、氣候の制約性による關係である。これはヨーロッパ地中海沿岸各地に於て、沿岸地域が果樹農耕地帯、内部が小麥卓越地域、更に内部が牧羊地帯と漸次地域的に變化す

等間線と人口密度



ると同様である。牛は沿岸地域に於て飼養し、酪製品の製造工業が起りつゝある。小麦・羊毛は濠洲大陸の二大産物にして、世界の各市場にて盛況を呈してゐる。西南部地域の生産食料品は東部中央の生産地域に比すれば僅少であるが、人口密度の過少と相俟つて食料品過剰を來し、パース港より英本國へ輸送されてゐる。又、西部山地の金鑛の發見は不毛の地をして一躍生産地、文化地域と化さしめたのである。クールガल्ली・カルグल्लीは有名なる金の採掘地である。併し嘗て盛況を呈した鑛山都市も、不景氣の襲來によつてさびれて行く現象は他に其の例が多い。同地もこの傾向が多分である。

(4) 交通其の他

鐵道の發達も地形的支配を受け、南部海岸地方は鐵道網が慚々密である。東西兩横斷線も連絡し、アデレードよりパースに通ずる。濠洲に限らず英本國の自治植民地では鐵道管理等が皆その州の自治的施設によつてなされ、軌道の廣狹に不統一があるのは遺憾である。近時各州共に統一的建設に腐心してゐる。文化現象が東部は南東部に比して劣るのは新開地的氣分の表はれである。

結 論

- 1 地中海性氣候特有の農牧・果樹等の生産に富む。
- 2 内部金鑛山を發見して急速なる發達をとげた。
- 3 工業は幼稚で農畜品を主とす。

四 我國の棉花貿易について論述せよ

(1) 我國の棉花工業

我國の棉花工業は歐洲大戰中より急速に勃興し、戰前に比して戰後の今日では二倍以上の増加をなし、六百萬噸に達した。我國の棉花が原料を外國より輸入し加工して再輸出し得るのは、その製品の安價なことに、優秀なことによるので、殊に價格に於ては他國の追隨を許さない。何故我が綿製品がかくの如く安價に製産されるかと云へば、綿紡績機械の精巧と、安價な勞働力とによつてゐるのである。

我國の棉花消費量は年約六十萬噸で、そのうち印棉が四割九分、米棉が四割五分強で、他は埃及棉及び支那棉で、其の他は朝鮮棉・アフリカ棉である。我國で使用する印棉が大體に太絲紡績の原料とされることは、米棉に比して品質の粗惡によるものである。多くは米棉と混棉されて用ひらる。米棉はその範圍廣く二〇番手以上の中絲に使用され、二〇番手以下の太絲のものには印棉と混用されてゐる。殆んど陸島棉で、海島棉を使用しない。

支那棉は粗惡で半は紡績用とするも、他は紡績以外の消費に用ひてゐる。更に埃及棉は海島棉に次ぐ品質高級のため、細絲紡績に使用されてゐる。

(2) 貿易の狀況

我國の棉花工業は、前述の如く其の原料を他國の生産品に依存してゐるのである。今日の強大帝國の政治經濟政策



綿製品輸出 棉花原料輸入

は、自給自足を原則としてゐる。而して、更に資本主義國家として經濟的に優越な生産物を所有し、之を他國へ輸出する國家をして政治的に抑壓せんとする傾向をもつてゐる。

最近英帝國の棉花工業が不振で、且つ東洋製品たる我國の精製品に對して競争出來ず、寧ろ我が製品が世界の市場にて壓倒的に進出する状態にあるを壓迫し、自國産の綿製品の販賣圏を擴大せんがために、先づ我國の世界依存のこの工業に對して、人為的に障害を與へんとしてゐる。即ち輸入棉花に對する關稅の高率を賦課し、人為的に制約し、自國産の發展を目論んでゐるのである。然るに一方棉花生産地たる印度等に於ては、我國が人為障害を恐れて印度棉花を購入せざりとせば、同國の棉花栽培業者に一大恐怖を投ずるのである。こゝに於て兩國外務當局の外交上の問題を惹起し、シムラ條約なるものの必要が生じ論争された。これは一言的に云へばランカシヤ棉業地の危機を救ふ英國の政治的政策に外ならない。しかしランカシヤ棉花工業は自體に於て一大國家産業たるの形態を備へて居らず、且つ何等の指導者なく、何等の經綸をも所有しないに反し、我國のこれは完成なる組織形態を具備し、英國の競争を絶対に許さないのである。

この問題は昭和八年九月當時の問題として考察する。

五 左の事項につきて記せ

(1) 克 海 線

海倫・克山間の鐵道で、兩地點間約二二一杆、軌道五呎で、一九二八年十二月に開通したものである。この線は中華民國が官商合辦として敷設したものである。海倫・克山附近には總面積の二割位は耕地があり、農産物を集散する



が、より重要性は、北滿の貴重獸皮たる黑貂・栗鼠・狐等の毛皮にある。露支人が之の狩獵、採集にあたり、従つて米國商人が多數入り込んでゐる。殊に北方産地の野犬毛皮は滿洲大中最も高價品である。而も同地方は古代よりの重要な通路で、屯田兵と流刑民の開拓によるものである、之等の生産以外に交通的價値としては、南方ハルビンと西部齊齊哈爾と連結せる山麓環狀交通路として其の意義が深い。東支鐵道が滿洲國の所有となり、其の奥地の開拓と相俟つて其の價値を一層發揮することが出来るであらう。

(2) ポリビヤと太平洋との連絡交通關係

内外の高原地に居住し、農・牧・鑛業に従事してゐる。農業は振はない。少量の米・甘蔗・玉蜀黍を生産し、他は羊・牛・驢馬等の飼育である。同國の産業中最も重要なものは鑛業で金・銀・銅・鉛・錫・蒼鉛・石炭・石油等を産出する。中でも錫は世界第二の輸出品であつて、世界需要額の三分一を供給してゐる。之等の主要鑛物の輸送に就いて、同國の最大の悩みは、内陸的位置にあることである。即ち他國の海港に依存せねばならぬ點である。同國より太平洋への連絡鐵道は二線ある。一つはラバスよりアフリカに通ずるものと、ボトシよりウエニを経て、アントフアガスタに通ずるものである。兩者と



もポリビヤの重要取引港である。嘗てはアフリカは同國唯一の海港として領有してゐたが、智利と兵火を交へ、遂に智利に割譲したところである。従つて兩國間の係争の絶え難い理由はポリビヤの海港の領有欲にあるのである。尙高地より高山鐵道により他國の海港に依存しながら、前二鐵道經由のもとに貿易に進出してゐる。然るにこれ等の鐵道は毎日の運轉系統をもつてゐない。高原より海岸に通ずる嶮道を、リヤマの背に貨物を積み運搬して居ると云ふ。

(3) アフリカ陸路

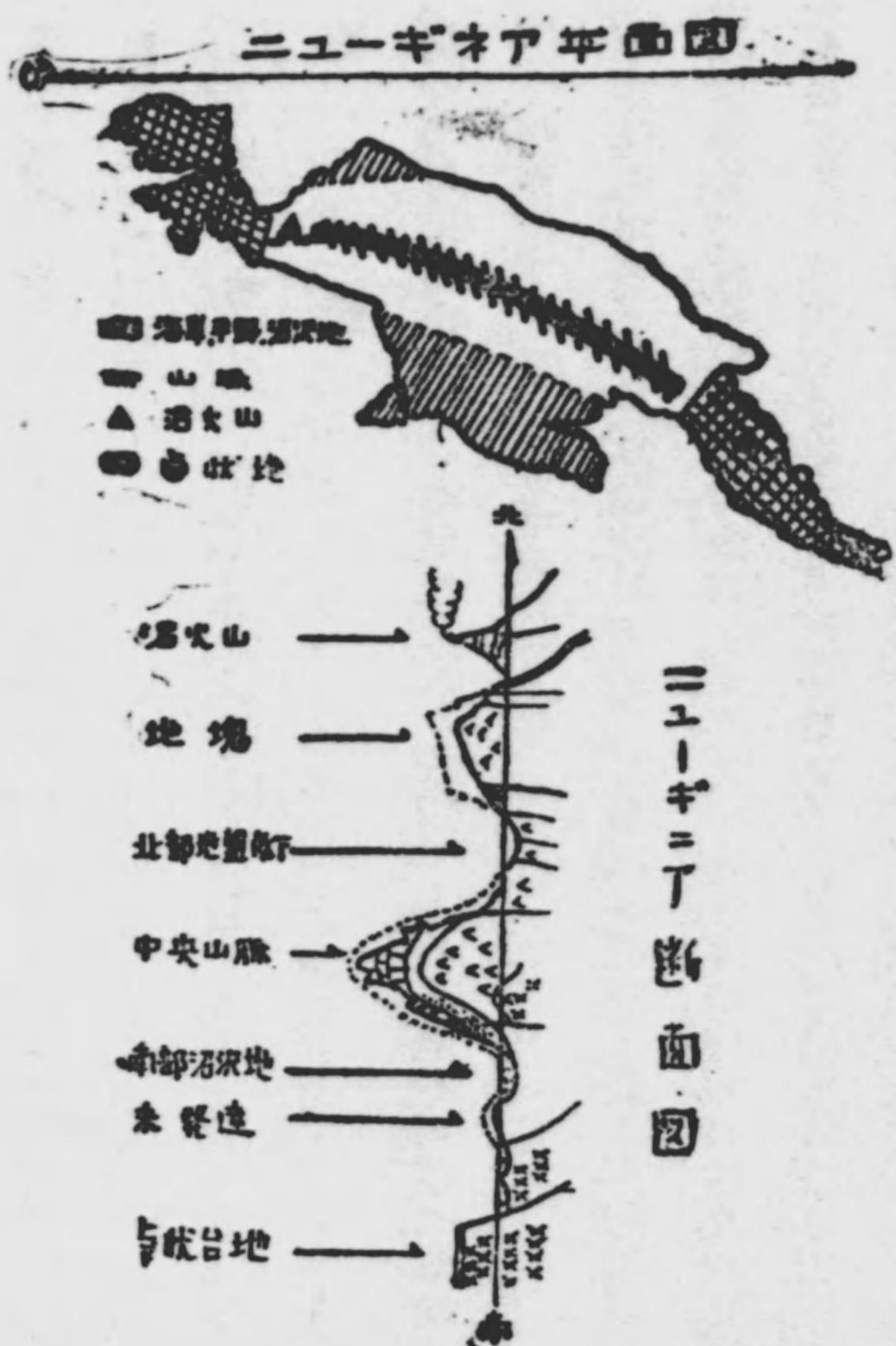
アフリカ中部の大沙漠地の横断は殆んど駱駝の隊商による交通路である。現時は自動車・汽車の計畫も進捗して居るが、尙大部は駱駝隊商である。これは北部歐洲人が南西アフリカ産の象牙・駝鳥の羽毛等を求むるによつて、アフリカ北方の産物と南方の産物との交易が目的である。彼等は隊を整へて數千の駱駝を率いて數百人が隊をくみ、オアシスを求め唯一の慰安休息所としてゐる。オアシスには果樹・綠蔭・家・水等が整つてゐる。今主要通路を擧ぐ。

- 一 カイロより西に向ひバハリゼ・シワー・ジャロ・アブナイム・エルジヨフラ等のオアシスを経て西方トリポリに至るもの。
- 二 アトラス山系の山麓を西に走りモロッコ境に達するもの。
- 三 テイベステイ高原の北麓とアトラス山系との間を走り、ワラグラ及びトウアトオアシスを通るもの。
- 四 トアトオアシスからトムブクトに至るもの。
- 五 テイベステイ高原の側面に沿ふて走るもの。
- 六 ナイル河に沿ひオアシスを繞うてサワラを横切るもの。

5 本 試 験

一 ニューギニアの地形を平面圖斷面圖によつて説明せよ

ニューギニアは年平均二十七度の氣温を有し、雨量二千軒を超える熱帯である。



この島には濠洲の大陸に面した南部海岸山地の低い隆起帯と、南部濕地帯の沈降區域が存在する。次に中央山地の大褶曲が現れて、非對照的な斷面を示し、南に傾倒すると同時に南方に移動して居ると推測される。更に中央山地の北部に於ける沈降區域を距てて、斷層構造を有する北部山地が横たはつて居る。このやうにして地盤の昇降は近接地域に於て交互に行はれ、中央山地の地背斜は南側に於て隆起し、北部の山麓では沈降を續けて居る形跡を示すのである。

南側は沈降區域に相當する低地帯を挟み、中央山地から二五〇軒の距離に南部山地の隆起區域があつて、濠洲に近い部分に胚種的山脈が存在することを示す。中央山地は、山麓の砂岩丘陵の上に急な石灰岩峰を現し、其の形状は大きい隆起珊瑚島に似て居る。山地の長さは二千軒、幅は平均一五〇軒、最大高度は五千米である。北部山地は斷層山

脈であつて、其の中に陥没と隆起とが行はれる。ヴァンリーズ山地は二千米の高度を有する地壘山脈の性質を表し、キクロベン山地は長さ四十軒、幅十五軒の短い地塊であつて、最高點の高度は二千百餘米である。トリセエリー山地も他の山脈と同じく隆起珊瑚礁の存在によつて近代の隆起を示してゐる。

熱帯多雨の地に於ける山岳の地形は、細き巒、急な傾斜、従つて鋭い峰、其の間に深い谷を作ると云ふ特性を具へてゐる。

一一 越後平野富山平野の地域性を比較せよ

概 説

越後平野・富山平野の地域性を人々相關、人地相關的に述べ兩地域を對比する。

(1) 信濃川下流地域(砂堆列聚落帯)

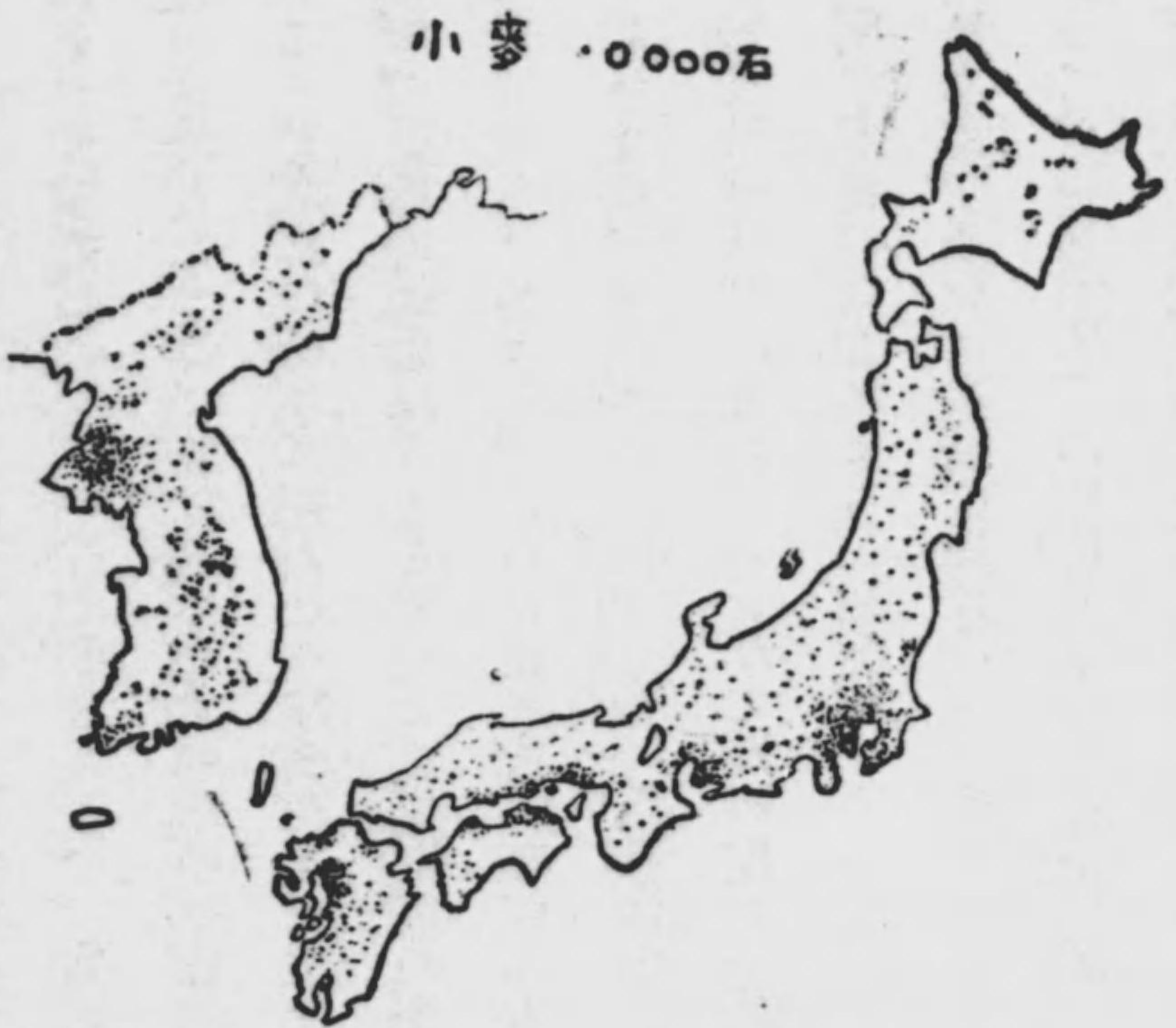
聚落連鎖地域及び畑地連鎖地域は、信濃川本流の三條より新潟間、阿賀ノ川の五泉河口間等に異數的に發見する。本地域特有の越後梨の梨畑分布を見れば、之れ等は河口の自然堤防洲と一致する。聚落は自然堤防洲聚落と、人工堤防洲聚落の二種類が存在する。聚落景觀より舊河道廢川地域を認む。越後海岸平野は一大砂丘と四對列の平行砂堆列が水田低地の間に配列し、顯著の景觀を示してゐる。北條・清水の兩地域には見られない特異性である。北條附近は高燥地帯聚落形態の模範式的縮狀配列である。清水の場合は平行砂堆列なるも、聚落の外に茶畑及び桑畑が水田の間に帯狀に配列する點が越後平野と異なる現象である。

(2) 低平海岸地域の米作

低温で裏作不可能な米田地域にして、毎戸農船を以つて、肥料・收穫物の運搬をすること、農船を通過せしめ得る高橋が到る處に架せられてゐること、平橋の際は農船通過の度毎に取り除くこと、溝渠網が發達し道路網の少ないこと、砂洲の小高い處を土盛りして住家を建設すること、刈稻を乾かすと夏の涼を求めるために畦畔に榛ボブラ・タモノ木の並木を見る等の現象は、關東十六島の景觀と同一である。鳥屋野潟畔の小張木に於ては、水質が不良で且つ排水のため水枯れ、潟の自然水を竹の桶で引き、簡易水道を敷設してゐる。排水機にて鳥屋野潟を排水して一部を水田化し、又櫛齒型の稻田の存在することや、農閑期に鳥屋野潟の底土を揚げ農船で深田に運び盛土すること、稻の外に蓮の栽培をなす等の點は總べて本地域の一般相を代表するもので、關東十六島の低地海岸平野に於ける特相と同様である。舊河道の畑地の外に球根花壇を設けたり、蔬菜の栽培の行はれる點は新潟市街其の他の都市に供給するため、是等の現象は東京を中心として附近の農村が野菜栽培をなす方が、農村經濟上有利であると云ふ點と一致するものである。かゝる例は名古屋・大阪等何れも都市郊外に於ける農業形態の特相である。又茶は堤防洲、或は砂丘等で栽培され、裏日本の北限である。太平洋方面では福島縣まで生産する。苹果は生産に引合ふものとしては、冷涼氣候の地域が自然的條件に恵まれてゐる點と一致してゐる地が多いが、中央高地や裏日本富山以北には生産さる。

(3) 氣候の制約による一毛作地域

日本海岸平野は我國に於ける麥作稀少地域で、冬季の降雪期長く作物が積雪に蔽はれて成育が殆んど中止されるを以つて、一ヶ年に二回收穫することは不可能である。近江盆地は地形的には單一地理區であるが、耕作景よりいふと湖南・湖東は表日本型の二毛作地域で、湖北が裏日本型の一毛作地域であるといふのは、氣候上の二様式を南北兩部



が異にして持つが故である。善光寺平に於て静間狹隘を界として、飯山の裏日本型の一毛作地域と、善光寺の表日本型二毛作地域とに分れてゐる。しかして善光寺は漸移地帯で、稲等も早稲を多くし早刈をして麥を植付ける。其の蒔方も拙速法をとる。

(4) 山麓の綿絹交織地帯と副業

越後平野の山麓には五泉・村松・龜田・加茂・三條・長岡・小千谷・十日町等の如く主要な製織都市聚落の發達を見る。一大連續製織地帯を形成して、絹織・綿交織・麻織等の工場の發達を見ることは關東山麓地帯の製絹地帯と同様式であるが、麻織及び其の交織を産する點は關東よりも種類多岐である。是等の工場は山麓丘陵地帯の養蠶業發達地域と一致するのである。麻織は附近に苧麻を産した

ことに端を發したが、後、山形・米澤・會津附近より移入し、今日では外國品をも輸入してゐる。しかして本地域が關東より趣きを異にする點は、冬季の積雪期に屋内勞働をもつことの必要性である。織つた布の雪酒し等は雪國の特色である。

飯山の内山紙の雪酒しも環境の利用である。また十日町の絹織が麻織より轉



じて來たことは生絲の産出が地理的要因ではないかと思ふ。製織都市附近の農村が盛に各戸賃織をなすことは關東・越後共に同一の現象で、農村副業の要求と合致するものではなからうか。其の他蠶細工等の副業も行はる。

(5) 出稼の現象

裏日本地方が出稼供給地で、表日本地方が出稼受入地である點は、裏日本冬季の積雪が戸外勞働を困難ならしめる



爲である。勞働過剩の處分法として快晴な表日本地方へ季節的移動を行ふのである。中でも新潟縣米山の西麓の明治村外九ヶ村の杜氏は其の一例である。白山西麓の白峯村の自由勞働も、亦其の一例である。明治村其の他の杜氏の受入地が東京・横濱・其の他關東中部地方の各府縣である點は、表日本が冬季の活動に氣候的制約を受けることが少ないことを示すのである。而して是等の各村が杜氏であることは隣接地刺戟の影響で、杜氏に限らずこの現

象は他にもこれを認む。和歌山海外出稼地域が潮岬から北東へと漸次隣接町村へ傳染病の蔓延すると同様に擴大して居ることと一致するものである。この地方の出稼供給地帯と受入地帯の接觸部は、略々北陸地方の南境山地の分水界で飯山・十日町其の他の各驛より十一月頃より出發し、翌春三、四月頃に歸郷するのである。

勞役の種類は各人一定する場合が普通で、出稼初年に從事し得た職業を繼續するものが多い。従つて出稼地が一定することになる。運送業・品配業・製本・大工・左官・米搗き其の他これ等は主として、行先が東京で青年の修養

の一とし、また東京見物を兼ねて一、二年にて止めるものもある。これ等の職業を見習ひ、歸郷後自己の天職とするものもある。また一方一時的出稼が永久的出稼と化した者もある。近年杜氏の如きは講習會を催すに至つて、著しく増加の現象を呈するに至り、集團占居の形態をとるに至る。中頸城郡の一ヶ年の總収入は約四十萬圓以上で、一般酒男として一ヶ年一人數百圓以上の収入を擧げる。下級労働者でも百數十圓を擧げてゐる由である。

(6) 富山平野

富山平野は諸川が複合扇狀をなす土地で、各扇傾をもつて居るのに、山麓線を境にして完全に水田化された皆田式米作地域である。而して人工灌溉による放射狀溝渠網の發達を見る。これは富山平野式皆田複合扇狀地を作る。灌溉不充分の地に於て富山西瓜が栽培される、鐵道便によつて東京・大阪方面の市場に出貨される。人口に比して米の産出額が他地より著しく大にして、面積の割合に輸移出量が大である。

また品質優良にして聲價高く、伏木港及び鐵道便によつて各驛より發送する。吳羽丘陵を境として吳東平野吳西平野に分ち、富山市外港の神通河口の東岩瀬港よりも大量に輸送する。伏木港よりは主として北海道に行き、鐵道輸送のものは東京・神奈川・愛知・大阪・石川・静岡・兵庫等で米の多産地でも、大都市を有する府縣へは相當輸送される。



(7) 城端の絹織其の他

山麓には絹織業の發達地城端都市を見る。富山のこの現象は越後、關東の場合と同様であるが、其の規模小なるは地人の相關的影響によるものである。一毛作地域・賃織・出稼現象等は總べて越後平野と同様である。富山平野は風向の關係によつて火災の禍を避けるため、孤立莊宅的聚落景を見るは、自然の支配による聚落様式の特相である。

(8) 賣藥業

富山の製藥業は本地方特有の副業的工業であつたが、今日では本業と化し、工場的に製藥するやうになつた。富山の賣藥は全國は勿論朝鮮・南洋・滿洲に其の商圏を有し、販賣圏が益々擴大しつゝある。しかし醫術の發達に伴ひ内地に於ては幾分其の販賣圏の減殺を見るやうになつたのは、社會的文化現象の影響である。

結論

- 一 越後低地海岸地方は繭狀耕作景・聚落連鎖地域なるも、富山平野は皆田式人工灌溉地域なるによつて、兩地域の耕作景・聚落景に相異性を見る。
- 二 低平海岸地域・米作栽培方法・聚落景觀・住宅地設定・井戸・道路等の相違性は富山平野と趣きを異にす。
- 三 氣候制約による麥作稀少、一毛作地域たる點は兩平野ともに同様である。
- 四 山麓地帯の綿絹交織工業が越後平野に今日尙盛に行はれてゐる點は、富山平野の如き皆田式米田地域でなく畑地卓越地たる點に其の端を發してゐることがその地理的要因ではないかと思ふ。
- 五 氣候の制約による出稼の現象・副業・賃織・雁木の設置・雪袴の労働服等は、兩地域とも同様である。

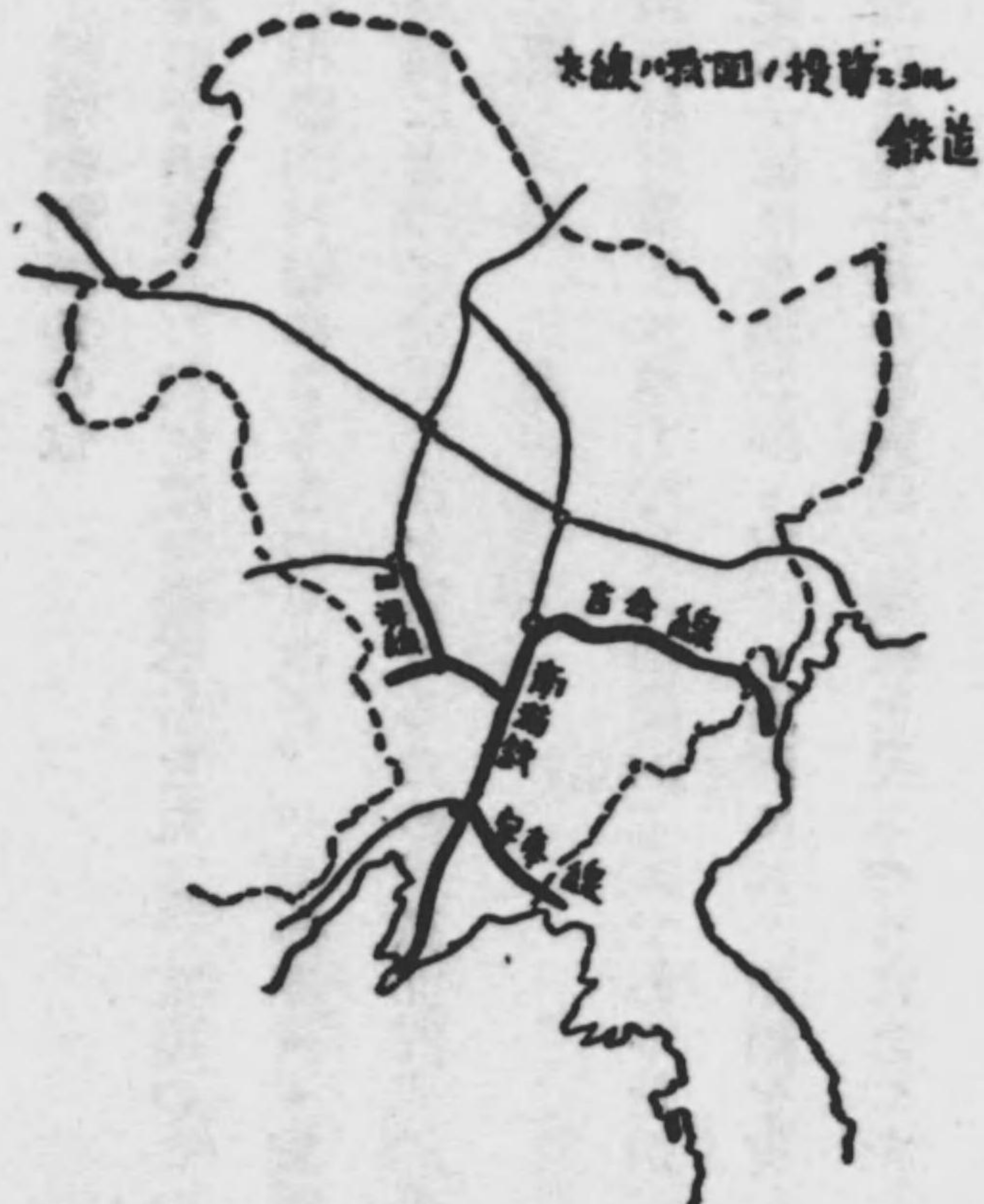
六 富山平野の製菓が醫術の發達せる今日、尙其の商圏に擴大性をもつことは地理的習慣性と社會的要因の結果であらう。

七 兩地域共に物貨の移入は且つては河川の通航によつてゐたが、今日では全く鐵道と自動車に變換され、貨物に對する商圏の擴大性をもつに至つた。越後平野は東京の商圏に屬し、富山平野は東京・大阪商圏の漸移地域である。

三 政治地理的見地より日滿の地理的調和について説述せよ

概説

滿洲國鐵道



今日滿洲國の建國を見るに至りたるは我國の政治的衝動の東進政策と、滿洲國民族の民族的自決と、日支露三ヶ國間に起る絶えざる紛争を根絶せんとする國家的意志の發現によるものである。しかして將來兩國間の地理的調和は、緩衝國としての國家的存在と、複族國的外交を政策として、滿洲國の富源を如何に開拓すべきか、問題である。今左にこれ等の日滿關係を地理的に詳述してみやう。

(1) 滿洲國成立の意義

滿洲國家の建設は日清・日露の戦役に其の端を發し、歴史的に種々の變遷を來し今日に及んだ。しかして直接的原因是は我國の急速なる進歩發展に伴ひ、露支兩國間の文化諸現象の

遲々として進展せざるがためである。我が帝國主義の顯現が滿洲の地に波及せしは、滿鐵の占有權並に附屬地帯の土地利用權獲得にある。我が東進政策、軍國主義の表現も、人類正當の生存慾に歸決すべきではないか。世界列強は我が帝國の急速なる勃興は、東洋永遠の平和を害すると稱するも然らず。滿洲帝國の存在は帝國々防上萬陸の重みを加ふべきものでもある。

(2) 緩衝國としての國家的存在

緩衝國とは二國又は其れ以上の強國によつて相互間の直接的衝突を避けんがため、其の中間に獨立の存在を認めたる國家を設け、緩衝の役目を果す國家をいふ。強國が他の強國と長い共同の境界を有することは、國家の安全性より望ましいことではない。故に一般に強國の間に小國を設けて、安全保障的の緩衝の役目を果すものである。この意味に於て滿洲國の出現は、日・支・露三ヶ國の直接的紛争の摩擦面の減殺にある。アジアに於けるかゝる緩衝國の例は少いが、民族分布の複雑したヨーロッパには非常に多い。ベルギー・ルクセンブルグ・瑞西はこの例で、獨逸・佛蘭西間に西部緩衝地帯を形成し、エストニア・ラトヴィヤ・リツアニア・ポトランドの緩衝國はドイツ・ロシアの東部緩衝地帯として、各々相互間の鬭争の危険性を減殺せしめる役目を果してゐる。これと同じく滿洲國も獨立國家それ自體のうちこの緩衝の使命を保障してゐるのである。

(3) 複族國的外交

滿洲國は國家構成に必要な内地人・朝鮮人・滿洲人・漢人・蒙古人・ロシア人等の各民族の所謂複族國的国家である。これは丁度獨逸人・佛蘭西人・伊太利人よりなる瑞西人と同様である。またチエツコ人・スロヴァーク人・獨

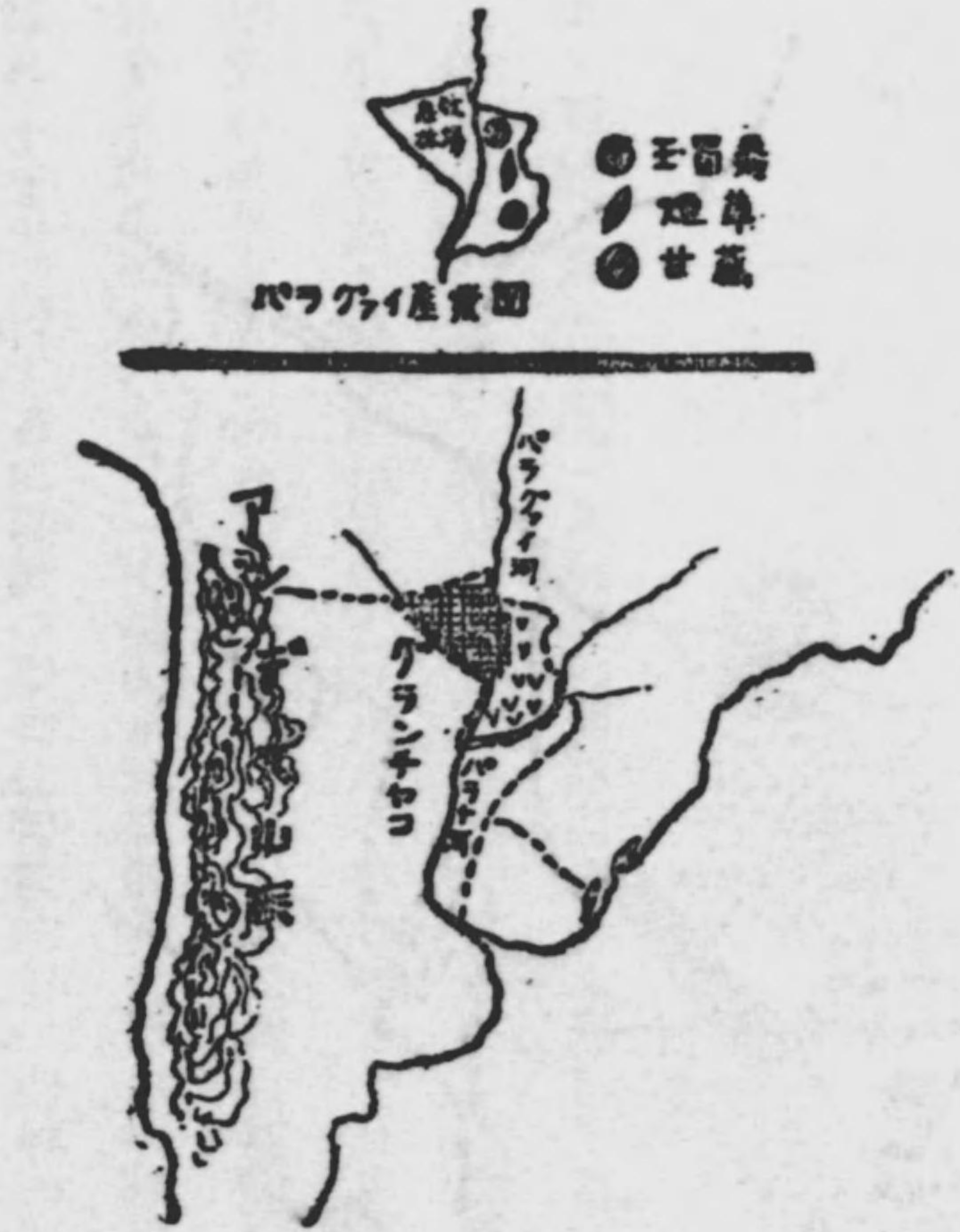
調和は、我が大和民族の努力を待たなければ不可能であると信ずる。こゝに於て人類の本能的な生存権の慾求として我が帝國の滿洲の地を生命線と稱するも當然の歸結である。領土併合慾とか、侵略主義とか、帝國主義でなく、眞實人類の本能性より來る慾求である。我が國民と滿洲の自然景と調和する處に兩國の圓滿なる進展を見るのである。

四 バラグアイの地誌を述べよ

概 説

人々相關的、地人相關的に同國の地誌を述べよ。

(1) 産業的特徴



巴拉グアイ河が國の中央を流れ、東部はブラジル高臺の連續地で、傾斜地山麓地に多少の珈琲・キナ・甘蔗の栽培を見る。西部のグランチャコは低平の原野で、牛の牧畜が盛である。大部分は放牧にして、牛乳・皮革の目的以外に肉類として國民の食卓に上る。牧畜は西部のアンデス山脈の障壁に北東貿易風の齶した降雨が草原密生に適するからで、密林帯を造る。グランチャコ森林帯よりは良質の木材、附近の傾斜地よりはマテ茶を生産する。西部の森林地帯を開拓し、粗放的農法により、煙草・オレンジ・甘蔗を栽培する。然れども文

化技術劣り、著しき生産物もなく唯林産・畜産と少量の農産物が、外國貿易に進出する程度のものである。乾期は東南季節風の起る際にして、高原丘陵地にて玉蜀黍等を栽培する。同國は南米に於てウルグアイに次ぐ小國で、人口密度甚だ小にして、食料品に基礎を置いた農業國で自給自足の可能な國家である。

(2) 内 陸 國

ボリビヤと共に南米に於ける純内陸國である。海洋への自由なる通路は巴拉グアイ川によるも、下流に於てアルゼ

アスンシオン

ンチン・ウルグアイの制海権によつて、交通上の舞臺たる海洋へ登場する事を得ない。またビルコマイ河床

は同國の海洋門戸獲得、降雨期の草原獲得より云へば、重要な河床である。

この地をボリビヤ・アルゼンチン・巴拉グアイと係争し、同國の河川交通に多

大の影響を與ふ。また、チャコボレヤも同國とボリビヤの係争地である。一千九

三國係争地



百二十七年ボリグアイヤ・巴拉グアイ兩國の議定書により境界紛争は殆んど終つたが、經濟的發達の地(石油)たる以上、將來に於ても兩國の紛争は根絶すべきものではない。

(3) 緩衝國として

南米アルゼンチン・ブラジルの中間にこの弱小國を設けて、兩國間の緩衝地とする。

これ等の例はヨーロッパに於ける東部西部の連鎖せる緩衝地帯と同様である。同國の國家的存在は強國の政治的政策のうちに保蔵されてゐる。

(4) 文化現象

バラグアイ國は南米に於てウルグアイに次ぐ小國で、而も人口密度最も小さく、經濟價値の極めて薄いことが同國の文化に重大な影響を與へてゐる。一方内陸國にしてバラグアイ川の本流ラプラタ河によつて、外洋との通商を許されざる點も、亦見逃すことの出来ない非文化國としての因子である。唯首府アスンシオン(人口二萬餘)が河港として活躍し、外洋よりの文化移入都市として盛況を呈するに過ぎない。

これ等の自然的要因(位置・氣候等)と人文的要因(民族の劣性・人口密度の小・政治的統一の缺陷等)の調和的發達の不完全性は、南米一の小國ウルグアイに比較して如何に重大なる影響を及ぼすかを地理學的に考察することが出来るのである。

五 歐洲に於ける主要航空路を圖示して之を説明せよ

概 説

世界戦争は人類の技術上に空前の劃期的大發展を齎した。戰闘的航空機が、平和的需要に供せられ、郵便物或は旅客輸送用に使用せらるる現今の時代に於て、ヨーロッパの航空網を政治的經濟的立場より記述する。

(1) 航空機の使命

今日の航空機が實用的敏速性を有するに至るまでに、進歩的發達を遂げるには幾何の犠牲者を出したか知れない。戰闘的に使用されたる航空機も、戦後平和的需要に供せられ、郵便物並に旅客輸送用に供せられ、しかもそれが定期的に行はるやうな發達を來した敏速性に就いては、今日まで利用された交通機關中その例を見ざるところである。

(2) 航空機と氣象關係

航空機が氣壓・風向・雲霧・雷雨等の自然現象の制約を多大に蒙るとは衆知の事實である。我國の如く四面海を環らせる環境に於ては、氣象の制約性はより一層大にして、航空の發展に非常な障礙を與へるものである。歐洲の如き地に於てはその自然環境の影響は比較的僅少にして、これが驚異的進展を遂げる一因をなしてゐる。

(3) 陸上交通機關との比較

鐵道が一定の軌道に沿ひて運轉するに對し、航空機は無軌道を自由に飛行し得ると云ふ點にその特徴を有してゐる。且つ鐵道の如く建設經費も不必要である。然れども鐵道は大量的な人・生産物貨の運送に便し、自動車は軌道の必要性を有せず各々道路に沿ひ自由に運轉するを特徴とする。しかして海運は鐵道より更に偉大な運輸能力を特徴とするも、航空機は然らず、輕量なる輸送能力のみであるが、それは時間的に最高速度を維持してゐるのである。

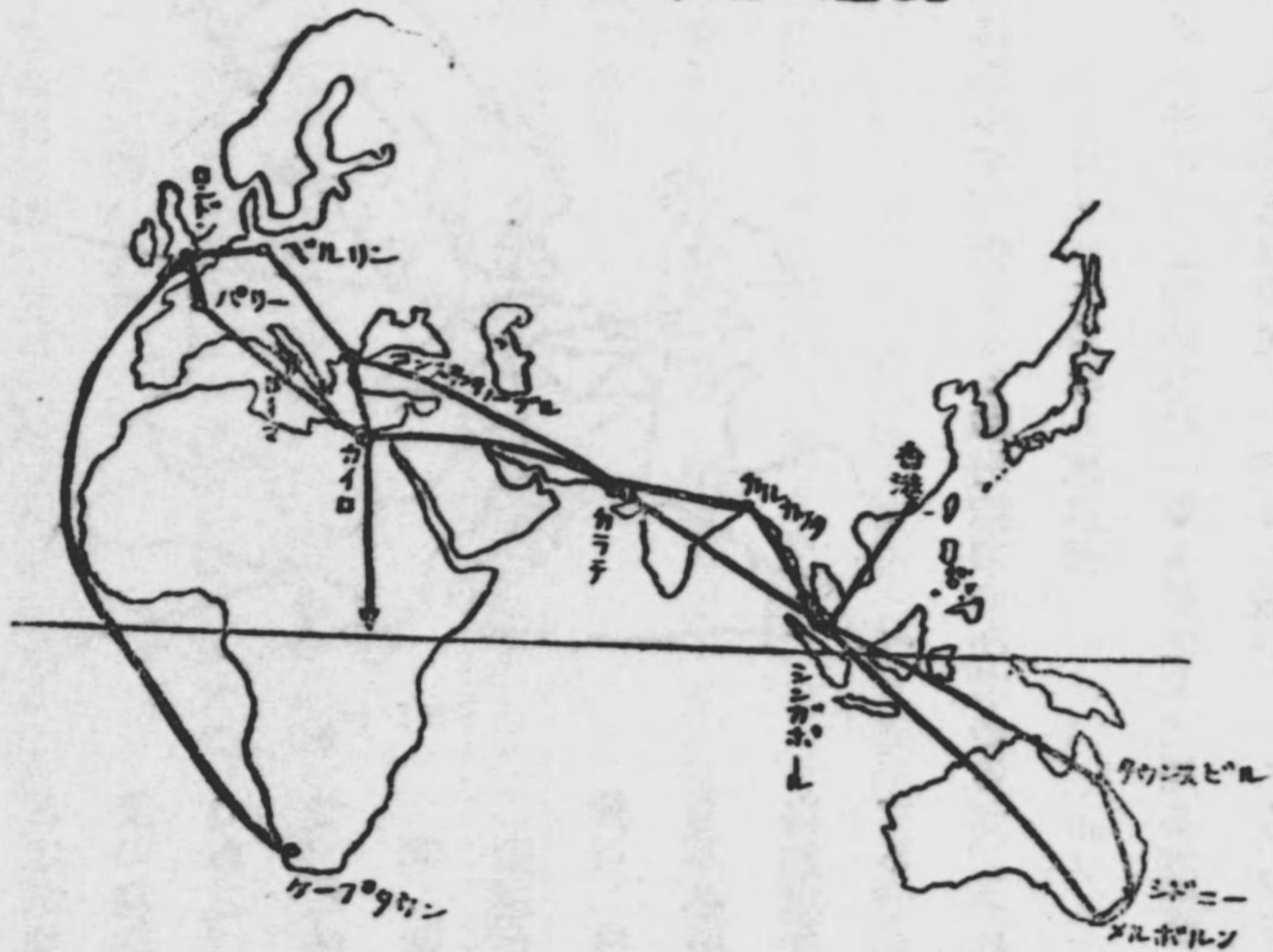
(4) ヨーロッパに於ける航空網

世界に於ける定期航空路の最も發達して居る地方はヨーロッパで、三大航空線が二十會社のもとに經營されてヨーロッパ大陸を航空網化し、幾多の線がアジア・アフリカ大陸・濠洲・北米と連絡してゐる。即ち西南ヨーロッパ・中央

歐の航空輸送線



英の航空交通路



ヨーロッパの三線は歐洲に於ける最も重要な航空網である。云ふまでもなく中央ヨーロッパ網はその鏈環を形成してゐる。英國に於ける主要會社は英國航空會社にして、これは左記四會社の合併よりなるもので、十一年に亘つて一千萬圓の補助を得て經營してゐる。その代償としては戦時の際英國政府へ提供する規定のもとに營業を繼續してゐる。

- ロンドン——巴里線
- ロンドン——ケルン線
- マンチエスター——アムステルダム——柏林線
- ロンドン——モスコ線
- ロンドン——埃及——バグダッド——カラチ——印度
- ロンドン——シドニー線
- ロンドン——ケープタウン線

(5) 軍事的政治的意義

人間及郵便物の迅速なる輸送は、政治上軍事上多大の意義を有する。今英國植民地に叛亂が勃發したと假定せんか、

其の時英國より最も熟練した有能の指揮官が航空機によつて短時間に今日は印度、明日はエジプトと云ふ風に派遣され、各地に轉戦して、叛亂鎮定に如何に貢献し敏速なる行動をなすかを想像するのである。こゝに英國が埃及の中央的位置の保護支配を熱望する理由が闡明されるのである。即ち英國が海外植民地を有機的に統一せんとせば、今日の偏在的位置(ロンドン)に其の政治的中心地をもつて居ては到抵不可能である。エジプトをバンの如く熱望する英國の政治的野望を想像して餘りあるのである。將來の軍事行動が航空に依存してゐる以上、各國は競つて軍事的敷設に腐心すると同時に、平時に於ける旅客用に郵便物輸送用に超スピード的交通機關を使用せんとするは當然である。

結論

ヨーロッパに於て航空機航空網の發達を遂げてゐるのは英・佛・獨・ソ・伊で、中でも英國は其の首位である。こゝに同國の政治的苦心の價値が表現されてゐるものと思ふ。

昭和九年(第六一回)

1 豫備試験

一 氷河の分類と更新世氷期に於ける各種類の分布について述べよ

(1) 氷河の分類

氷河地形は其れを作つた氷河の形状によつて著しい差異があるから、最初に氷河地形を觀察すべきだと思ふ。氷河の形状は大體に於て二つの因子に支配されてゐる。先づ氷河の體積を決定するものは、氣候的の條件であつて、降水量が多くて氣温の低い地域に於ては氷河の發達が著しいのである。次に重要なものは地形であつて、地表の形態によ

つて氷河の形状は著しく制約を受けてゐる。氷河が大きくなれば土地の形状と氷河形状面との關係は比較的に大きくないが、氷河は地表形態から甚だしい影響を受ける。ホップスが發表してゐる氷河の分類は實用上便利である。其の後ライトプリストレイは、更に合理的な詳細な分類をしてゐる。南極地方及びグリーンランド等の極地方に於ては雪線の位置が極めて低く、厚い氷雪が廣い陸地の表面を蔽ひ、内陸氷を形成して居る。内陸氷の氷塊は其の中央部から外部に向つて放射状に運動し、海面に堆積或は堡氷を現して居る。海に達して破碎された氷塊は、冰山となり海上を浮遊する。此れと同様な大氷河は洪積世の氷期にヨーロッパ北部、北米大陸の北部に發達して侵蝕堆積の現存するを見る。また現今のアラスカ地方、セントエリアス、アルプス附近では、多量の降雪によつて著しく氷河が發達し、山稜を

山麓型氷河



挟んで連絡氷河系を形成してゐる。けれども山地の上部は氷雪に蔽はれてゐない氷河が谷底を流れて山麓に達し、平野の表面に擴がつて、特有の形状を呈することもある。また海岸に發達して氷崖に絡る場合もある。ミユイールマラスピナ等の氷河は其の標式的な實例である。

(2) 種類及び分布

A 山麓型氷河 アラスカのセントエリアスでは高所に發育した氷河の流れが山麓を離れて廣く平野上に擴張し、廣いエプロン状をなして、海岸に達する。アルプスを始め諸地方

の山地周圍にこの類似の型式を示す大氷河が發達してゐる。

B 樹枝型氷河 カラコルム山系中の諸氷河、天山々系中の大氷河には、大山脈の縦谷に沿ひて流れるものがある。支流は横谷に達し、長さ八十軒以上もある。



樹枝型

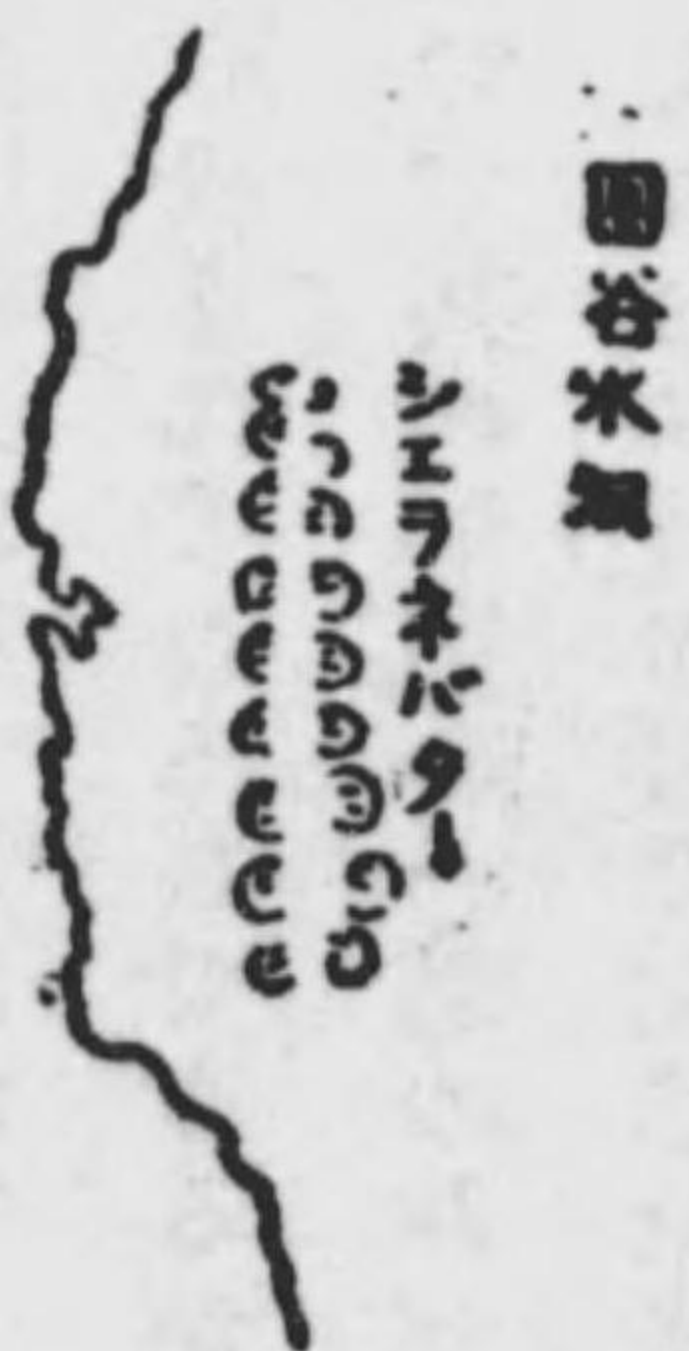
C アルプス型氷河 コーカサス・アルプス等の山地に存在する氷河は比較的の小規模なものであつて、一つの氷河は其の上流部に於て數個の支流を合せて、極めて簡単な氷河系を作つて居るに過ぎない。

D 馬蹄型氷河 以上の三種の氷河に共通な特徴を有するものは、谷底を流れる狭長な氷河の形状を具へてゐることである。

る。此の意味で此れ等の氷河を總稱して谷氷河と云ふが、これに對して降雪量が少ないピレネース、北米のシエラネバダ等では、短少な圍谷氷河を現して居る。これを馬蹄型氷河と呼んでゐる。懸垂氷河は一般に小さい氷河で、山腹の急斜面にかゝり不規則な形状を具へて、其の位置は雪線より遙に高い所にある。



馬蹄型



圍谷氷河



更新世氷期の氷蝕地方
現在氷期氷山の水河地帯



(3) 氷河地形の分布

現今の氷河作用は極地方及び温帯の高山地方に於て行はれてゐる。これ等の地方では氷河地形が今も形成されてゐるのであるが氷河の下に埋まつて居る部分が多いので、其の形態の一部のみが観察されるに止まる。更新の氷期に行はれた氷河作用で生じた氷蝕地形は、其の後の氷蝕によつて部分的に變形を受けてゐるが、最も明瞭にその全形を示すのはアルプスである。更新世界時代に於ける氷期の氷河作用は、世界的であることが知れるのであるが、北半球と南半球を比較してみると、甚だしい不同があつて、氷床の發達は南極を除いてはヨーロッパ北部地方と北米北部地方に限られてゐる。また同時代に温帯各地方の高山に氷蝕作用の行はれたことも認められるのである。我國にも中央日本の高山に氷河地形が認められるのである。

(1) 讃岐半島の地域性を説明せよ
二毛作卓越地域



(2) 先端的副業

讃岐平野・岡山平野が人文景觀・自然景觀に於て姉妹地方を

米作は農業の最も主要なるもので、全國到處に行はれてゐるが我國は温度と降水量が米作栽培に適應する地を好適地とする。中にも讃岐半島は花崗岩の風化による砂質土壤にして、乾田よく發達し、良質の米を生産する。同地方の米作栽培には人工灌溉を必要として、溜池群の發達せる點は瀬戸内海乾燥地帯に於ける一特相である。この點は大阪・和泉地方の溜池群と好個の對照である。麥作が稻の裏作として、同地方に卓越せるは氣候的制約性がなく、即ち成育季節と氣温の適應性が一致するものである。西南日本が我國の多麥地域(特に裸麥)を形成し、東北日本・裏日本が麥作稀少地域となる點は氣候上の制約性の大なるがためである。讃岐地方は小麥・裸麥の混作地域であるが、特に岡山讃岐兩平野は小麥に比して裸麥の多作地域であることは、副業麥稈眞田との關係による社會的要因の現れである。



なし、中央瀬戸内海と稱すべき一地理區をなしてゐる。瀬戸内海氣候區中の最寡雨地帯はこの兩平野の地方で、その特色が麥の多産地域及び麥稈眞田地域となつてゐるもので、この自然的條件が麥の栽培に好適であつて、殊に良質の麥稈を得るに好い。讃岐平野の西端三豊平野は、眞田の生産に於て全讃岐平野生産量の六割餘を占めてゐる。讃岐山脈の北麓臺地の地域は、北部低地産の軟弱なるに對して、強靱なる優れた麥稈を生産する。然し如何に良質なものを



生産するも、收穫期に於て降雨のために汚損される虞がある。收穫期と梅雨期の交錯期に於ては、梅雨直前に收穫せんとして麥の收穫を犠牲にして早刈を行ふ。かゝる禍を避けるため近年は品種改良をなし、早熟種を選び、又肥料も早く打ち切る方法を探る傾向がある。然るに山麓臺地は日照強く、排水よく、麥の生熟を見ること北部低地よりも十日位早きことは、此の地域の麥稈を得るは自然的の好適地であることを立證してゐる。また麥稈眞田の原料産地と、眞田の産地と一致するとは限らない。即ち同地方はこれに屬し、南部臺地々方が原料生産地域で、北部低地帯が精製品生産地帯を作ること、岡山平野の北部地方が精製品生産地域であるに對して、南部浅口郡・小田郡地方が原料品生産地帯である點と地域的に反對の現象を見る。これは岡山平野の北部が海岸より遠ざかり、氣候的制約性を幾分受けて麥の發育が幾分遅れるといふ點にあると思ふ。

瀬戸内海中央地帯は我國に於ける最も人口密度の大なる地方の一にして、穀物

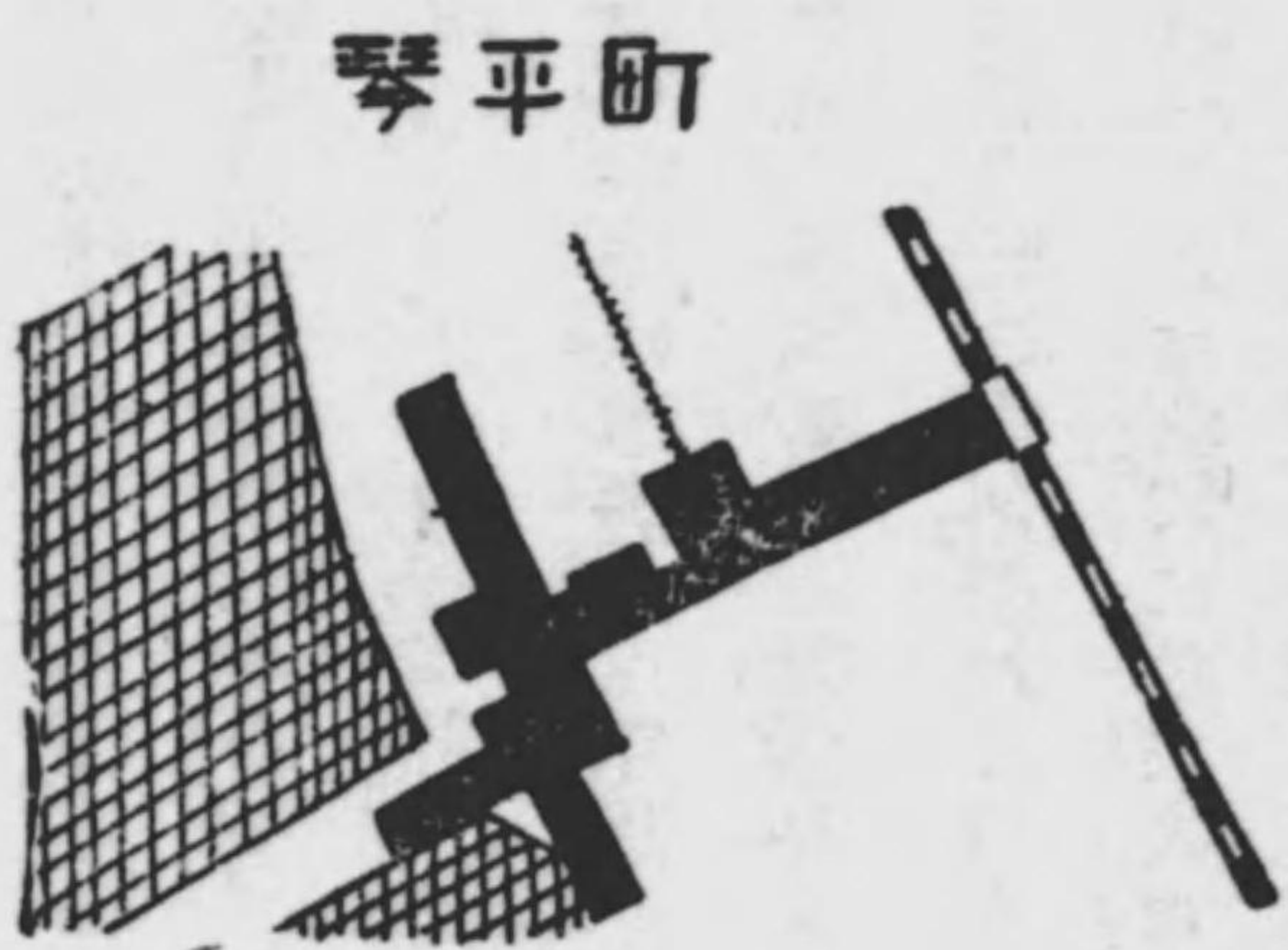
の栽培のみでは農家の經濟が到底支持出來ないと云ふ關係から、副業の重要性は他の地方よりも急務である。植木業・小鳥飼育・食用蛙等の副業は其の一例である。麥稈眞田・吠の生産の如きも、人口過剰地に起る有力なものである。吠の製造は瀬戸内海の鹽吠、別子銅山の銅鑛入として供給される。生産に於ては北部低地が密で、南部臺地が疎である關係は麥稈の場合と正反對である。

(3) 製鹽卓越地域

製鹽業が山陽で味野・松永・尾ノ道・三田尻、北四國で坂出・波止濱・高松が中心地で、我が内地の鹽の産額が瀬戸内海に限られてゐる點は、瀬戸内海が製鹽に好適な自然的條件に恵まれ、その上社會的經濟的要因の一致せるがためである。即ち日照が強く排水に好適であること、寡雨地帯であると云ふやうな自然的條件が、勞力問題とか、專賣制度とか、政府の集中策等の要因と結合した結果、連鎖的製鹽業卓越地が作られたのである。

(4) 門前町としての琴平

金比羅宮は神佛混淆で船乗業者は勿論一般のもの信仰も厚く、伊勢参り善光寺詣りと共に参拜者多し。象頭山々麓の急崖の兩側に土産物店旅館の参拜客を以つて生活の基礎としてゐる商法は、善光寺・成田不動等と同様式である。最近の電車・汽車・自動車の交通機關の發達は、町の盛況をおびやかす多少荒れ行く傾向を有す。この點は成田の不動に東京より電車開通後の町の衰頹しつゝあると同様である。



信仰圏は阪神・中國・九州方面に多くて、東北日本等に參拜者の少き點は地理的位置の結果にして、成田不動の信仰圏が關東・中部地方に多くて、中部以西に少きこと、同様で相對照すべき點である。

結 論

- A 讃岐半島は米麥の二毛作卓越地域で、米の栽培に人工灌溉を必要とする點は大和地方と同様である。麥は裸麥の多麥地域で副業麥稈と關係をもつ。
- B 三豊平野の南部臺地は自然的條件に恵まれ、麥稈原料生産地で、北部低地は眞田の生産地域である。
- C 讃岐平野は我國に於て人口密度の最も大なる地、先端的副業をもつ事は農家の經濟政策上最大の急務である。
- D 瀬戸内海は内地生産の鹽の全額を産出する製鹽卓越地域である。聚落は集村型である。門前町として琴平がある。

三 農作物の地方化世界化の現象を例を擧げて説明せよ

(1) 世 界 化

科學の進歩に伴ひ教育交通の諸機關完備し、或る地方の農作物が他の地方の農作物及び栽培法の輸入によつて、變化を來すことは有り勝ちな現象である。其の際舊來の農作物の生産に對して、輸入品たる新農作物の生産が氣候・風土に適し、成績顯著にしてこれがため農家の經濟が以前より潤澤と云ふ場合も珍しくない。これを該地域より見れば農作物の變化と云ふも、又一方作物よりいへば、新たな生産地域を得たと云ふことにもなる。換言すれば、其の生産地の擴大と云ふことになる。斯様に或る作物が今まで全々作られない地域に新に栽培されると云ふことは、栽培地域の

擴大にして、これは世界的に見る現象である。

即ちヨーロッパの中央部(ドイツ・ポーランド)に獨占的に栽培されてゐた甜菜が、それと同一な氣候的條件の許す地である滿洲或は我が北海道、北米北部に移植されたことは、交通の進歩と栽培技術の進歩と言ふ恩恵もあるが、一面農作物それ自體のもつ生態が自然的條件の許す範圍と一致するためである。この場合甜菜そのものより云へば栽培地域の擴大性である。これに伴ひ製法・販賣等の人為的政策の變化性にも依存するものである。これ即ち農作物の世界化の現象である。また甘蔗にしても同様で、自然的條件の支配により、栽培可能な地に於ては他の作物を作るよりも經濟収益上有利であると云ふ點より、西印度・ジャバ・比島・臺灣等と世界的に栽培せらるゝは、亦作物の世界化の現象である。又一方其の栽培方法も精製方法も各國人に會得せられたと云ふ結果に外ならない。かゝる事情より其の作物を中心として云へば、それが適する處は如何なる地方にも、如何なる國家にも其の生産が出來得る傾向をもつのである。これは作物の世界的に擴大する傾向で、農作物の世界化の現象である。

(3) 地 方 化

この傾向があると同時にまた、これと相反する傾向を認む。即ち廣い地方、多くの國に亘つて耕作された作物が、他の有利なる作物との競争との爲め漸次其の生産が減少されることがある。その場合作物の自然的性質のみから云へば生産地が減じたと云ふことになる。これは人為的政策によつて、他の作物を作るよりも經濟的に有利であると思はれるからである。これを生産地より云へば、或る作物に對して世界經濟上最も有利な生産地はその作物の生産地として永續性もち、そうでない場合は他の作物の生産地に變る傾向を有する。換言すれば農作物は最適の生産地域に永

續性を多く有し、然らざる處は排斥する傾向を有する。

例へば我國に於ける苹果の生産や茶の生産が、或る特定の地域に於て他の作物と競争し、それが産業政策上有利であるがため、青森縣の苹果園・静岡縣の茶園としての景觀を見出し得るのである。これには自然的條件も、その作用性を有するが、それよりより以上人爲的政策の重大なる點を見逃してはならぬ。

そこに苹果・茶の永續的栽培が行はれてゐるのである。故に地方化の現象は自然的栽培條件と人爲的政策の如何によつて、決定される傾向を持つてゐる。

(3) 人爲的政策

地方化・世界化の現象も人爲政策の關係で、十分に性能を發揮し得ない場合がある。人の政策には個人の場合も團體の場合も國家の場合もある。世界化について云へば、例へば個人の場合自分が或る農作物を作るのに、特別の栽培秘法を知つてゐるために特に収益が多く、其の秘法を公開しない時もあるし、又公開しても販賣秘法を公開しないために、生産上有利な立場をもち續けることもある。例へば甲州葡萄等にて栽培法の秘法を秘法として公開せざると、販賣秘法も他人に知らさないと云つた時代もあつた。又資本によつて他を壓迫する場合もある。作物は廣地域に發達する性質を有するも、個人的政策に制限される時もある。只國家の場合はその産業政策は大規模に現れるのである。例へばアメリカ合衆國テキサス州の米作栽培は我國の米作栽培に比して、氣候的條件・勞力・資金等に困難で、灌漑給水には多額の費用を要する。然るに我國の米と、同地の米が、アメリカ市場に於て競争し、而も米國産の米が有利な立場にある點は、アメリカの米作奨励の意味より米の輸出に對しての保護政策による。農作物に對する國家の保護



中央をカルパチヤ山系とトランシルバニアアルプス山系が縦走し、地質的にも地形的にも非常に雑多な形象を具へてゐる。しかしして南方ブルガリヤとはダニュープ河を以つて國境をなし、鐵門を

(1) 自然景域

四 ルーマニアの一般文化景域を説述し其の政治地理的諸問題に論及せよ

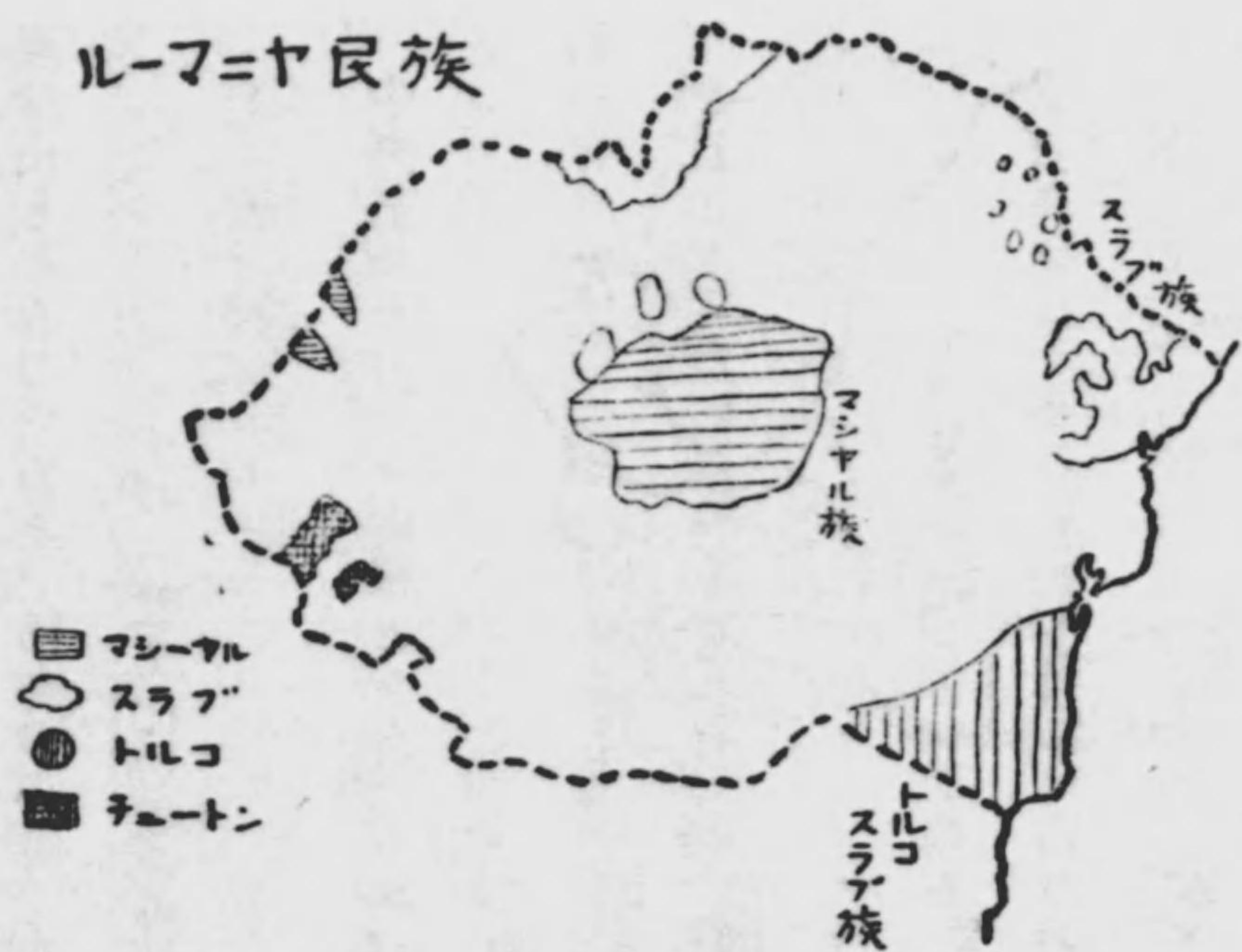
政策は、輸出の場合に限らない。他國の農作物輸入の場合も同様である。關稅或は法令にて輸入禁止になることもある。又國民生活上の危機に陥ると云ふやうな場合には、また自國産の輸出禁止もあるのである。印度の小麦、支那の米の場合は輸出に對して制限がある。

過ぎユーゴスラビヤ、洪牙利に溯る。下流のドブルチャ地方・ブルート河地方は同國唯一の沃野で、土地の低平と夏季に於ける氣温の高温と相俟つて、ヨーロッパに於ける農産・畜産物の寶庫とも云ふべき地域である。

2 人文景域

ルーマニアは經濟的に云へば、顯著な農業國で、人口の重心は南部平野にある。耕地面積は約四十%(全面積の)を占め、小麦・大麥・ライ麥・玉蜀黍等の栽培が盛にして、食料品供給國として活躍して居る。其の他山羊・牛・豚の飼育も重要視されてゐる。又林業も盛に行はる。地下の富源としては、カルパチヤ山脈山麓の石油・岩鹽で、歐洲に於ける唯一の石油產出國である。工業は未だ幼稚に

して製粉・製材・家内工業・手工工業が廣く行はれて、英・米・白等の如き重工業の發達は現今の國民の文化では望まれない。又住民は農閑期に北歐・中歐へ定期的出稼を行ふ。一般に歐洲南部地方の住民は、露國の農繁期に季節的出稼を行ふ。これは伊太利・洪牙利等にも見る現象である。



同國の鐵道の發達は南部低地に密にして、露國・ブルガリヤ・ハンガリーと相連絡し、歐洲唯一の食料品供給國として、鐵道の利用化は同國の經濟機構に重大な影響を與へてゐる。またダニュープ河の水運は鐵道開通後の今日といへども、培養線として大いに其の機能を發揮してゐる。しかしながら歐洲大戰後に於ては、國際的に管理せらるゝ國際河川となつたので、同國は勿論沿岸諸國も經濟的に多大の制約を受く。又黒海沿岸のコンスタンツアは南露オデッサと共に、穀物輸送に對して重要な港である。バルカン半島の國家構成に重大な役割を演じ屢々政治的紛争の素因を作るのは、人種上の異質性と、宗教上の異質性による民族的軋轢である。同國は同質的ラテン系のルーマニヤ人が其の大部分を占め、小數のロシア人・ノガイヤ人・マジヤル人・トルコ人等が雜居してゐる。

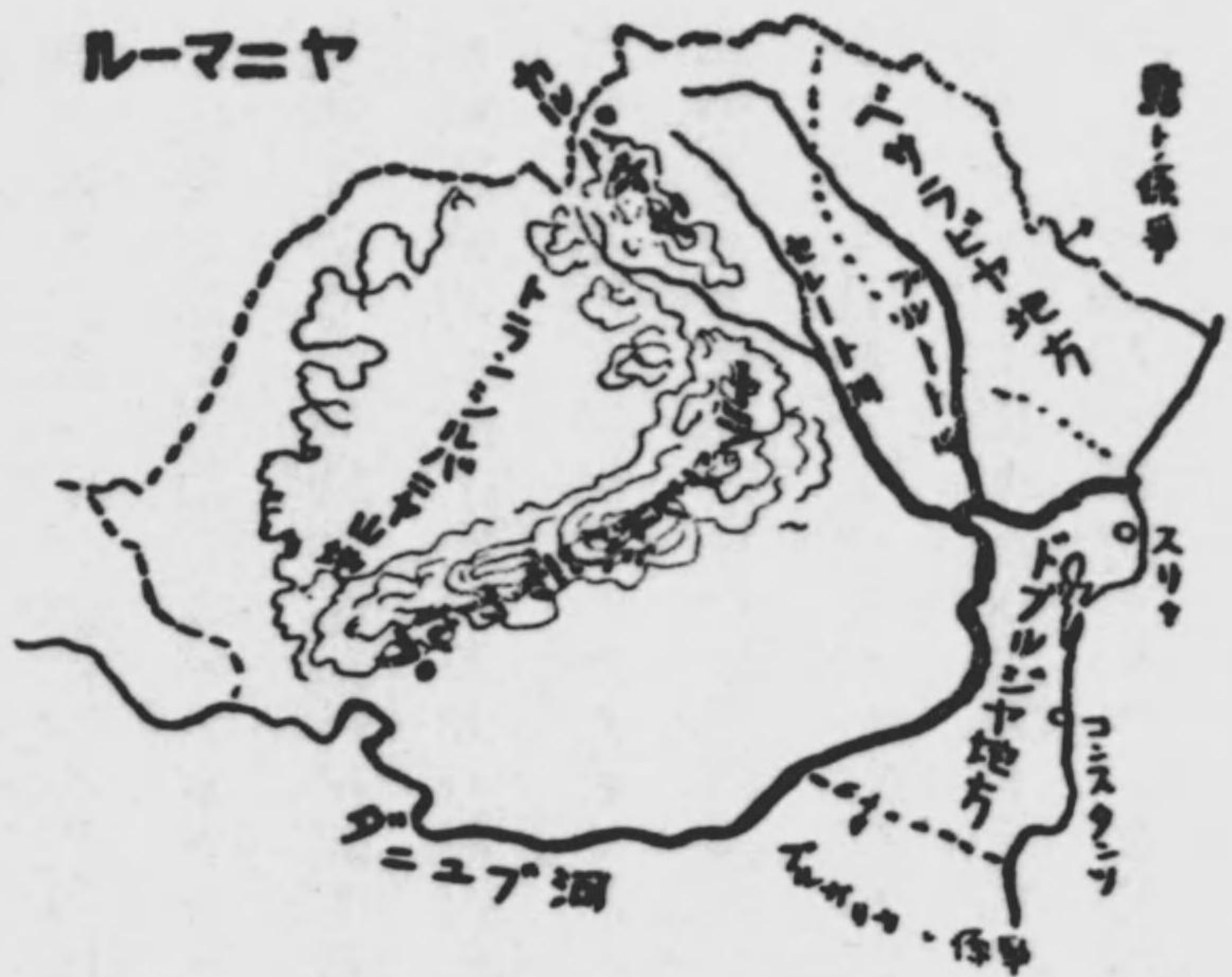
バルカン半島に同質的ラテン系民族が非スラブ系民族國家として、縞狀に存在してゐる點は、見逃すことの出來ないことである。

以上大略ルーマニヤの文化景域を説述したが、同國は完全に自給自足の可能な純農業國として存在してゐる。今日ヨーロッパの各國への食料品供給國として活躍して居るのは、人口稀少にして生産品過剰なるによる。同國の文化は前述の如く農業に其の基礎を置き、文化發展に可能なる諸條件を具有するも、今日ヨーロッパに於ける弱小國として僅かにその使命を保つに過ぎない點は、人的要素の缺除せるが爲めであらう。

(3) 内陸國家として

同國の地理的位置はその文化發達に重大な影響を與へてゐる。同國はチエツコスロヴァキヤ、ボリヰヤ等の如く純内陸ではないが、海洋への門戸は唯黒海に望むボスポロス海峡にあるのみで、これを封鎖せられれば内陸國と同一の運命となる。然るにボスホロス・ダーダネルスの二海峡は大戰後國際聯盟の管理となり、地中海の制海權は英國の握中にある。同國は唯海洋に面する國家といふ名のみ過ぎない状態にて、何等の機能も有さない。故に内陸國と同様に經濟的に政治的に多大の制約を受けてゐる。各強國が海洋門戸の獲得に、横斷的支撐點を領有せんとするは、結局は政治的に進出せんがためである。即ち通商貿易による經濟的發展を期せんとする經濟政策の一つの現れである。露國も嘗ては地中海の制海權獲得のために前述の二海峡の支配を目論みしも、完全に英國のために驅逐せられたのである。今日のルーマニヤが如何に二海峡の支配を熱望しても、これは到抵不可能なことである。今日のルーマニヤはヨーロッパに於ける東部緩衝地帯の連鎖地の南端に位し、ブルガリア、ユーゴスラヰヤ、波蘭、チエツコスロバキヤ國等と同一運命にあり、露獨間の反衝的機能の下に其の存在を全ふして居るのである。

(4) 係争地帯



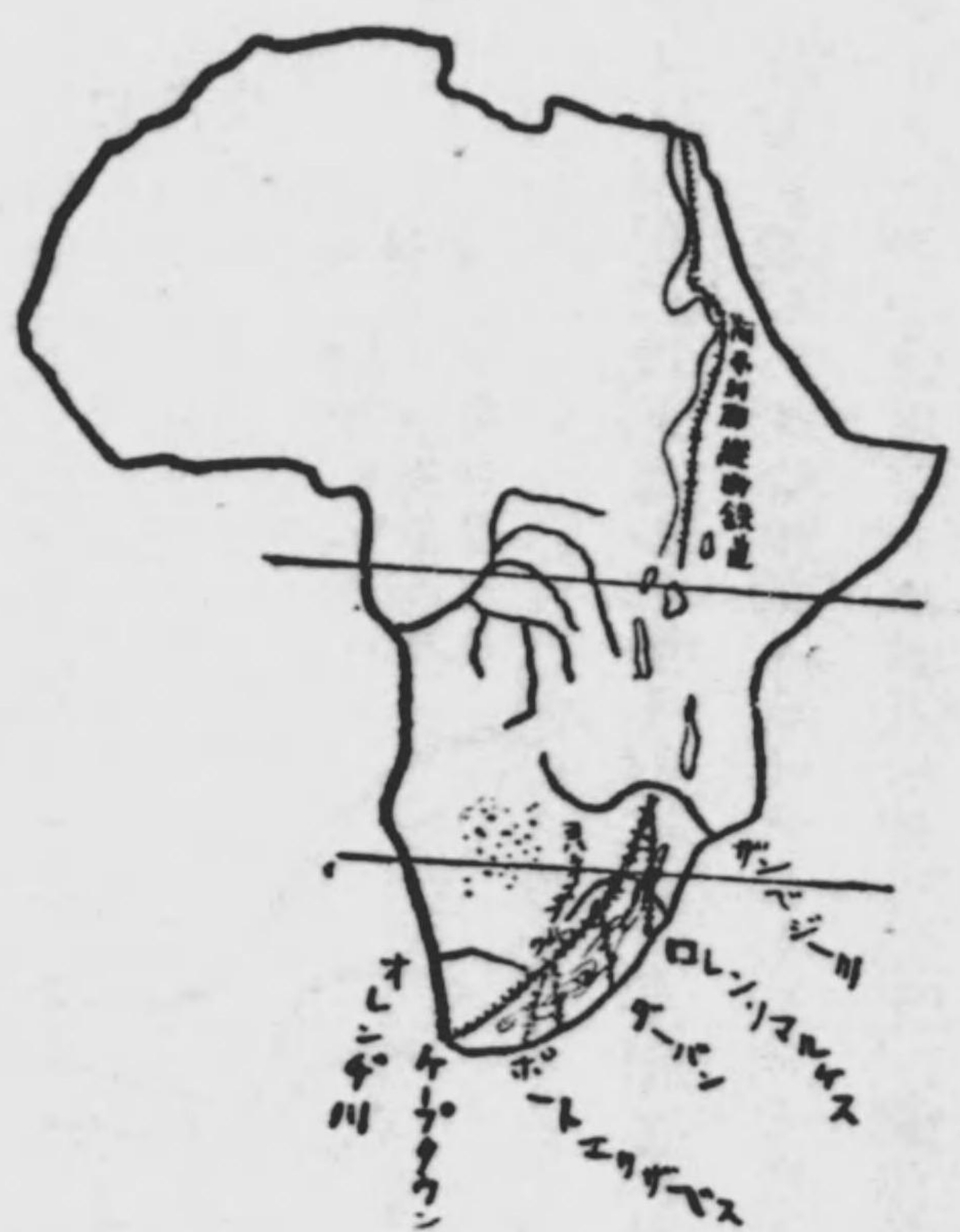
結論

以上ルーマニヤの文化景域の一般並に政治問題の一部を述べたが、完全なる食料品自給自足國家で、其他天然資源に恵まれてゐるが、地理的位置、民族的結合紐帶等の人的要素の缺除と相俟つて、眞の文化國・強國の建設に幾多の難點を顯はしてゐる。

五 南阿聯邦の地誌を述べよ

(1) 氣候と地勢の概観

南阿聯邦は大體ザンベジ河以南の高原で、千五百—二千米に及ぶ。高原の縁邊にドラクンスベルグ山脈が卓狀に走る。海岸に幅五六十軒内外の沿岸平野が、海岸より階段狀に高原に傾斜する。河は高原に發して四方に流る。主なるものはオレンジ河とヴァール河で、ドラクンスベルグの内側斜面の水に養はれて、下流に行くに随ひ全く支流を缺



き、沙漠を過ぎて西流する。高原面より平野に急傾せる部分は瀑線を作る。故に船運の便を缺き、内陸の文化に大なる影響を與へる點はアフリカ洲に於ける共通的景觀である。一般に南阿は温暖で降雨量も多いが、西海岸は寒流の影響を受けて冷涼氣候となり、植物景觀に相違性を呈してゐる。東海岸のダーバンの如きは、熱帯性、亞熱帯性の植物景觀である。南阿に於ける最健康地にして文化地帯はケープタウン附近で、降水量も大である。雨量は一般に海岸に多く、内地に行くに随つて漸次減少の傾向をもつ。西海岸の如きは寒流の影響によつて濕地少く、雨量も二百耗

内外となつてカラハリの沙漠地を出現してゐる。

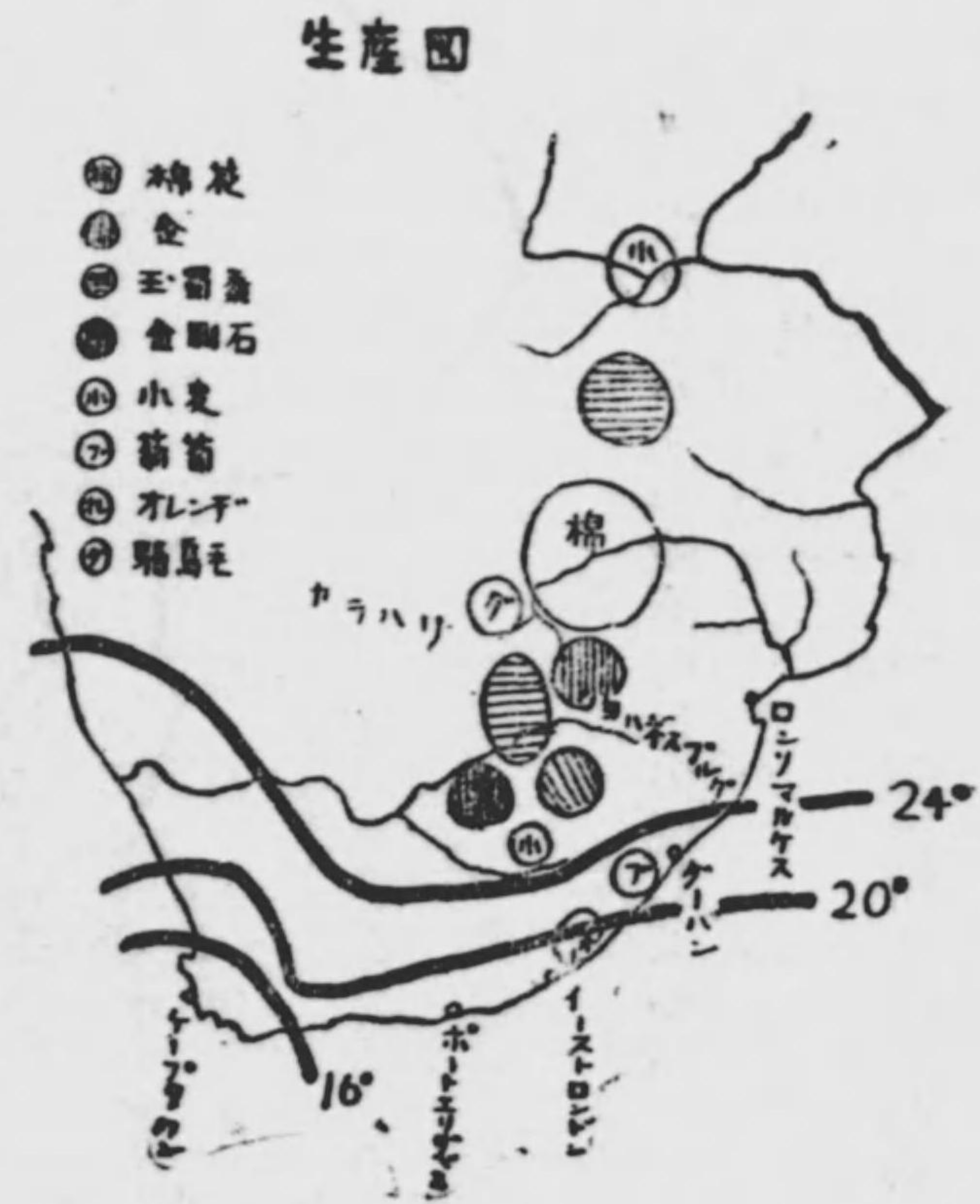
(2) 産業景觀

温帯性のドラクンスベルグの外側斜面には玉蜀黍・小麦・燕麥・甘蔗・棉・馬鈴薯等の多角的産業が行はる。この地は英系の白人が多く、土人を使用し開拓に努力せしを以つて、アフリカ洲に於ける主要生産地域と化したのであ

A ベツサラビア問題

ドニエステル河口・ドニウプ河支流附近・東ウクライナ・南黒海沿岸・西ルーマニア附近・ベツサラビア流域附近等の大部分は低平なる沃野で、小麦・玉蜀黍・畜産物の生産地域である。同地方は西暦一千五百年頃はトルコの勢力下にあつた。其の後露土戦争の結果、一千八百八十七年の伯林會議でロシアの領有となる。今日までルーマニアはベツサラビアがロシアの領有であることを残念としてゐたが、今回の歐洲戦争に應戦して、ルーマニアはベツサラビアを占領し其の後ロシアの革命鎮定の功を以つて、國際聯盟はこれをルーマニアに渡した。

B ドブルヂヤ問題——省略



ボーア附近では駝鳥の飼養も行はれ、羊毛・飼鳥毛として共に英本國其他歐洲諸國に輸送さる。

同地に於て古來より最も廣く人心を刺戟したものは、金と金剛石である。金は全世界生産額の半を占め、トランスバール・ヨハネスブルグは其の中心地で、鑛山都市として盛況を呈してゐた。金剛石も世界生産高の大部分を占め、南阿特異の景観を呈してゐたが、キンバリーの如く大戦後の贅澤品の需要が減じ、世界的不況に襲れた今日では、鑛山は一時休業の止むなき状態となり、鑛山都市の特色として、町の沈滞的現象を起し坑夫は失業難に悩みつゝある状態である。金剛石はキンバリーを中心としてオレンヂ川とバール川との合流点より上流に散在的に産出する。プレミヤ等も主要なる産地である。これ等の鑛山は發見當時は蘭系移民の支配下にあつたが、其の後英國の投資政策に成功

る。また一部の地方に葡萄オレンヂ等の地中海性の果樹の栽培も行はれてゐる。殊に小麦・綿・甘蔗の生産品はアルゼンチン、濠洲に次ぎ世界貿易に進出してゐる状態である。同國の農業開拓の過程は、同國の鑛物發見の動機に其の端を發し、白人の移入並に現代文化の流入は南阿をして一大生産地域と化さしめたのである。内部の草原サヴァンナ地方では羊・牛・山羊・駝鳥の飼育が盛である。殊に羊の飼育は自然的條件と一致して盛に飼養され、濠洲・アルゼンチンと共に世界に於ける羊毛供給國として活躍してゐる。またアウツ

し、完全に英國の領有となつた。

(3) 交通貿易

アフリカ縦貫鐵道はケープタウンを起點として、エジプトを結ばんとする英國の南阿政策の鍵である。ケープからカイロに至る九千五百軒の全長の内、五千六百軒は軌道敷設完成し、二千六百軒は水上連絡により、残りの一千三百軒が完成すれば全通するのである。全通の暁は英國の政治經濟的政策の實現を期し得ることは疑ふ餘地もない。其の他東岸にはポートエリザベス・イーストロンドン・ダーバン・ロレンソマリケス等の諸港がドラクенсаベルグを横斷した鐵道によつて鑛産地帯、牧羊地帯と連絡し、ケープと共に、その金・小麦・羊毛・皮革等の輸出に貢献してゐる。特にダーバンは石炭の輸出も亦盛である。取引は英本國が主で、南米航路の我が汽船もダーバン、ケープに寄港する。又近時英本國との間には航空路の敷設を見てゐる。

(4) 政治

南阿はケープ・ナタール・トランスバール・オレンヂ自由國の四州より成る聯邦自治植民地で、大英帝國の任命した南阿總督が國政を統轄し、其の下に議會政治が開かれてゐる。民族間に軋轢が多く、毎年の議會議場も一定するに困難で各州交替の現象であると云ふ。人種は白人對アフリカ黒人で、黒人は其の數白人の二倍に餘り、而も人口増加率極めて大で黒人自覺の暁には、如何にして優越權を支持するかと今より英政府は悩みつゝある。これ等の關係は英帝國の海外植民地支配に對する外憂問題の一である。現今に於ては有色人種の移入を對絶的に禁じてゐる。これは濠洲・加奈陀と同様である。

(5) 我國との關係

我が國人は有色人種であるを以つて、從來殆んど大陸を許されなかつたが、我が國情の彼の地に理解せられしを以つて、有色人種として特別待遇を受け、上陸旅行は許されるに至つた。彼我の關係密接の度を加へ、我が綿製品・絹織物等を輸出し、彼の羊毛を輸入する。

2 本 試 験

一 國家の海洋に對する位置及び海洋への進出衝動を論述せよ

(1) 概 説

海洋に對する國家の位置に二つの重要な態様がある。即ち海洋的位置と、大陸的位置である。其のうち兩極端をなすものは島嶼的位置と、内陸的位置である。而して兩者の中間態様としての周縁的位置がある。海洋の國家に對する位置の如何は、該國家の文化構成に、將又政治的事象に多大の制約を與へるものである。現代の國家生活に於ける政治的活動の、交通地理的顯現の最も著しいものは、海洋門戶獲得の衝動である。故に國家發展の第一歩は、海洋及び重要な海路の支配權獲得の努力である。これは總ゆる國力國權の重なる原動力である。海洋への門戶獲得は世界政策的活動の前提条件の一である。今この意味より惠まれたる國家の海洋に對する位置と、内陸國家の文化構成の悲哀と、強國への無氣力さについて述べることにする。

(5) 本 論

1 島嶼國 島嶼國は島の大小を問はず、凡そ周圍の大陸の海洋への出口を支配し、若しくは周圍の諸國が海洋に

對する適應力を缺く限りに於て、軍事上最も安全なる位置である。その最も適例は我國と英國である。我國は建國以來、最も完全な獨立を維持し來た典型的な島嶼國家である。凡そ島嶼國家は或る程度の海軍國たるを要する。一定の海洋又は部分海の支配權を獲得したる時は、軍事的防禦或は海上交通保護若しくは單純なる勢力擴張の孰れかの動機を問はず、必ず大陸に向つて政治的活動を開始する。今日我國及び英國はその適例である。

島嶼國の型態的要素の差異 我國は孤狀列島及び其の支脈は形狀よりして、海洋包圍的傾向を多分に有す。この包圍的形態は有機的に連絡を完全ならしむ。英國は大西洋の周縁にあつて、その散在する大西洋上の所有は海洋包圍的だといつてもいはれないことはないが、組成部分たる個々の領土それぞれは本國と殆んど有機的に連絡を有しない。

2 半島國 半島國は平時に於て經濟上二重の利益を得る。しかし軍事上海陸兩方面に軍備を必要とする點に於て不利である。伊太利・デンマークはその例である。

3 周縁國 周縁國は大陸的部類に多く傾いてゐるか、海洋的部類に多く傾いてゐるかによつて臨海性か内陸性かに決定すべきであるが、此の概念は眞の國家の自然的海洋適應性を表示するものではない。唯これは國家が如何なる程度に於て然るか、若しくは海洋境界の發達過程に關する諸問題に於ける精確なる數字的表現に過ぎない。ゾーバンは周縁國を海洋境界の優勢なる海洋的部類と陸地境界の優勢なる大陸的部類に分つてゐるが、これを以つて二大部類の何れかに編入することは大なる危険である。例へば歐露が臨海性に於て佛國と肩を並べてゐるが、若し佛國を海洋的國家とせば、露國も荒涼たる北極海をもつ以上、海洋的國家であらう。否、露國の海洋境界は陸地境界の二倍の長さを示すにも拘らず、露國は純大陸的國家である。蓋し北極の海は何等海洋適應性を與へず、その他の氷期長く、然

らずんば狹隘な海洋によつて僅かに大洋に通し得るのみにして、海洋支配の鍵は他國の掌中に保留されてゐる。故に或る國家が海洋的なりや否やは、その海洋が交通阻害性なりや、將又媒介的なりや、大洋なりや、内海なりやの實質的考慮がなくてはならぬ。故に周縁國諸威の如きは、その位置と性質より見て海洋的部類に屬し、瑞典は大陸的部類に屬す。

4 内陸國 單純なる一條の廻廊狀の地域によつて、海洋に臨み得るやうな國家を内陸國とせば、全然海洋への門戸を有しない國家を純内陸國と稱す。強大國は例外なく海洋への門戸を有するが、弱小國は屢々純内陸國である。この事實は國家の生存と海洋との重大な關係・意義を物語るものである。純内陸國の交通範圍は國境内に止まり、若し擴大せんとせば隣國の許可を受くるか、然らずんば實力に訴へて海洋への通路を得なければならぬ。若し此の通路、又は出口を獲得するを得ずんば一切の國民は交通上の舞臺たる海洋へ登場することを許され得ない。從て世界市場に於ける經濟的發展、世界政策的活動の可能性を失ふことになる。故にかゝる國家は多くは緩衝國として、その生存を完ふするのみである。かゝる好例は至るところに存する。アジアのアフガニスタン・ネパール・ブータン・南米ボリヴィヤ・パラグアイ、歐洲に於ける永久的内陸國としてのスイス等即ちこれである。同國の生存は第一に民族心理的特性、第二に接隣諸強國の緩衝國たる點に依存す。

5 海洋への進出衝動

前述の如く海洋門戸獲得が強國の生命である限りに於て、世界貿易・世界政策的活動の發展を期するためには、内陸國家の態様より逃れやうとして、今日まで幾多の國家が海洋への進出に盡瘁して來た。前述の露國は不利なる地理

地中海の海洋進出



的位置のため、其の政策はペーテル大帝の遺訓とせる不凍港にして溫暖なる海洋への追求であつた。故に世界政治上の摩擦面を至るところに於て作つた。東海に出でんとして十八世紀以來バルト問題を起し、地中海に出でんとして十九世紀中葉以來ダーネルス海峡問題を激發した。印度洋に出でんとし英國に制約され、更に轉じて東に向へば日本と正面衝突をなした。かくの如く幾多海洋への進出を試みたが、何れも失敗に歸した。これは不利なる位置にある國家の當然もつべき

運命である。かゝる好例はハンガリー・オーストリア・セルビア・ユーゴスラヴィヤ等で、何れも内陸國家のもつ悲哀である。今日の世界政治に於ける政治的係争は主として海洋進出が其の主因となる場合が多い。

(3) 結論

以上國家の海洋に對する位置より海洋進出への衝動を概説したが、今日の文化發展に、經濟的利益範圍獲得に、政治的活動範圍獲得に最も有利な國家は、海洋性部類、中にも海洋適應性の大なる位置にある國家である。内陸國家が積極的に海洋への進出を望むところに政治的摩擦面を激發する。さもなくば永久に弱小國としての運命に置かれ、強國の緩衝的機能のもとに其の生存を全ふするに過ぎない。世界列強が海洋の支配、支撐點支配を熱望するのこゝに

其の意義を認めるのである。

一 内陸水路としての揚子江の特色を述べよ

(1) 河川航行の條件

内陸水路が船舶航行に適應するとは限らぬ。船舶航行河川としては突然的變化を齎さない、水深と河川傾斜の緩ること、氣候的阻害性のなきこと、全水系の形成状態、強き屈曲と小さい平行支線等の完全性を有することが、その適應する條件とされるものである。しかしかゝる河川は世界各地に其の例は極く僅少である。揚子江、ライン、ガンジス等は略ぼこれに近きものではないかと思ふ。また二次的役目としては高度な經濟的發展地域たることである。即ち多量な商品製造或は大消費をなす人口稠密な居住地域は、稀疎人口と、低い經濟的發展をもつ地域よりは河川航行に對して生氣ある活動を與へてゐる。小さいが經濟的なライン川と大きいが非經濟的なアマゾン河とはよい好例である。また河川の川口の位置が重要な條件となる。若し河川が國際的なものであるか、又は世界交通に關與してゐる海洋にその出口を有して居るならば、その河川は貫流する各國の商品輸出入に對して、重大なる意義をもつてゐる。これに反して河川が大交通から封鎖された内海に終るか、或は氣候的理由から交通不可能な海洋へ流入するか、



る。これに反して河川が大交通から封鎖された内海に終るか、或は氣候的理由から交通不可能な海洋へ流入するか、

その何れかの場合には、航行水路としての重要性が減少するのである。この重要な適例はライン河とドナウ河に於てを認められるのである。

(2) 内陸航行と鐵道との關係

内陸航行路は河川・湖水及び運河である。古來よりこれ等は生産物及び旅客運送に利用されて來た。一方鐵道なる交通機關の利用によつて河川交通はその重要性を失ふやうになつたと信ぜられて居たが、實際は然らず兩種の交通が互に妨害し合はぬと同時に、寧ろ互に補足的に援助し合つてゐるものであるといふことが一般に是認せられて來た。即ち鐵道交通の本質的重要性は急速なることに存し、一方河川航行は低廉がその特色で、且つ大量生産物を自由に取扱ふを以つて鐵道と其の使命を異にしてゐる。故に運輸上の時間を出来る限り短縮せんとする旅客・郵便物・貴重品の輸送はこれを鐵道に托し、運賃の輕減を第一要件とする大形貨物は之れを船運即ち水路を利用するのである。

揚子江の内陸水路

揚子江は前述の河川航行條件をやゝ具備せる優秀河川である。唯水位が夏冬の二期に著しく變化するのが缺點である。即ち夏季の増水期は洞庭湖・鄱陽湖の二湖を流水の調節機關として洪水の害を避けて居る。夏季は河口より六百哩の上流たる漢口の埠頭まで一萬噸乃至一萬五千噸の大洋航行汽船が廻ることが出來、更に四百哩の上流たる宜昌に一千噸級の船の廻行を見る。こゝに於て支那の大動脈としての機能を充分發揮し、沿岸地域の農産・鑛産・畜産物の輸送に貢献して居る。又支那に於ける文化の進展にも絶大なる役割を演じてゐるのである。

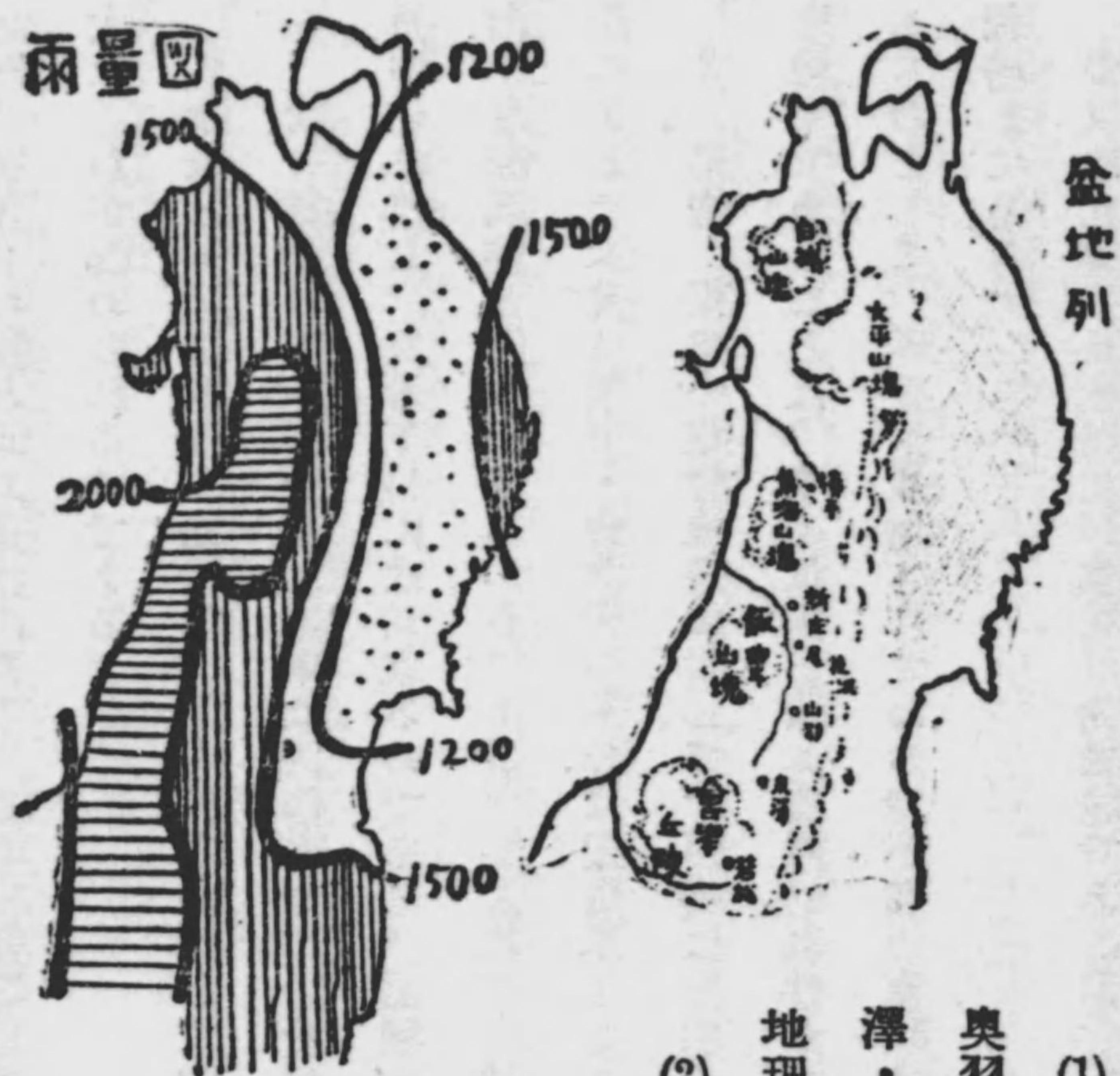
(4) 上海の後背地としての揚子江の價值

河口の上海が支那貿易の過半を占め、近代的港市としての活躍を示してゐるのは地理的位置の優秀性に負ふ處が大であるからである。この港の後背地の人口一億七、八千萬の生活必需品の輸入も、生産品輸出も、皆揚子江の機能發揮と相俟つて進歩するのである。漢口よりの輸出額の八〇％は上海へ輸送し、其中六〇％は更に海外へ再輸出してゐる。今日の上海が近代式都市景観を作つてゐるのも、全く揚子江の經濟的價値の大なるがためである。而も揚子江の副中心地としての九江・漢口・重慶等の文化活動も上海の文化圏勢力圏に屬してゐるのである。

(5) 漢口

漢口は揚子江中流の文化都市にして、六百哩の内陸にあるも、内海・地中海同様の景観を呈してゐる。冬の減水期に於ても四千噸の船が自由に停泊し得るし、甚だしき水位の季節的變化の對策としては、繫船設備として躉船の使用をなしてゐる。今同河川に活躍してゐる就航船を國別に挙げると、英の四十四％、日本の三十％、支那の二十％、米國の四％の順である。漢口を起點として京漢・漢漢の兩鐵道が南北に通じて揚子江と交叉し、培養的機能益々高められてゐる。

結論 揚子江が川幅・水深・航行障礙物・氣候的制約・大洋への河口等總べての點に有利な條件を具備し、今日の支那文化に大いに貢獻してゐることは前述の通りである。大國支那の目ぬきと稱せらるゝ中支那一帯の文化發達は、全く同河川の自然的恩恵の大なる賜と信ずる。殊に上海が近代的港市として、異數的都市を出現せるも、亦中流地域の經濟的開發も、皆この河川を除いては説明し難き點が多いと思ふ。かくの如く恵まれたる河川をもつ今日の支那が、文化に遅延せる點は他に有力なる要因の幾多存することと思ふ。此の事は一方揚子江の利用度の國別數にても



三 横手盆地より會津盆地に至るまでの南北に列ぶ諸盆地の共通性及び特異性について述べよ

盆地列

(1) 概説

明かなことである。然し内陸航行の河川として此の揚子江は益々その將來が囑望されてゐる。ライン・エルベ河等に比し、或はセントローレンス河の如く冬季の氷結もなく、暖海を自由に航行する河口を有することもこの揚子江の最大特色であるが、政治的には同國の河川としての使命は薄く、准國際河川と見てもよいものであらう。

奥羽山脈と出羽・越後山地間の縦谷に大館・横手・新庄・山形・米澤・會津の諸盆地がある。今横手盆地以南、會津盆地に至るまでの地理的個性について述べよ。

(2) 本論

1 米作 東奥羽地方の米・大豆・馬鈴薯・粟・黍等の多角的生産地域に對し、西奥羽地方は一般に一元的の米作卓越地域である。これは東奥羽が古生層の準平原地貌を呈する丘陵地・水田・草原等の錯雜地域に對して、西奥羽が盆地に沿ふ川の灌漑が至便であると云ふ關係もあるであらうが、一には氣候上の制約も亦大である。即ち裏奥羽諸盆地は我國に於ける最深雪積地域であつて、麥作が冬季の雪積期間の長さ

ため、成育不可能と云ふ關係にある。この相違點は我國に於ける全表裏日本の共通的現象で、氣候上の制約の如何に大なるかが認められるのである。

各盆地とも米作本位の地域で、西南日本に比して約一ヶ月の早刈早植を行ふ點は、北海道よりの寒流の影響である。秋の氣温の下降が急激なる年は凶作の禍におそはることがある(昭和九年の如きはこの例である)。故に早稻を四月中旬に植ゑ、九月下旬には刈取るのである。品種は龜ノ尾・小田代等が我が國産の偏北種を選ぶ點は北鮮地方・滿洲の冷涼氣候と同様であるからである。各盆地とも溝渠による諸川の灌漑水を利用するも、會津盆地は猪苗代湖の灌漑による。米質は秋田・會津産のものは硬質米として聲價高きも、新庄・山形盆地産のものは軟質米である。

2 果樹 東奥の雜穀地帯に對して、西奥は果樹卓越地域である。苹果は弘前附近に獨占的に栽培され、我國の多産地域であることは、冷涼氣候と云ふ自然的條件が苹果の生産に有利な條件を與へてゐるからである。生産に引き合ふものとして、苹果が栽培されてゐる我が國の南限は長野中央高地である。横手盆地以南の各盆地に於ても點散的に栽培してゐる。

櫻桃は北緯三五度以北が栽培可能地域であるが、山形盆地附近の丘陵地産のものは我國に於ける最優秀生産品である。其他栗・柿の生産も多い。

3 桑・養蠶業は南奥に限られ、中でも會津盆地・山形盆地附近が桑栽培の北限である。朝鮮が北鮮まで養蠶飼育可能である點は、大陸性氣候の影響であらう。山形の終雪晩霜の平均時期は五月七日に及び、雪の多い米澤では桑の高刈仕立を行ひ、採桑に梯子を用ふる有様である。山形では雪が少く根刈をなすと云ふ。故にこの南奥のみが養蠶飼育

育可能地域で、福島・山形・米澤等は養蠶業が盛に行はれ、生絲・絹織物業地域と一致するのである。

4 裏奥羽の工業 米澤織は藩政時代よりの歴史的要因による發達過程を経て今日に至る。山形地方の綿織物・山形節織、會津盆地の綿織物、福島・川俣・郡山の絹織・綿紡績業等、南奥一帯に機業工場の發達が局限されてゐる點は、前述の桑栽培地帯と歴史的要因による地理的習慣性の結果であらう。其他秋田の黄八丈や横手町のゼンマイ織等は飛地的工業である。これ等は何れも其の發達過程が家内工業より大工場組織へと進化し完全なる近代工業の形態を具備した阪神・京濱工業地区に比して、小都市的・靜的過程のものが多い。

5 出稼の現象と副業 西奥の冬には平均百日間の冬籠りがある。特に現代は稻扱ぎの簡便法と糞による堆肥運搬等の恩恵に浴するを以つて、益々勞力に餘裕を生じ、我國裏日本の共通性として表日本各地へ一時的出稼を行ふ(特にこの地方のものは北海道へ多く出稼する)。又勞力處分法として生じた副業の漆器業も、其の原料の得易きため各地で盛に行はる。能代の春慶塗・會津塗・花塗(山形)等がある。其他各種の木工品・藁・帆布・包装品等の手工的副業は、農民の經濟維持と相俟つて益々發達を遂げてゐる。

(3) 各盆地の共通性

一 横手盆地より會津盆地に至る南北盆地列は氣候的制約性によつて、東奥地方の如く二毛作の許されない、夏作本位の米作の一元的地域である。殊に奥羽地方は人口密度に比して生産高が多きため、北海道・關東方面へ船運・鐵道便にて輸送する。

二 養蠶飼育可能地域は置賜地方が我國の北限にあたり、それより以北に機業の發達地を見ない點は、此の地方の

養蠶飼育動搖地域であること、養蠶業地と機業地の一致點をこの地に見出して居るのである。

三 長い冬籠りの勞力過剩は其の處分法として表日本各地へ一時的出稼の現象をなす。この點は、我國に於ける裏日本型の共通性である。

四 各盆地を通じ木工品・菓細工品等の家内式副業または漆器の生産の著しき點は、氣候的要因との關係であらう。

五 同盆地列は我國の最深雪地方で、其の特色として汽車の除雪装置・雁木等の設備備り同地の特異性を表はすもので、裏日本型の特色を物語つてゐる。

六 西奥羽地方は東奥羽地方に比し、暖流接觸の恩恵によつて溫和な暖洋性氣温を示すが、盆地列に於ては慚大陸性氣候を示し、冬季三ヶ月は零點下の酷寒となるも、氣温上昇に従ひ急に新春が訪れ、梅・櫻・桃の一時に慌しく開花する風土である。

(4) 特異性

一 盆地列の南方(會津・米澤)にのみ機業都市の展開せるは、自然的要因も見逃すべからざる點であるが、歴史的社會的要因の關聯も亦大なりと信ずる。こゝに工業都市の展開が南奥に於ける異數的の現象として存在する。

二 櫻桃は山形盆地に局限されてゐるが、今日の農村經營は多角的生産物を要求するを以つて、隣接地刺戟によつて漸次各地へ蔓延する傾向がある。尙芋麻等は越後山麓地方の麻織として供給されてゐたが、外國品に壓せられて栽培不振となる状態である。

四 智利の地誌を述べよ

(1) 境域

智利は南北緯度三八度に亘る(四二〇〇軒の長さを有する)狭長な形態を有し、我國の全長と略等しい。東部にはアンドスの連嶺が五千米以上の高度を示し、自然の大障壁となつてゐる。西境は太平洋に望み、北部は智利との境界が地理的には存しないけれども、氣候的にアタカマ大沙漠を現はして、會つてペルー國に居住したスペイン人の侵害から保護してゐた。面積七五萬平方軒、人口四三〇萬で世界の交際場裡より隔絶せられたる地理的位置をもつてゐる。然るに十九世紀の初めに、スペインの苛政を脱して獨立し、またボリビヤと一戦を交へてアタカマの無限の硝石産地を獲得し、アンドス横斷線を敷設して東西連絡を圖る等の智利の國民的氣象は、地理的位置の不利より脱脚して經濟闘争場裡に出現せんと目論んでゐるのである。

(2) 地形・氣候の概観

西より海岸山脈・中央縱谷・アンドス山系と三區分さる。南北に顯著な構造谷を作る。この關係は北米西海岸の地形と類似點をもつ。南緯四二度以南の地は氷蝕によつて沈水したフォールド海岸を示す。海岸山脈は列島となる。かくの如く地形の配列が南北走することは、南北の交通路を規定し、縱谷が同國の最文化地帯となつたのである。氣温の高低よりも雨量の大小が人文景觀に多大な影響を與へてゐる。西卓越風は南部智利に於ては西南風となり、北部では東南貿易風となるから無雨の乾燥氣候を呈し、アタカマの沙漠を作る。バルパライソ附近の中央智利は地中海性氣候を呈し、作物栽培に有利な條件を具へてゐる。

(イ) 北部寡雨地

(ロ) 中央多雨地

(ハ) 南部多雨地

右の三区分は智利の生産性に重大なる影響を與ふ。カリフォルニアの經濟活動が氣候的要素によつて左右される如く、智利の人文景觀も氣候的基礎の下にその生産性を規定すべきものである。

- イ 北部鑛山地帯
 - ロ 中央農耕地帯
 - ハ 南部森林牧畜地帯
- (3) 人文景觀



A 北部鑛産地帯

アタカマ沙漠不毛地の縦谷は硝石の埋藏が大で、露天掘によつて發掘されてゐる。同地方は殆んど無雨の状態にあるを以つて、硝石の保存には好適であるが、採掘従業員は飲料水にも苦しむと云ふ状態である。年額二五〇萬噸を産出し、イキケ港から大部分は輸出す。同國の將來に一大恐怖を來したことは、これが科學の進歩に伴ひ人造硝石の發明によつて代用されんとする點である。若し人造硝石が代用品としての性能を認められたる時、同地方の經濟的打撃は甚だしいものであらう。硝石地帯の南方には銅産地が散在する。この硝石・銅の輸出が同國の貿易高の九割を占むる盛況である。その他石炭・鐵も産出する。

B 中央農耕地帯

中央の縦谷はこの國主要なる農業地帯で、人工灌溉を施して小麦・葡萄・大麥・豆類等を栽培する。小麦栽培地域は地中海性氣候の適應性と相俟つて全耕地の六割を占め、粗放的農法により機械の使用漸次増加す。工業は未だ幼稚にして製粉・乾果物等の農業的工業で、サンチアゴは中央市場である。

C 南部森林牧畜地帯

南方は雨量三千耗以上の多雨地で、針葉樹の密林地帯である。故に同地方の住民は製材業がその生業である。近時山麓地方で羊・牛を飼養し、製靴業も稍發達して來た。海岸にては漁業も盛である。

(4) 交通其の他

智利は峽長なる縦谷と雲表に聳える連嶺が錯綜してゐるので、鐵道の發達に大障礙を來してゐる。然れどもアルゼンチンと智利を結ぶアンデス横斷鐵道と、縦谷に沿ふて長短距離の縦貫線が敷設されたことは一異色である。アンデス横斷鐵道は智利側が七二杆、アルゼンチン側が一八〇杆でモンドサから登る。従つて智利側の勾配は、 $\frac{100}{100}$ の急傾斜をなし一杆について三八萬圓の建設費を要したと云ふ。かくの如き山地鐵道は廣軌の建設を許さないから、バルパライソ—プエノスアイレスまでに三種の汽車に乘換へなければならぬと云ふ。此の外アンデスを途中まで登る數個の小距離鐵道も開通し、何れも世界最高の鐵道となつてゐる。更に鐵道の發達しない地方は、リヤマが唯一の運搬交通機關として愛用されてゐる。貿易港としてはイキケ・アントファガスタ・バルパライソが活躍してゐる。

智利はイスパニヤの植民帝國であつたが、其の後本國の苛政を脱し獨立して共和國となり、南米に於けるA・B・

Cの一として活躍してゐる。人口密度は中央地帯が最も大にして、一軒平方に二十五人以上を示し、南北するに従ひ十人乃至二十五人で、南北部には無人の地域もある。

五 氣候の分類及び其の山岳地形との關係

(1) 氣候と侵蝕地形との關係

地形輪廻は何れの種類も侵蝕作用を受けぬものはない。この侵蝕營力の種類を決定するものは、主として氣候の性質である。侵蝕營力の中で河蝕は最も普遍的なものである。現在の陸面ばかりでなく、地質時代を通じても濕潤氣候が最も普通であつたから、デービスは特に之を正規侵蝕と呼び、この正規侵蝕を正規輪廻と名づけてゐる。即ち濕潤輪廻である。

次に乾燥氣候を有する地方は、河流の營力が主要なものでなく、特有な乾燥侵蝕によつて特殊乾燥地形を作る。低濕降雪量の多い地方は氷蝕作用が行はれ、氷蝕地形を作り、海岸は海蝕地形を作る。

(2) 地形に及ぼす氣候の分類

A 氷雪氣候 適當に低い温度、充分に多い雪量が高緯地方或は高山に堆積凝固して、萬年雪を作るやうな氣候を氷雪氣候と云ふ。この氣候が侵蝕營力で氷河地形を作る。

B 乾燥氣候 氣候乾燥の結果植物は絶無となり、地下水も得難きこの地の風化作用は機械的で、侵蝕營力は風である。又氣温の變化の著しい事が岩石の膨脹收縮となり破壊激烈となる。(サワラ・カラハリ等の沙漠地を擧ぐ)

C 熱帯多雨氣候 熱帯の原始林地方は高温多雨多濕で、植物の繁茂には適するも、密林で所謂未開地である。同

地方の地形侵蝕營力は雨量の多いことである。(アマゾン河・コンゴ河流域)

D 季節風氣候 支那東部・朝鮮等の地方に於ける氣候の性質を見ると、夏季は高温濕潤で多雨であるが、冬季は氣温の低下と乾燥を特徴とし、霜・降雪を見る。従つて山形にはベツトランド型の侵蝕を見る。

(3) 各種氣候と地形との關係

A 氷蝕地形 氷河作用は雪線の附近に於て最も著しく行はれる。雪線上よりも上方には氷河の涵養區域が存在し極地の氷を除いては萬年雪盆の上端に氷雪に蔽はれてゐない部分がある。雪線よりも下方は、氷河の消費區域であつて、上部から供給される氷塊は氷河の下端まで移動する間に少しづつ融解して了ふ。氷雪の量によつて氷河の大きさが決定されるもので、降雪量が増加すれば雪線は下降して氷河の末端は下方に移動する。之と反對に雪線が上昇すれば氷河は縮少するのである。氷河の形状は大體に於て二つの因子に支配されてゐる。先づ氷河の體積を決定するものは氣候的條件であつて、降雨量が多く氣温の低い地域に於て氷河の發達は著しいのである。次は地表の形態によつて氷河の形状が著しい制約を受く。今日氷河地形の分布は廣くして、極地方並に溫帶・熱帯の高山の山嶺附近には多く存在して、氷蝕輪廻を存続してゐる。そこに特有なカール懸谷の地形を見る。我國にも中央高地の連山地に之を發見する。

B 乾燥氣候と乾燥地形 乾燥地形の侵蝕營力が大陸性氣候による温度の變化と、無雨とによつて特殊の地形を作ることには前述の通りである。多くの場合周縁山地に圍繞せられ沙漠を造る、河は内陸性の一時的河流で河口をもたぬ未無川で下流に於ても水量が減少する。而も大雨ある毎に間歇流を特徴とし、砂丘は移動性でバルハンを作る。又風

成の堆積は沙漠地の一特相である。現今沙漠の分布せるは、熱帯に於ける高氣壓部の附近に當り年雨量二百五十耗以下の地である。即ちサハラ・カラハリ・タール・タクラカマン・サンド・リビヤ等が此の例である。

C 熱帯濕潤氣候と地形 熱帯地方の地形的輪廻は氣候に其の主なる原因をもち特有な地形を現してゐる。年平均氣温が二七度に對し、雨量二千耗を超えてゐるから山地は大森林に蔽はれ化學的な風化作用が盛に行はる。従つて土壤の層は六米に達し、其の性質は不透水性であるから、頻繁に起る驟雨の際に河流は谷底を著しく侵蝕する。降水量が多く侵蝕も大なため、谷の密度は大きくなる。河流の侵蝕が特別に大きいから谷形は容易に成熟せず、峽谷の状を示し瀑布が存在する。従つて運搬量が大きいため山腹は急傾斜となり、山稜は鋭く山頂は尖つて來る。山地は森林に蔽はれて尖銳な地形は見えないが、頂上部は傾斜極めて急で通行を困難ならしむ。

D 季節風氣候と地形 この地方の氣候的特性が齎す冬季の乾燥は霜雪の作用により植物の生育を妨げ、霜の作用で岩石が分裂し、夏季は劇しい降雨によつて土砂が流出する結果として、山頂は急峻な岩峰が現はれ、所謂バットランドの景觀を展開してゐる。朝鮮の山地、青島附近の龍山は其の代表的のものである。支那の岩峰は森林の濫伐の結果と考へてゐるが、それより他に氣候との關係も認めることが出来る。この地方の場合も熱帯山地の場合と同様に山頂部が急峻で、山腹が緩傾斜である。乾燥期の後に起る激雨は地中に滲透せず、又地下に滲透した水も氣温と相俟つて侵蝕作用に大きな働をなしてゐる。

昭和十年度(第六三回)

1 録備試驗

一 カルデラ湖の成因及利用につきて説明せよ

(1) カルデラ湖の成因

カルデラは極めて大規模な火口状の窪地で、通常火山錐の頂上に存在してゐる。内壁は絶壁か或は急傾斜で、平面形は圓形或は楕圓形である。その底に湛水した湖水がカルデラ湖である。湖の水はカルデラ壁の低所から外部に流出する場合もあるが、出口の無い場合も稀ではない。カルデラの内部に新噴火によつて火口丘或は中央錐が存在することもある。

(イ) 爆發カルデラ内の湖水

強烈な蒸氣爆發によつて火山錐の上部が爆裂作用を受け、其の窪地に湛水せるものである。カルデラが非常に大きい場合には水蒸氣の張力が強かつたと考へ、圓形のカルデラが現れる爲には、噴火が垂直の方向に行はれたと考察する必要がある。爆發は瞬間的に行はれる故、其の間に浸蝕の行はれる筈もなく、新鮮な形状を示してゐる。ジャバ東部の Tengger 火山の頂部にある湖水は此の好例である。

(ロ) 陥没カルデラ内の湖水

火山陥落は火山體の沈降によつて生ぜるカルデラ内に湛水したものであるが、斷層盆地の附近に存在することも注意を惹くことである。本邦に於ける田澤湖・十和田湖・池田湖・支笏湖・洞爺湖等は此の生成によつて生じた湖水である。阿蘇カルデラの東北部は高度低く(800m)西南部は高く(1,100m)に達し、而も瀬戸内の陥落帯と何等かの關係あることは注意すべきことであらう。北米オレゴン州の Crater湖も此の適例に屬する事は、舊谷底及び山腹に爆發物

質の存在しないことによつても明瞭である。

(ハ) 複成カルデラの湖水

爆裂・陥没兩作用によつて生じた窪地内に湛水したもので、伊太利ラゴードボルセナの湖盆は一般のカルデラと異なる形状を有してゐる。其のカルデラ壁は緩慢な傾斜で傾き、斜面は湖面下に連続してゐる。此の地形を Conca と呼ばれてゐる。

(2) カルデラ湖の利用

(イ) 觀光地域

本邦に於ける十和田湖・屈斜路湖・阿蘇・箱根・摩周湖・阿寒湖附近等は何れも遊覽地に指定され、特に温泉の湧出と相俟つて益々其機能を發揮してゐる。北米のクレーター公園、フィリッピンのタール火山國立公園は海外に於ける其の例である。

(ロ) 魚族養殖地

屈斜路湖よりは姫鱒・アママス・ウグヒを産し、田澤湖よりは姫鱒及び其の變種鱒を産す。又池田湖よりはコマウナギ・小鮎を産す。

(ハ) 水力發電及灌漑水供給

支笏湖より流出する千歳川、阿寒湖よりの釧路川の上流にては水力發電が行はれ、前者の動力は苫小牧の製紙工場へ送電されてゐる。又芦ノ湖の水はトンネルによつて箱根山の西麓へ引水して利用され、十和田湖は國營開墾事業に

絡んで引水問題で農林省の反省を見た程である。

二 政治地理上より首府の本質及び移動を論述せよ

概説 首府即ち國家の政治的所在地たる都市は、大體國家的活動の神經中樞である。其の位置の決定は國家將來の發達に重大なる關係を齎すものである。そこに首府の移動があり、首府の位置の優劣があるのである。

凡そ首府の位置を決定するに當つては左の諸點を考慮すべき必要あり。

- (イ) 國家統一上首府を國土の中心に置くこと。
- (ロ) 國防上より首府が國土の中心的位置に存することが有利なること。
- (ハ) 海上交通促進上首府を海岸に置くこと。
- (ニ) 聯邦に於ては聯邦政府を擁することに依つて、當該州の勢力が増加することを避ける爲に聯邦首府を各州より獨立せる地點に置くこと。

(1) 首府の本質

本書中による「政治地理より首府を論述せよ」(一三四頁)の問題を参照されし。

(イ) 國家が海上交通に重心を置いて經濟活動を目論む場合は、首府を重要な港津に置くか、又はその近隣に置く。但しこの場合の國は海洋的國家か、或は海上交通に發展した國家である。ロンドン、コペンハーゲン、オスロ、ヘルシンキ、東京等である。

(ロ) 内陸から海岸に向つて首府が移動意識をもつのは、この國家が海洋に重要な關心をもつからである。ロシア、

日本、ノールウェー等はこの好例である。

(ハ) 海岸に在る首府の周縁的位置は、其の國が海上に強力ある競争國によつて脅威せられる場合は危険が大である。但し國家が政治上中立と看做され得る場合は危険率は小である。併し國家が中立的以上の地位に在る時は、かゝる位置の首府は特別な軍事的保護の施設を必要とする。故に充分なる軍事的保護の出来ないやうな國家は、假令その經濟的重心が全然海上に在る場合も、海岸に首府を置くことを斷念せなければならぬ。

(ニ) 前述の邊縁的位置は國防上不利のみならず、内治行政上・交通上・經濟上・民族統一上有効なものではない。國家型態上團塊形態で而もその中心的位置は國防上の見地よりすれば最も有利である。(スペイン、マドリッド)

(ホ) 植民地に於ては、首府は多くの場合海岸に設けられてゐるが、之れは最初の移民定着地で對内的生活の幼稚な間は移動の必要性がないが、國力の充實につれて新興國家を内面的安固ならしめるために、首府を内部に移動する。濠洲印度はこれである。

(2) 首府の移動

本書の「首府の移轉と國家との關係」(一三六頁)を参照されし。

三 農村の置位及形態と農業地との關係を論述せよ

(1) 農村の位置と農業地との關係

農村の位置は地形・地貌・地質等の自然的要因(自然性)に支配されるのであるが、一方歴史的の開拓過程とも密接な關係がある。我國の如く農業立國としての農村の位置は、他の條件を除外した限りに於いて、農家は耕地に接近す

るを便利とする關係上、農家附近に耕地を多く見る。北海道・樺太の開墾地にはこの關係は極めて明瞭であり、夫々の耕地に接して農家があるが、各耕地中に農家があるかと云ふに、兩者は密接な關係を保つてゐる。又内地の兒島灣沿岸の新開墾地や其他各地に於て之を認める、斯る關係は古代にもあつた。例へば徳川時代の新田に於ける兩者の關係も略前述の通り寧せられる。

又古く條理制がはつきりと残つてゐる場所で、條理制と密接な關係を有つて同じ時代に發達したと思はれる農村の名残りとして、古い條理との關係についてもこれに似た事情を知ることが出来る。奈良平野の條理制と農村聚落との關係は最も顯著で、讃岐、濃尾兩平野にもこのことを今尙認め得る。かやうに耕地と農村の位置とは相接するを便とし、ために耕地の中に農村の發達を見ることがあるとは云へ、耕地の地形・地貌・地質の關係から家屋建築上の地盤として不適、或は人の住居に不衛生な所、或は有利な耕地を避けて家屋の位置を決定してゐることも、全國到處に見る事實である。多くは水田周縁の微高地域か、盛土に好都合の而も不生産地に農村の位置することは、耕地尊嚴さより來る現象ではないかと思ふ。

(2) 農村の形態と農業地との關係

農村形態の様相は歴史と深い關係をもち、漸次其の様相・特徴が薄ぐことは一般的傾向であるが、比較的新しい開墾地に於ては尙其の特徴を存續してゐる譯である。例へば濃尾平野・奈良平野・岡山平野・讃岐平野等に於て、古く條理制が施行された時の農村の所存及び形態も窺はれ、そして更に最近の商業交通に依て發達した聚落は、最近の氣分を知ることが出来る。

之に對して越中吳西平野に於て孤立莊宅と稱せられる農家が、其の周縁の田地耕作地と密接な聯絡を有して散在型式をとつてゐる。其他大井川下流平野の藤枝附近、四國高松附近、明石市附近の臺地等にも之を認む。小川博士の孤立莊宅居住は日本民族の原始的居住であつたと推定されてゐる。又散村的農家は兒島灣沿岸の埋立地有明海沿岸の新しい埋立地に於ても見られる。

農村形態的分類は元來、獨逸地理學者の命名に依つて、街村・圓村・集村・堀端村・林隙村の如き中歐及び西歐で與へられた形式であつた。我國條理制の遺物たる垣内式村落は、右の分類を適用し難い。本邦特有の農村の形態である奈良盆地の標式的垣内聚落では、數十戸の農家が集團をなして農村を形成し、其の四周に各自の耕地を所有する。又農村の大小に従つて其の周圍の耕地に大小が見られる。

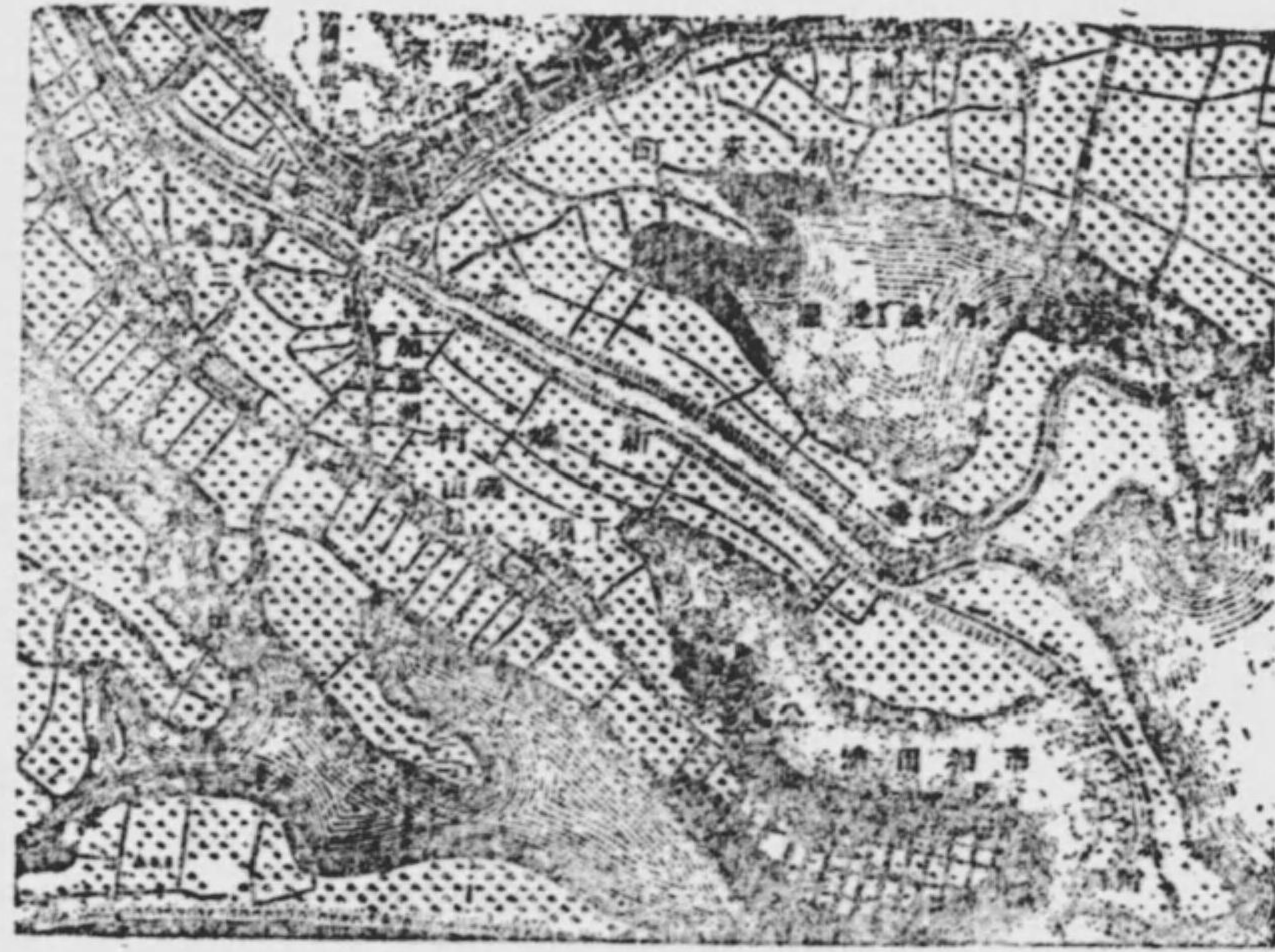
中央ヨーロッパの農業地に於ては、その農家の形式や農村の形態にいま尙森林地域の散村であつた昔のやうに、即ち林業者の家及び林業中心の聚落氣分が察せられる。其後人が森林を伐採し開墾して、農業地となしたために聚落も増加し、そして新舊の聚落共に農村として變化したことを知る。我國に於ても武藏野などは最近まで大部分が草地や雜木林であつて、それが漸次開墾されて今では關東地方では注目すべき畑作地域になつてゐる。のみならず今尙殘存する雜木林や針葉樹林の中には、田園都市の計畫さへ行れ、漸次樹木が伐採されてゐる。

山野の開墾に際して地主が其の小作農民を周圍に集めて圓村を形成する場合もある。東プロシヤ及びシレジャ地方に獨逸人の聚落の間に島嶼狀にスラヴ人の農村が分布するのはこの形式と稱せられてゐる。

四 利根川及び信濃川の各下流平野の地域性を對比して説述せよ

(1) 十六島低地の海岸平野の特相

水田卓越して全面積の六十五%を占む。米作本位で二毛作不可能地域であることは、裏日本地方の如き氣候的要因より來るものではなく、全く水郷の影響からである。水に圍まれて水に苦しむ結果として自然灌漑不可能で、灌漑は發動機、足踏水車によりてなす。秋の收穫期には増水して一會困難である爲米の品種は早生種に限らる。最近は河川改修により中稻・晚稻の増大的傾向を示してゐる。田と沼との境界地に於て土壤の高さが水位に對して低き時は、櫛齒式耕作法をとる。住宅は總べて吹き上げを基盤とし、その上に更に盛土して洪水の際の浸水の害を防ぐ。井戸はあつてもかなげが湧いて飲料水に不適當である。而して河水を汲むのも二回の潮汐のため水位が昇降するので不適當である。併し大部分



十六島低地(水郷地)田水低濕(地)漁區

の用水・飲料水は河水を用ひ、濾さず煮沸することによつて満足する。加藤州を通過する船も發動機船も水竿以外の使用を禁ずるのは、櫓及びスクリューが水を覺拌して濁らし、機械の油が混ざることが飲料水を不良ならしめるためである。水に圍まれて水に苦しむことは灌漑の場合より更に大である。

道路は主要幹線が三線存し、堤防道路が通じてゐるが渡船による所もあり、此地方の交通運輸の最良機關は船である。低地帯で水害を蒙ることが多いため道路の完備が期し難い。又各戸農船を使用して肥料・收穫物・其他一切を運搬

する爲高橋をかけて船の通過を自由ならしむ。従つて自轉車等はそのため各橋毎に降りると云ふ奇觀を呈してゐる。飛船が各區にあつて、各戸の注文品を受けて佐原・潮來・午堀に通航する。畦畔にボブヲを植ゑ夏季の涼と收穫期のハゼに利用する外薪材ともなる。米作に次ぐ産業は淡水魚で、農兼漁業は本地方の一般型である。鯰川の沖は好漁業地で鰻・鯉・鮎・鮒の外、蝦・貝類等を漁獲す。冬は藁細工をなす。又田地の寡少地域では自給自足程度の野菜園藝の栽培をやつて居る。本地方開拓の歴史は地理進化の過程を知る好例にして、親村子村の關係による宗教圈・神社圈を如實に物語つてゐる。従つて聚落の地名にも何々島、何々州、何々新田の多數あることを認める。

(2) 信濃川下流平野の特相



可能で櫛齒式水田があり、稻の他に蓮根の栽培も見られる。舊河道を畑地化して球根の栽培、蔬菜の促成栽培等の現

聚落連鎖地域及び畑地連鎖地域は信濃川本流の三條・新潟間・阿賀川五泉・河口間、殊に中の河口及小阿賀川に於ては異數的好標式を呈す。本地域特有の越後梨畑分布は、河川の自然堤防洲と一致する。聚落は自然・人工兩堤防洲聚落で、舊河道の廢川地域は會根・木村・平賀・天野等に認められる。毎戸農船を有し肥料及收穫物を運搬する事、農船通過の高橋・道路網の少ないこと、自轉車使用の増加の傾向等前者と一致す。砂堆に盛土して住宅を建てること、洪水の患、飲料水の得難いこと、畦畔の樹木(ハンノキ、タモの並木)等も關東平野の水郷と類似す。二毛作は不

象もある。冬季は積雪の影響で勞力過剰を來し、表日本各地へ一時的出稼を行ひ、副業として藁細工・賃織等を行ふ。

(3) 兩地域特相の共通性・相異性

A 共通性

低地型海岸平野の低濕地の米作栽培、景觀(灌漑の様式)は兩地域共通性を有し、米の品種に於て耕作法に於て同様である。その他畦畔の樹木、畑地の寡少、農船の特相、高橋の景觀、道路網の寡少、住宅に對する盛土の様相、飲料水の得難きこと等關東十六島・越後低地・帶濃尾平野低地帯共に共通性が豊富である。

B 相異性

聚落連鎖地域と、畑地の卓越せることは關東平野の場合よりも越後に於て之を認め、且舊廢川地域の利用化による梨畑・花卉の景觀を見る。

C 氣候的要因より云へば關東十六島に臺地畑地が存在すれば、二毛作可能地域なる越後の場合に於ては多大の制約を受ける。

D 關東十六島の耕耘は牛によつてなされるに對し、越後は多少趣きを異にす。

E 冬季の勞力處分法としての漁業は關東に於ては惠まれてゐる故半農半漁の型式をとるも、越後の場合に於ては出稼の現象となる。尙農業形態に於て聊か越後平野が卓越して多角的經營をなし得ることは、砂堆の利用化がより有利であるといふ地形的の相違性に因るのであるが、一面氣候的制約は又大と云ふべきである。前述の如く三河流の低地海岸平野は共通性が豊富であり、若干の特異性をも持つのである。

五 ユーゴスラビアの地誌を述べよ

ユーゴスラビアの經濟文化、政治地理に強い影響を與へる地理的諸條件と、同國の地理的特相について説述する。

(1) 産業景觀

ユーゴスラビアは顯著な農業國で、チナルアルプスはダルマチヤ海岸に接近して連亘し、カルスト特有の石灰岩地形を作り、海岸と後背地との連絡を缺く。故にこの地は不生産的荒地である。随つて人口の重心は北部地域にある。耕地面積は全面積の約五十三%で、内陸は大陸性氣候であるが、夏季の高温を利用して玉蜀黍・小麦・大麦・燕



圖業産のヤピラスーゴユー

麥・ライ麥を栽培し、小麦は主要輸出穀物である。其他山麓・臺地・荒地を利用して西洋李・林檎・梨・葡萄・煙草も栽培される。荒地の關係で牧畜も盛に行はれ、羊・山羊・豚牛等の飼養も盛である。又森林業も盛んでボスニヤ、ヘルセゴヴィナ地方に木材を多く産す。地下の富源は餘り重要ではない。石炭・鐵・褐炭・銅・クロム・アンチモニー等を探礦す。工業製品は製材・製粉又は家内工業・手工業の農林産的工業で、廣く行はれてゐる。近代式工業はその影も顯はれない程度である。斯かる經濟狀態で完全な自給自足は不可能で、隣接伊・中歐諸國と工業品其他を交易してゐる現狀である。これは全く隣國セルビヤ・ギリシヤと同相的景觀で、ルーマニヤの如き主要農産輸出品國家とは趣きを異にす。



路通交然自のヤピラスーゴユー (示て以を線い太)

(2) 交通・住民・一般文化

同國の交通はモラヴァ條溝帯(ヴァルダルに通ず)通谷が自然の交通路で古より使用され、同國唯一の海洋への進出路である。前述のチナル海岸は多くの灣を有するに拘はらず、其の後背地は交通阻害的で技術の進歩した今日に於ても石灰岩の開鑿は其の費用と利子を考慮する時決して容易でない。随つてアルパニヤの北半が同國と結合すれば良好な港灣と肥沃の平野とで經濟的・交通的の意義深くなり、ユーゴスラビアの最も欲求してゐる地域である。住民は南斯拉ヴ族に屬するクロアイト族、セルビヤ族、スロバニア族、マジヤール族、ブルガリヤ族の複族國家で、元來クロアイト族はセルビア民族と融合性に乏しかつたが、これは宗教上、民族傳統性等によるものであつて、ハブスブルグ家大帝國が瓦解すると、今まで忠誠であつたクロアイト族もセルビヤ族と聯合してユーゴスラビヤ國を建設したのである。併し今日及び將來の同國の對内問題は民族問題で、實に一千三百萬の四分の三は三つのセルビヤ、クロアイト、スロバニアに屬する宗教關係と民族關係にあると見る。中にもセルビヤ族とクロアイト族の眞の融合は問題視されてゐる。之れは宗教上の對立であるローマ正教とギリシヤカトリック教の中に深い割目があるが爲めである。随つて國民的融和の結合性に乏しき上に農工産的資源を缺き、其の上地形の錯雜せるがため一般文化は低級にして、國民の創造性なく、唯強國の緩衝政策のもとに國家的存立を見るのみである。

(3) 不利なる地理的位置

アドリヤ海は前述の封鎖性海岸、南方はヴァルダルの貫通谷によつてサロニキの使用権を得るのみであるが、その主人たるを得ない。北方は洪牙利平野で攻撃されやすい。随つて洪・塊・チェッコスロヴァキヤ・ルーマニアに依存することが大である。今日同國にとつて一番恐威されるのは伊國の目的意識的政策に支配されてゐることで、斯かる状態にて、ユ・伊兩國間には絶えず不満な政治的暗闘が繰返されてゐるのである。

(4) 結 尾

(イ) 地形錯雜、溪谷盆地に分れ、農業を主體とするも生産品豊饒でなく、林産・牧畜・鑛産も共に豊でなく、自給自足が不完全である。

(ロ) 多種の民族と異種の宗教により國家の民族的融合性を缺き、その上人口密度も小である。

(ハ) 地形的關係に於て不利なる地理的位置を有し、交通路の發達不完備である。特に海洋門戸を有しない點は同國の經濟政治生活に重大な關係をもつ。

(ニ) ユ國の國家的存立は緩衝國的使命より他に何物もなく、歴史的に、經濟的に、民族的に融合性乏しきものである。

2 本 試 験

一 氣節風地域に特有なる山形及び耕作景を説述せよ

(1) 氣節風地域特有の山形

モンズーン地域である支那東部・南部・朝鮮等は氣候的特性に基いて、特別の山形が發達してゐる。之等の地方の氣候的特性を見ると、夏季南西季節風卓越して高温多濕である。印度・支那南方は熱帯・亞熱帯の氣候區を示すが、揚子江以北・朝鮮・滿洲・我國は絶好の耕作期である。暖溫區地方である。即ち夏季の多雨地域に對し、冬季は氣溫著しく低下して乾燥し、早霜・降雪も少くない。但し南方地域は冬季の期間は短く、降雪も稀である。

之等の地方は古代より早く開けた地方で、人口密度も大で森林も甚だしく害せられてゐる。その結果として土壤は流出し、岩石が露出する傾向を示す。冬季に於ける氣候の乾燥は植物の生育を妨げ、霜の作用で岩石が分裂し、夏季に於ける劇しい降雨によつて土砂が流出する結果として、以上の變化が特に顯著と思考す。此等の原因によつて支那地方の景觀に特性を與へてゐる急峻な岩峰が現れるのである。朝鮮の金剛山、青島附近の龍山は其の代表的なものである。淮山の北部斜面にも同じ岩山が存在する。南部に近づくと岩峰の形状は圓滑となり、香港のビクトリアピーク附近に見るやうな山形を現すのである。

支那に於けるバットランドは全く森林濫伐の結果であると考へてゐる學者も多いが、此の原因のみではない。即ち森林荒廢以前に岩峰が形成された形跡が少なくない上に、朝鮮及び遼東では森林に蔽はれた山腹の上部に岩峰が聳えて居る點から見ても知れる。更に支那の地方では、山地の斜面が緩傾斜を示し、山稜及び山頂の急斜面と著しい對照を示す。スチミットシエンメーによると山腹の中央部に風化並びに岩屑の運搬が行はれ、其の結果山頂部は急峻となり、山腹以下の斜面が緩傾斜を呈すると説明してある。

乾燥期の後に起る激烈な降雨の作用は他の溫帶地方に於ける侵蝕に比して、遙に激甚な削剝作用を及ぼすものであ

る。急雨として降つた雨水は地中に透過する暇なく、大部分が地表を奔下するから、表面の侵蝕は極めて大きい。且つ氣温の高い地方では地中に透過した雨水によつて、岩石は容易に分解される。斯くて山腹の中部以下が速に削割され低下する間に、山稜の岩峰は比較的侵蝕量も少く、最後に地表が一般的な低下を受けた後にも島嶼狀に孤聳する傾向がある。

谷の形狀にも著しい特徴が認められる。支谷の上端は山腹を刻んで半圓狀の谷頭部を形成し、開析が進むと隣接する谷頭を連絡して、山稜の一部は低い鞍部を現すことになる。山頂の部分は漸次に分離した丘陵と化し、谷の部分は其の間を縫つて低地帯を形成し、交通に少なからぬ利便を與へてゐる。

(2) 耕作景

東南アジアのモンスーンは、あらゆる物質的生産の自然的基礎で、印度・支那が古代文化の發祥地であると共に農業國であり、又我國が豐葦原瑞穂の國と呼ばれるのも皆このモンスーンに依存して居るがためである。概括的農産物生産品は棉・茶・米の栽培を可能ならしめて、世界生産品中の重きをなしてゐる。

印度のデカンの熔岩臺地の棉栽培、ガンジス河流域の米・黄麻・藍・甘蔗・阿片・煙草・亞麻仁の栽培、アッサム丘陵地の茶の栽培等皆モンスーンの到來によつて開始され、モンスーン到來期の遅延により旱魃と饑饉との危険に襲はれることがある。従つて印度の農作物栽培は降雨期の遅速に重大な關係をもつことが知れる。

支那に於ても揚子江流域・珠江流域・黄河流域の低平地の農作景は温帯・亞熱帯性の米・茶・棉・桑の栽培で、季節風の襲來期の關係は印度の場合と同様である。支那が世界に於ける第一位を占める米産出國であるのも、茶の栽培、



印度の産地

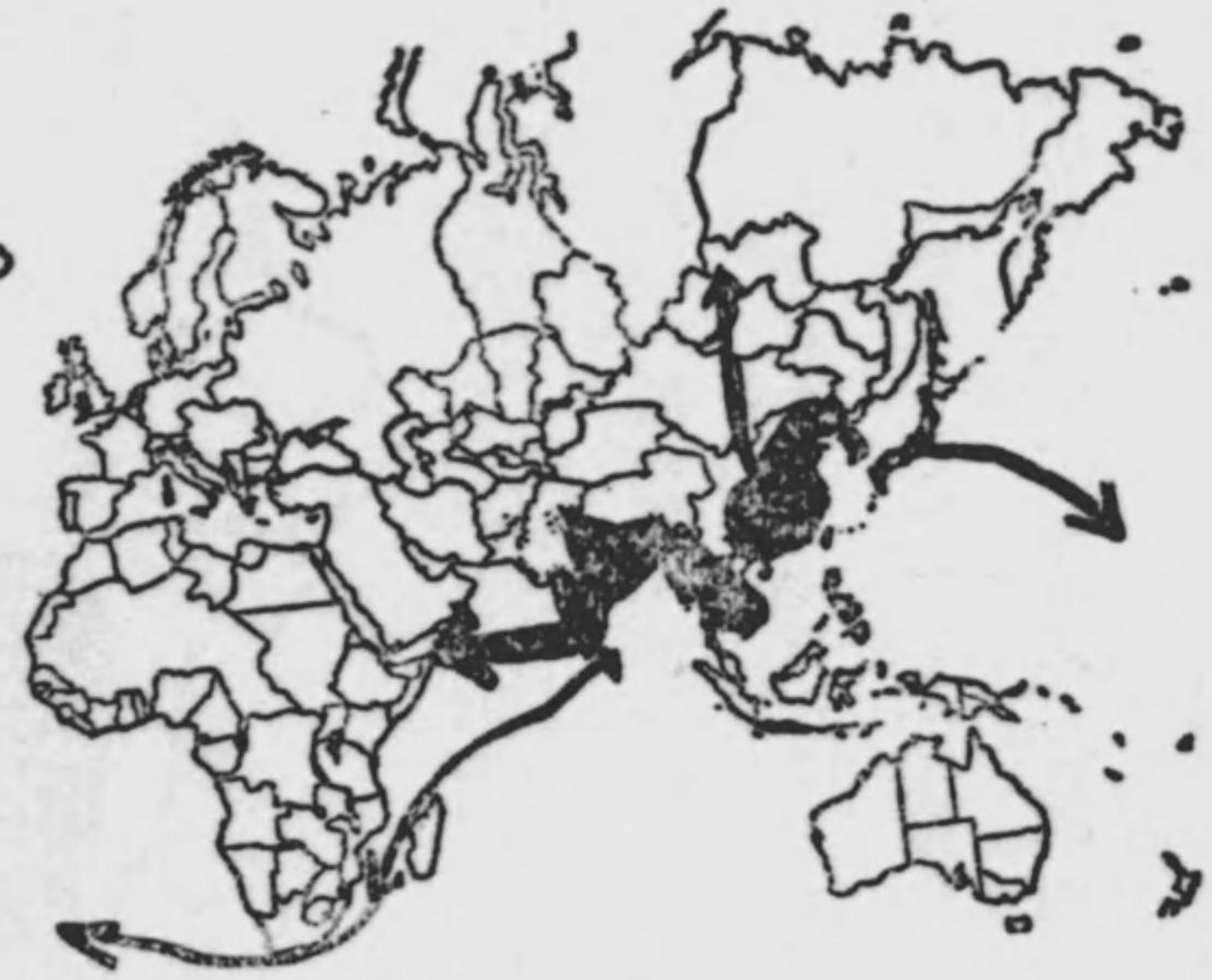
桑の栽培も殆んどこの自然灌溉即ちモンスーンの齎す降雨によつて特徴づけられてゐるもので、此の點は、我國に於ても同様である。即ち自然降雨期を待つて植付けを行ふ米田耕作地に於ては、如何にその自然的基礎に支配されるかを考ふると共に、このモンスーンが東南アジア地方の文化構成の要因と見るべきである。我國について考へても夏季の季節風は臺灣・九州・四國・本州・朝鮮南方地域の作物栽培に多大の貢獻をなし、米は全國共通の栽培で他に臺灣北部の茶、南部の甘蔗、九州より福島・山形に至る桑園

象、靜
化の現

岡・宇治の茶、紀州・靜岡・瀬戸内の柑橘其他全面的の野菜栽培、南鮮の棉・米等は總べてモンスーンの影響によつて起る耕作景である。冬季の季節風は裏日本式特有の多雪を齎し、耕作景を不振ならしめて過剰勞力の處分を必要し、出稼・家庭式工業等の特色を現す素因となる。この點は印度に於けるコロマンデル海岸が夏季にモンスーンを受けず、冬季に多雨を生じ、米其他の耕作に便な



印度の季節風



世界茶の動向

ると同様であるが、後者は気候的熱帯性による結果である。要するに農作物の豊凶は一に以つてモンスーン襲來の時期、その分量、配分によつて決定せられることがわかる。

二 下北半島より北上山地を経て牡鹿半島に至る地域の地誌を説述せよ

(1) 自然景觀の概観

下北半島より北上山地に至る地域は奥羽地方の東部山地帯地域で、隆起準平原化を受けた高原状の山地で、海岸に迫り、海岸線は鋸齒状リヤス式海岸を作る。随つて低地は西部北上川及馬掛川縦谷列より他にない。緯度の關係上氣温が關東・中部・近畿の廊下帯より一層低温で、屢々凶作を來すことがある。特に太平洋北上地方では冬季は乾燥勝ちであるが、寒流の影響を受け

て一層寒氣は凛烈であり、夏季は寒暖兩流の會合の關係で濃霧に襲はれ、金華山沖合以北はこれが殊に顯著である。随つて平館・尻屋崎・鉾崎・金華山・鹽屋崎等には燈臺に濃霧信號の施設をなしてゐる。之に對し裏日本は多雪地域ではあるが氣温も高く、又前述の設備も不必要である。降雨量は東北地方は一般に寡少で殊に太平洋方面に於ては一増寡少である。(裏日本の降雪量は可成多い故同地方は年雨量が大)。之は梅雨の現象が到つて稀で、夏季のモンスーンも劣勢で颯風等の現象も極めて少ないことに起因する。然し本地方で雨量の多いのは夏秋の期間で、裏日本地方の多雪に對比すべきものである。

(2) 人文景觀

夏季の高温と雨量は耕作を助けるが、高原地域は水田耕地寡少で、畑地が卓越してゐることは中國吉備高原地方の景觀と同様である。標高五、六百米の高原上で大豆・稗・馬鈴薯・ソバ・麥等の畑地作物が耕作され、地方民は古來稗・麥を常食としてゐた。米は西部縦谷低地に多産するが、奥羽特有の冷害に屢々襲はれることがある。故に幾分でも早熟せしめるため早稲品種を選ぶ傾向は表裏奥羽地方の共通性で、小田代・龜尾等の偏北種を植付ける。特に三本木原・北上川の奥地には最近の開拓になる水田が散見して、人工灌溉施設等も行届いてゐる。

本地方は我國筆頭の牧馬地域で、第四紀層の荒蕪たる原野に、藩政時代の歴史的要因と、地方住民の經濟組織と相俟つて、到る處に夏の放牧冬の舍飼が行はれてゐる。歴史上に掲げられたる名馬・駿馬は殆んど古來より同地方産のものであることは、中國一帶の牧牛と對照すべきものである。随つて馬市が到る處に開かれ、年産八萬七千餘頭で本邦第二位を占めてゐる。殊に縦谷盆地列と小岩井農場附近は最も大で、小岩井農場は最近の開拓にかゝり、農産(野菜類・牧羊)等も盛んである。尙宮城縣の綿羊は本邦第一で、氣候的要因・經濟的要因によるものであらう。

北上山地中の釜石は内地第一の鐵礦産地で、山麓から甲子川の谷に沿うた鐵道で海岸の釜石に運び、北海道・常磐地方から移入した石炭を動力として製鐵業が振興してゐる。又山中の赤松・樺・栗を原料とした薪炭は鐵道によつて東京に運ばれ、岩手炭として名聲を博してゐる。

海流の關係で漁業は豊富で、而も東部海岸の各灣頭には必ず小河があつて多少の平地があり、そこに漁村が發達して、住民は沿岸漁業及び遠洋漁業に従事してゐる。志津川・氣仙沼・高田・大船渡・大槌・宮古・山田・野田・久

慈・鮎川・鹽釜等は同一様式の漁港である。特に牡鹿半島尖端の金華山沖では鯨・鮪も相當に魚獲される。其他牡蠣・鱈・鮑等も盛んに採取される。岩手縣の如きは水産高年五百五十萬圓水産製造物九百萬圓の巨額に上つてゐる。

此の地方は地形の關係上縱谷兩河谷に道路・鐵道が發達して、奥羽の主要幹線交通系となつてゐる。東部山地の横斷には急坂の時に妨げられて鐵道の開發が遅々として進まないが、道路は漸次改修されて自動車連絡を圖りつゝある。併し石巻・小牛田間、氣仙沼・一關間、釜石・花巻間(仙人峠六七二米)、宮古・盛岡間(區界峠)は横斷鐵道が開通して東西兩方面の連絡を圖つてゐる。海上交通は前記の如く小漁港のみで、唯牡鹿半島内側の萩濱・石巻の外に良港なく、北方の大湊は北門の警備にあつてゐる。石巻から海岩の砂丘の内側に野蒜運河を設け、松島灣を過ぎて仙臺に達してゐる。これは伊達公が米の搬出に設けたもので、今は餘りその重要性がなくなつてゐる。松島の景勝地は凝灰岩の海蝕作用によるものである。

以上の概観を考察すれば、氣候的・地形的に恵まれない地方民は、より多角的産業の考案に専念してゐるが、氣候的制約による冬籠り期間の長きため手工業的副業に終り、過剩勞力は裏日本と等しくの表日本各地へ一時的出稼をなす。

(3) 結 尾

(イ) 東部地方は中國高原と同様畑地卓越して多角的産業景觀をなし、縱谷盆地は米作卓越す。併し一般に氣候的制約を受くることが大である。

(ロ) 山地低地を問はず牧馬業盛んで、半農半牧の型態をとるものも少くない。随つて馬市が各地で開かれ、盛岡三本木は其の中心市場である。



シベリヤの開拓地と交通路
シベリヤの交通路

(1) シベリヤの人種考察
三 シベリヤに於ける東西交通の幹線と開拓との關係につきて説述せよ

- (ハ) 冬季の過剩勞力轉用として薪炭の製造・手工業的副業が行はれてゐる。
- (ニ) 地形・海流の關係で水産業も農牧に次ぐ主要産業で、夏秋の頃盛に従事す。
- (ホ) 交通の發達が遅れたことが文化の開發に至大の影響を及ぼし、且つ人口密度寡少にして半殖民的傾向がないでもない。

シベリヤの現在は白系種を主體として舊土人が多數在住してゐる。十五世紀末より十六世紀の初にかけて白人の移住があつたが、當時は未だその以前に居た舊民族が非常に多かつた。即ち舊シベリヤ民族(舊土人)・新シベリヤ民族(三世紀より四世紀にかけて移住したもの)で、舊土人は新土人より北方の冷寒地に住む。新土人は牧畜(牛羊の飼養)を營み、舊土人は酷寒地で馴鹿を遊牧する程度のものである。新土人にはボグル・ウグリアン・サモエード・サマリアン・キリギス・ヤクーツク・ブリヤット・ツングース等がある。

(2) ロシア人の移住過程と交通路
現在のロシア人はシベリヤ幹線鐵道に沿ふて一番濃い密度を描いてゐる。西部より次第に密であるが、こゝに特異な分布現象が現はれてレナ河流域ま

で密集地域をつくつてゐる。この關係は地理的要因より當然の分布だと思ふ。即ちロシア人が十六世紀末より十七世紀にかけて移住して來た方向を示す。彼等の移住目的は毛皮の採集で、この地方に最初移住したのである。即ち現在のオビ河の中流々域のサマロフスク附近より同河の横谷に沿ひイェニセイ河のイェニセイスクに達し、遂にレナ河のヤクーツクに至る舊土人の住む地に達し、更に一部のものは海岸に達したのである。之れが爲め舊道路は現在の鐵道幹線以北の急阪を使用してゐたのである。

以上の如く毛皮採集の目的のため移民が行はれたが、而もその移動が徐々であつた事は、氣候上の制約にもよつたことである。其後十七世紀の中葉より罪人を輸送した。千六百四十八年より千九百十四年まで約二百六十數年間流刑地と化したのである。隨つて罪人と新土人との間に多數の混血兒が出來た。然れども千八百二十年頃より流罪人の質が向上して、所謂政治犯の殖民地と化したのである。當時ロシアは政教一致で宗教家が罪せられて來た者も多く、政治犯僧侶が混在して、ロシアの上層階級者が東部地方に流されたため、チタの町の如きは貴族町と稱せられた。之れ等流刑人はオビ河・レナ河の河谷の肥沃地を見出して耕莖の開拓に努め、燕麥・馬鈴薯・大麥等の必需品を栽培し、更に森林の鑛物開發に努めたのである。千八百二十年より千八百九十年頃までの約七十餘年間に七十萬人の流刑が行はれ(年約一萬人)、中には罪人でない者もあつた。それが故に大戦前のシベリヤの鑛山は貴族の罪人の經營にかゝるものが多く、ロシア皇室は莫大な金塊を領有してゐたのである。これが革命と同時にソ政府に奪取され、赤化宣傳の爲外國に密送されたと云ふ。斯くの如くシベリヤ鐵道開通前のシベリヤ開拓は毛皮の採集に始まり、後流刑貴族民によつて農耕・鑛山の開拓が行はれたのである。然るに十九世紀の末よりシベリヤの東進、不凍港獲得の政策に基い

て、幹線鐵道が敷設されたのであるが、この政治的・軍事的目的で敷設された鐵道が今日の西シベリヤ、オビ河流域の農耕發倉地の發達に大なる助成を齎してゐるのである。

同地はロシアにとつて最も大切な發倉で、この地を領有すれば、同國の食料品の大部分を栽培し得ると云ふが、氣候的に非常な制約を蒙つてゐる。然るに今日夏季の百日の農耕期間に小麥を收穫することに成功したことは大に注目すべきことである。この點はカナダ・北歐の小麥栽培より非常に進歩してゐる一證であらう。

(3) 結 尾

(イ) 最初毛皮の採集の目的で今日のシベリヤ幹線鐵道の北方を西より東に達した。

(ロ) 其後流刑殖民地と化し之等によつて耕地の開拓が行はれてゐたが、十九世紀初より罪人の質が向上し、貴族による移民によつて益々開拓が進歩し、遂に人口増加と、資本金によつて鑛山の開拓も行はれるに至つた。

(ハ) 氣候的制約性の大なる地域をよく適應對應せしめて一大發倉となしたのは貴族の偉大なる力による。

(ニ) シベリヤ鐵道も今日は經濟的價値を充分發揮し、この沿道地域が大體人口最稠密地域(オビ河流域が最文化地域であり、人口最稠密地域である)となつてゐる。

四 ボーランドの一般文化景域を説述し其の政治地理的諸問題に論及せよ

(1) 概 観

ボーランドは古代より今日に至るまで分裂と消滅と再興の歴史を繰返して來た。斯かる歴史的變化を來したことはボーランドの地理的配在と、ボーランド人の精神的缺除要素によるものであらう。今この一般文化を述べて政治地理

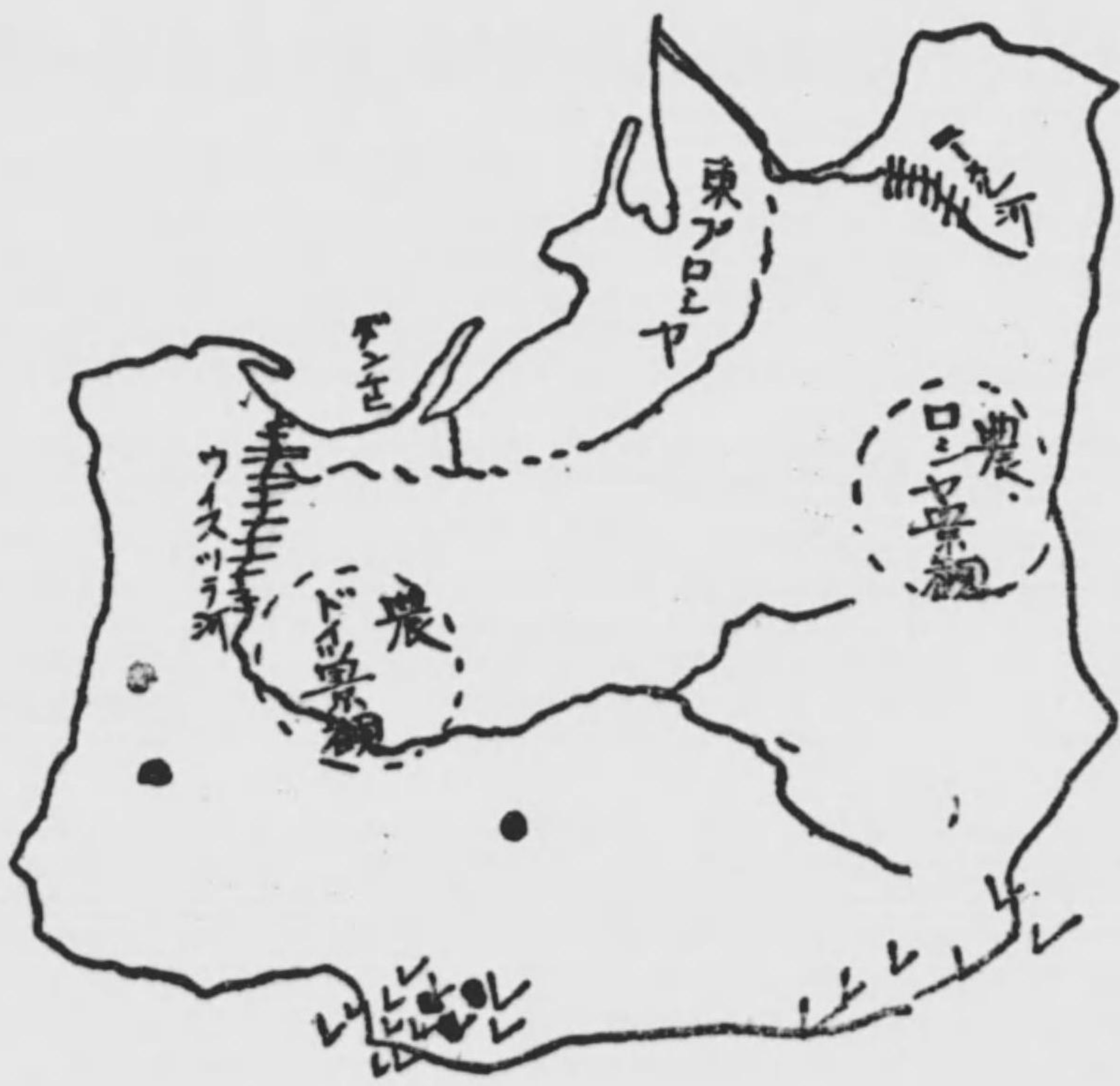


的關係を述べてみやう。

(2) 一般文化景域

ポーランドはウイスマッラ河流域の低平々野と南方のカルパチャ山系とに限られ、獨逸・ロシアの中間に介在する新興國家である。北歐の氣候と等しく海岸地域は暖温の氣候であるが、南方地域は内陸性で寒暑の差が著しい。同國は耕地・牧場・森林・荒地に掩はれた純農業國家で、而も地形的關係で明らかな如く自然的防禦物を持たない。

農産物はライ麥・燕麥・大麥・小麥で、東方ロシアと類似し、馬



圖觀景化文のドンラーボ

鈴薯・甜菜の産出はドイツの景觀と同様である。林産物も多く農林業に従事するものが全體の六十五%を占め、之に對し鑛工業に従事するものが十四%である。トシレジヤは大炭田が豊富で動力に富み、各種の工業が發達してゐる。ロヅ・レンベルヒ・ポーゼン・クラカウには機業も行はれてゐる。カルパチャ山地は石油・岩鹽の産に富み、歐洲に於ける主要の地位を占む。併し近世文明の基礎たる殖民地生産物はこれを缺

ぎ、貿易も工業も振はず、國は瘠せ、國産品の充實は貧弱である。

その上國家構成要素たる民族は複族的で、多種多様であることは滿洲國等と同様である。随つて單族國家に於ける如き精神的紐帶を缺ぐ。主要民族たるポール人は全人口の七〇%を占め、其他ルテネン人・ユダヤ人・白露天・リツアニア人・ハンガリヤ人等の多くの少数民族が散居し、民族的統一性を缺き、剩さへ言語・宗教を異し、その調和が困難である。この宗教及民族の混合不統一は、一方自然的缺陷と相俟つてポーランドの存立を困難ならしめる素因となつてゐる。その上文化から見ても東スラヴの文化に對して、ポール人は西スラヴの文化を代表してゐる。

(3) 緩衝國

緩衝國とは二又はそれ以上の強國が、相互間の直接の衝突を避けんが爲め、其の中間に獨立の存在を認めた國家である。即ち空間分離思想の擴大によるもので、自然的障害物をもつてゐない廣漠たる平野に設立された人爲的境界帯に由來し、隣接國との壓力を調節するところにある。

かゝる意味に於て緩衝地帯・緩衝國は古代より今日まで存在し、近東バルカン・中歐・東歐にかけて枚擧に遑がない。大戰後のフィンランド・エストニヤ・ラトビヤ・リツアニア・ポーランドの現代緩衝連鎖帯は、古典的緩衝連鎖帯の和蘭・白耳義・ルクセンブルグ・スイスと相對するもので、總べて摩擦面の緩和的役目を果してゐる。即ちポーランドは露獨兩強國間に於て直接的反衝の緩和的機能を有し、ポーランドなき大戰前には露獨兩國家の間に屢々紛争を起したものである。

(4) 内陸國家

ポーランドは内陸國家で海洋への自然的通路を缺き、唯ウイッスラ河の不自然的境界を設定して、これに沿ひて河ロダンチヒの自由港使用権を領有してゐるのみである。こゝに同國の發展性を阻止せらるゝ地理的理由も認め得るのである。ポーランドは如何にかして内陸國家の運命より逃れやうとして海洋門戶獲得に専念し、ニール問題(ヴィルナ)を引起してゐる。

(5) 上部シレジャ問題

千九百十八年以來獨逸とポーランドとの係争地域で、人民投票の結果、千九百二十一年の最高會議によつてポーランドと獨逸に兩分された。炭田・鐵礦地として兩國より重要視されてゐる地域である。

(6) 結 尾

以上述べた如く農林産物が國家の基礎的生産品で、而も近代的文明の基礎たる重工業品は之を缺き、剩さへ第一次の要素たる民族は複族民族で精神的統一性なく、且つ異宗教・異言語の爲國家の統一は誠に不完全である。その上國家的存立が緩衝國的運命にある。しかしながらその使命をわきまへず、舊領土の再獲得を目的とするポーランド回收運動及びダンチヒ・東プロシヤの併合慾にかられ、或はヴィルナの歸屬問題、上部シレジャ・テツシエン・オラワ・スピッツ等の領土分割問題に不満をいだき、軍國主義の鼓吹に汲々としてゐる。

五 ベルーの地誌を述べよ

ベルーはアンデス山脈縦走部の高山帯を界にして、西部太平洋海岸帶狀地と東部アマゾン低地帯とに分つ。

(1) 東部地 域

アマゾン支流のウカヤリ河・ワリヤカ河・マラニオン河等は山脈に併行した縦谷を作り、熱帯多雨と相俟つて規那・護謨・カカオ等の生産多く、傾斜地には珈琲も産出する。之等は多くは原住土人によつて採集され、舟運によつて運搬される。南方傾斜地はコカ・甘蔗・コーヒの生産も多く、又林材も少くない。之等の生産様相はコロンビヤ東部低地帯と同様である。ゴムの如きに於てはアマゾン本流の場合と同様野生的のものである。

(2) 西部海岸帶狀地

同地は幅の狭い海岸低地で冬夏の貿易風の影響を受けることなく、南米に於ける寡雨地域で、山地の融雪を灌溉して甘蔗・棉・玉蜀黍・米等を栽培してゐる。砂糖は同國の代表的生産品で年産約四十萬噸内外に及び、一部は國內消費をなすも、大部分は海外へ輸出してゐる。

棉花も砂糖に次ぐ主要産業で南方海岸の溪谷及び内地にても生産する。年産約六萬噸の輸出を行ふ。米の栽培は北部のラムバエケ及びピウラ地方が盛んで、其他葡萄・大麥等をも生ず。邦人約一萬人農耕に従事す。高山地帯・中央高地帯には天然礦物たる金・銀・銅・鉛・亜鉛・ヴァナデウム・石炭・石油を産出し、就中銀は世界生産額の第三位を占め、銅はフィン、ヴァナデウムは世界一の産地である(米佛へ輸出されてゐる)。又千九百九年に專賣制となつた驚蕪グアノは沿岸に散在する小島より産す。又高地帯は牛・羊・リヤマ・アルバカの飼養が盛んで、羊は特に千五百萬頭、牛は百五十萬頭に及んでゐる。

(3) 政治的變遷・交通・聚落

同國は昔インカ人に依つて建設されたインカ帝國が、クスコを都として金銀を國家の經濟基礎とし文化を創造して

わたが、イスパニヤ人の移民によつて今は其の遺跡を存するのみである。十九世紀の初めアルゼンチン・智利の後援を得て遂に本國より獨立し、リマを首府としてイスパニヤ風の都市を建設し、リマを外港としてゐる。鐵道はモレノド港からアレキバを経て四千數百米の高所を通り、クスコに達してゐる。斯る高山鐵道は南米アンデス横斷都市には到るところに開通してゐる。ボリヴィヤ・エクアドル・コロンビヤ・ペネヅエラ等皆それである。又アルゼンチンよりメンドサを経てバルパライソに到る横斷鐵道にしても三千數百米の峠を経てゐるのである。

氣候は熱帶酷暑で、その制約より逃れやうとするためにアンデス諸國は三千乃至四千米の高所にその聚落を見る。随つて高原上の果樹・野菜等は注目すべきもので、牧畜の如きは殆んどこの地で行はれ、文化も海岸熱帶地よりも優れてゐる。險坂高峻の交通運搬は擔夫であるか、リヤマの運搬によるものである。

南方智利のアリカの附近、アタカマ沙漠地の硝石地帯はベルーの領有であつたが、智利と兵火を交へてこの地を失ひ、常に南方海岸に進出奪回の意思を有するを以つて、ボリヴィヤ・智利間の係争地となつてゐる。又東南方ボリヴィヤとの間にも東北コロンビヤ・エクアドルの間にも係争地を有し、絶えず國境問題を起してゐる。

昭和十一年四月五日印刷納本
昭和十一年四月十日發行

文檢地理科短期受験法と問題解答

【定價金壹圓八拾錢】

著者 山室 寛 二

東京市小石川區林町七拾番地

發行兼印刷者 大塚 忠 男

東京市小石川區林町四拾三番地

印刷所 國民教育會印刷部

東京市小石川區林町七十番地

發行所 國民教育會

振替口座・東京一六二〇〇番

編輯 東京高等師範教授 阿部七五三吉・野尻重雄
 文部省作業科指導員 東京高等師範教授 野尻重雄
 文部省作業科指導員 東京高等師範教授 野尻重雄

作業科講座

東京市小石川區林町七〇
國民教育會
 (東京一六二〇番)

作業科の體系的實際指導 途に
 全國中等學校・青年學校・小學校の教師諸君並びに師範學校
 上級生・文部省各課長諸君の必讀書!!

- 願 問
- 文部次官 三邊長治
 - 文部官 山樹儀重
 - 文部官 河原春作
 - 文部官 森岡常藏
 - 文部官 下村壽一
 - 文部官 菊池秋雄
 - 文部官 松井謙吉
 - 文部官 安田祿造
- 項目並びに執筆(一部分)
- A 總論
 - 工作作業指導論 東京高等師範 阿部七五三吉
 - 園藝作業指導論 東京高等師範 野尻重雄
 - 勞作教育思潮 慶應大學 小林澄兄
 - 作業科教育精神 千葉高等師範 松井謙吉
 - 作業科と農村更生 東京高等師範 岡村精次
 - 作業科實施狀況 東京高等師範 鈴木靜穗
 - 作業科の要目 東京高等師範 鈴木靜穗
 - 師範・高女・青年學校に於ける作業科の設備 東京高等師範 鈴木靜穗
 - 小學校作業教育と作業科 東京高等師範 鈴木靜穗
 - 備後○歐米作業教育思潮及實際 東京高等師範 鈴木靜穗
 - B 各論一園藝
 - 園藝基礎作業 東京高等師範 野尻重雄
 - 園藝基礎栽培 千葉高等師範 江口重雄
 - 蔬菜栽培 千葉高等師範 高木輝治
 - C 各論一工作
 - 果樹栽培 京都帝國大學 秋池泰治
 - 花卉栽培 千葉高等師範 三木泰治
 - 花壇作業 千葉高等師範 八坂八郎
 - 庭庭作業 京都帝國大學 卯之助
 - 温室作業 東京高等師範 安田 勳
 - 鉢物及花卉利用 農林技術師 井東 勳
 - 動物飼育 千葉高等師範 藤坂 八郎
 - 盆裁・鉢物・農産加工・農業土木 東京高等師範 有川ヒサエ
 - 木工 東京高等師範 阿部七五三吉
 - 金工 東京高等師範 三吉 正雄
 - 縫工 女子高等師範 山形 寛
 - 造工 高等工務局 木村 恕一
 - コンクリート 東京高等師範 伊藤 信一
 - 製物加工 東京高等師範 伊藤 信一
 - 藤・蓆・蔦・羊・藁細工・竹及竹器工 東京高等師範 伊藤 信一
 - 附録・雜誌 作業科研究 (作業科實施狀況・文部研究其他)

全十卷

作業科の全面的な理論と實際の公開
 權威者を網羅する懇切平易な内容
 潤澤な挿圖寫真による實地指導の完璧

配本申込順
 全巻又は毎月一巻宛配本す

【本見内容】

國民教育會編輯部編・長尾英一著・定價壹圓八十錢 (送料六錢) (紙數三〇頁)

文檢教育科の短期組織的研究

- 目次
- 第一章 文檢規程の解説と準備法
 - 第二章 教育學概論の基本的解説
 - 第三章 教育思潮の基本的解説
 - 第四章 西洋教育史の基本的解説
 - 第五章 日本教育史の基本的解説
 - 第六章 心理學の基本的解説
 - 第七章 論理學の基本的解説

文檢教育科の合格の秘鍵は、如何に最短期間に、而も最も合理的に、該科の研究を完成するかにある。本臨時號は「文檢世界」二十二年の経験を基礎として、文檢教育科・修身科に卓抜の成績にて合格され、今日まで教育を専攻されてゐる長尾英一先生の執筆に成るものである。長尾英一先生は文檢世界誌上にて愛讀者諸君が既に充分親しまれてゐることゝ、今更贅言を要しない。教育科の受験者は是非一冊を求め、合格の榮冠に萬全を期されんことを切望する。

文檢教育公長科問題集

國民教育會編輯部編 ポケット型 美本 百餘頁 定價參拾五錢 (送料四錢)

文檢受験者にとつて、問題集の必要なことは今更贅言を要しない。本問題集の從來のものに比して最も特徴ある點は、最近の問題を網羅したことには勿論、教育と關係深き公民科の全問題、更に高等教員の哲學概説科・同心理及論理科問題を附録とし、他に教育大意・國民道徳要領の第一回より前年迄の全問題、高等教員・中等教員・實業教員の全規程と其便覽並びに各科擔任試験委員氏名まで蒐録する等、洵に受験者の待望久しい眞の問題集たるものである。

發行所 東京市小石川區川口 國民教育會 振替口座 東京〇〇二六一番

國民教育會編輯部編

文檢國語科問題集

附 高等教員國語科問題(自昭和四年度至前回試驗迄)教育大意全問題・國民道德要領全問題・文檢高等教員中等教員實業教員全規程便覽

最新刊

文檢受験者にとつて、問題集の必要なことは今更贅言を要しない。本問題集は國民教育會編輯部が多年の経験に基づいて、苦心編纂した理想的最近問題集で、從來のものに比して最も特徴ある點は、最近の問題を網羅したことは勿論、ポケット版として携帯に便して極度の廉價であること、未だ問題集として發刊されてゐない高等教員國語科の問題を附録とする等幾多の新機軸を見出すことが出来る。他に教育大意國民道德要領の各々第一回より昭和九年度迄の全問題、高等教員・中等教員・實業教員の全規程とその便覽並びに各科擔任委員氏名まで蒐録する等、洵に受験者の待望久しい眞の問題集たるものである。

菊半紙・ポケット型。上製美本
全二百三十頁(國語科問題百六十頁・
高等教員國語科問題十三頁・教育大意
問題十四頁・國民道德要領問題十五頁
・全規程便覽二十七頁・其他)
定價參拾五錢 (送料四錢)
(特に切手注文に應ず、但し一錢
五厘又は二錢に限る。)

内容

中等國語科(豫備試驗・本試)問題集
教員口述試驗(自大正元年
最近二十三ヶ年全問題(至昭和九年)
高等國語科問題集
自昭和四年度 至昭和九年度
教育大意・國民道德問題集
第一回施行より昭和九年度迄全問題
高等教員・中等
教員・實業教員 文檢規程便覽
教員免許令以下、全文檢規程並びに
便覽、各科擔任委員氏名

東京市小石川區 國民教育會 振替 東京二〇〇六

東京帝國大學教授 久松潜一 編著
文檢國語科試驗委員

日本文學史講話

大好評

最新刊

本書は久松潜一博士が多年の研究・經驗に基いて編輯され、自らその一部を執筆されると共に、博士の高弟五教授に自からの方針に従ひ、夫々専門とするところを指導執筆せしめたもので、兎角膨大な日本文學史を斯の如く要約し、而も餘蘊なからしめ、且權威書としての極印を押さしめたことは、本書を以て嚆矢とする。本書は高等學校、大學豫科の教科書として廣く使用されるは勿論、殊に文部省教員檢定試驗國語科受験者の必讀參考書として、該科試驗委員である博士が特に編輯に意を用ひられ、各執筆者もこの目的に添ふやう解説並びに參考書を一々舉げ、以て完璧を期してをられる。敢て必讀を要する所以である。

菊判最上クロス装・函入・三百數十頁 定價金貳圓五拾錢 送料廿二錢

緒論	日本文學の本質と形態	東大教授文學博士 久松潜一
第一編	上代文學史	日本大學教授 森本治吉
第二編	平安朝文學史	浦和高等學校教授 藤田德太郎
第三編	中世文學史	成蹊高等學校教授 阪口玄章
第四編	近世文學史	東京高等學校教授 小池藤五郎
第五編	明治大正文學史	東洋大學教授 湯池孝

東京市小石川區 國民教育會 振替 東京二〇〇六

文検指定書から 文例と練習題を採った 國文法

東京文理科大学教授 保科孝一先生 著
 大塚存立大士 著
 高等教育院教授 山下賤夫先生 著
 本書によつて、指定書を文法的に學ぶことこそは國語科パスの、最も確實な短期必勝法である。文検の問題にいつも出る、しかも國文法の中で最も重要で難解な用言の活用と文章解剖に主力を注ぎ、最も多くの練習問題を附す。用語活用の問題百五十餘も指定書からとり、更に文章解剖の問題五十餘も指定書、又は之に準ずる古典からとり、練習問題には、一々親切な解答が附けてある。

漢文法 說復文の系統的練習

四六版 上編 八二〇頁 定價一圓八十錢 送料八錢
 文庫博士 岡田正之先生 著
 高等教育院教授 山下賤夫先生 著
 一、最も簡単な組織の文から漸次複雑な文に及ぼす文法上の系統立てること。
 一、助動詞、前置詞は一々分類し、一段一段と練習するやうに材料が配置してある。
 一、復文によつて會得した文法を應用するために白文問題を課し、文法のみならず、句讀點返點送假名の練習まですることが出来る。
 一、答の部には、復文に必要な文法上の説明が一間毎につけてある。
 一、材料は主として四書、及び十八史略、八家文からとり、總練習は特に四書から百問を選定す

色特の書本

創刊 廿數年

文檢世界

發行 月一回

高等教員・中等教員・實業教員
 檢定試験受験者唯一の必讀參考雜誌

毎號口繪に試験委員・試験場等の寫眞を掲げ、且つ試験委員の學術講話、受験諸注意學界權威者の文檢受験に必要な研究資料を掲げ、又既往試験問題の研究、口述の實際、標準答案發表、模擬試験の施行等を行ひ併せて合格者先輩の受験記、受験答案、準備法、準備參考書解説、苦心談等を洩らさず發表してゐる。又學界展望(試験委員論文集)も別個に出す等文檢準備に萬全を期してゐる。

定價普通號一冊四拾錢(送料二錢)
 特輯號五拾錢(送料二錢)
 半年貳圓六拾錢(特輯二回及び送料共)
 一年四圓六拾錢(特輯四回及び送料共)
 半年以上の直接購讀者には特典あり。

東京市小石川區 國民教育會 振替 六一二〇〇 東京番

